

# 八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン

## 《 圏域の概況・中長期的将来像 編 》

- 序章 連携中枢都市圏ビジョンの策定に当たって
- 第1章 八戸圏域の概況
- 第2章 八戸圏域定住自立圏の取組
- 第3章 圏域の中長期的将来像
- 第4章 連携協約に基づき推進する具体的取組

平成29年3月  
八戸市

## 目 次

<b>序章 連携中枢都市圏ビジョンの策定に当たって</b> .....	1
1 策定の趣旨.....	1
2 連携中枢都市圏及び構成市町村の名称.....	1
3 具体的な取組期間.....	1
<b>第1章 八戸圏域の概況</b> .....	2
1 圏域を構成する市町村の概況.....	2
2 圏域の結びつき.....	4
3 土地利用の状況.....	7
4 人口の動向.....	8
5 産業の動向.....	23
6 都市機能の集積状況.....	40
7 地域資源の状況.....	48
8 交通.....	52
<b>第2章 八戸圏域定住自立圏の取組</b> .....	54
1 八戸圏域定住自立圏形成からこれまでの主な経過.....	54
2 生活機能の強化.....	56
3 結びつきやネットワークの強化.....	70
4 圏域マネジメント能力の強化.....	76
5 その他（普及啓発事業、調査事業等、八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議員連盟）.....	79
<b>第3章 圏域の中長期的将来像</b> .....	89
1 圏域の課題.....	89
2 目指す将来像.....	92
3 人口の将来展望.....	93
 (別冊)	
<b>第4章 連携協約に基づき推進する具体的取組</b> .....	1
1 圏域全体の経済成長のけん引.....	4
2 高次都市機能の集積・強化.....	21
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上.....	31
4 推進体制.....	57
<b>付属資料</b> .....	59
八戸圏域連携中枢都市圏ビジョンの主な策定経緯.....	60
八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会開催要綱.....	62
八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会構成員名簿.....	63
八戸圏域の「愛称」と「ロゴ」について.....	64

## 序章 連携中枢都市圏ビジョンの策定に当たって

### 1 策定の趣旨

我が国においては、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への過度の人口集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことが、喫緊の課題となっている。

このような状況の中、国では、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、この中で、「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」ことを基本目標の一つとして掲げ、定住自立圏や連携中枢都市圏の形成といった自治体間の地域連携を、一層推進していくこととしている。

八戸圏域（八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村・おいらせ町）では、平成 21 年度に八戸圏域定住自立圏を形成し、緊密な連携のもと、ドクターカーの運行や路線バス上限運賃化など、各種連携事業を積極的に展開することで、圏域全体における生活関連機能サービスの向上に成果を上げてきた。

このような中、当圏域では、平成 27 年度から、国の新たな広域連携制度である連携中枢都市圏の活用について、具体的な検討を重ね、平成 29 年 1 月 1 日には、八戸市が中核市に移行し、連携中枢都市圏の連携中枢都市としての要件を満たすこととなったところである。

連携中枢都市圏は、「圏域全体の経済成長のけん引」、「高次の都市機能の集積・強化」、「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」を目指すものであり、八戸圏域において、連携中枢都市圏へと発展的に移行することは、連携の更なる深化と圏域の活性化につながるものと期待される。

本ビジョンは、圏域の一体的発展を目指し、圏域の目指すべき将来像と、その実現に向けた具体的な取組を示すものとして策定するものである。

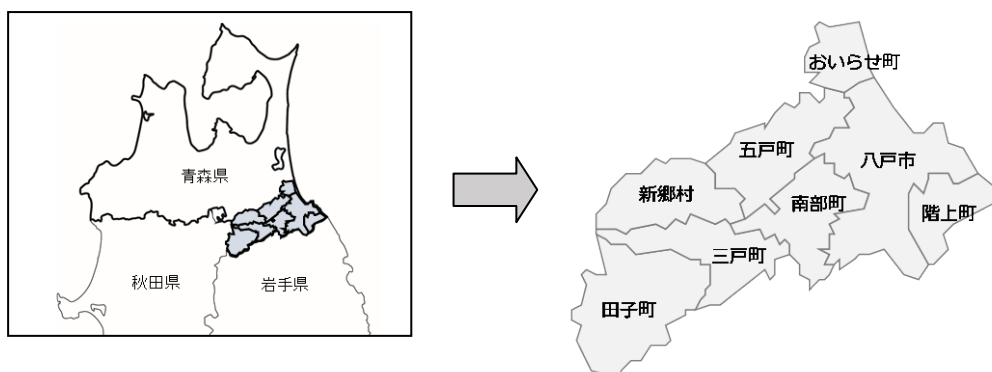
### 2 連携中枢都市圏及び構成市町村の名称

#### (1) 連携中枢都市圏の名称

八戸圏域連携中枢都市圏（愛称：八戸都市圏スクラム<sup>エイト</sup>8）

#### (2) 連携中枢都市圏を構成する市町村の名称

八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町



### 3 具体的な取組期間

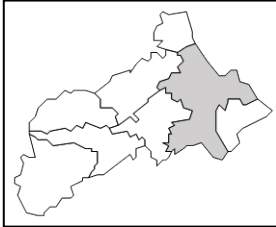
本ビジョンで示す将来像の実現に向けた具体的な取組の期間は、平成 29 年度から 33 年度までの 5 年間とする。

# 第1章 八戸圏域の概況

## 1 圏域を構成する市町村の概況

圏域8市町村の概況については以下のとおり。カッコ書きは、各市町村のキャッチフレーズ。

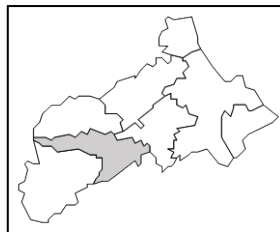
### (1) 八戸市（連携中枢都市：ひと・産業・文化が輝く 北の創造都市）



・八戸市は、古く藩政時代から、圏域をはじめ北奥羽地域の経済・社会・文化の中心として栄え、全国屈指の水産都市として、また北東北随一の工業都市として発展しており、平成29年1月1日には中核市に移行している。

・今後は、圏域住民に都市の魅力とにぎわいを提供するとともに、圏域内外との人・物・情報の多様な交流を促進するため、広域的な交流の舞台となる拠点づくり、産・学・官の連携による地域産業の高度化と新たな産業の育成等を進め、「ひと・産業・文化が輝く北の創造都市」として、より一層の中核機能の充実を目指している。

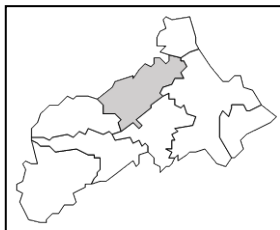
### (2) 三戸町（人がつどい、もてなしの心豊かな、住みよい さんのへ）



・三戸町は、明治22年に誕生してから、三戸地方の中心地として大きな役割を果たしてきた。

・今後は、「三戸独自の風土」に誇りを持ち、人、自然、文化という優れた資源や、経験から得た知識を活かしながら、町と町民が共に考え、一緒に行動しながら安心して心が落ち着くふるさとづくりのため、町民一人ひとりの人権を尊重し、これからも三戸地方の中心の町として町民自らによる町づくりの実現を目指している。

### (3) 五戸町（人とまちの活力で未来を拓く、共創（協創）の郷 ごのへ）

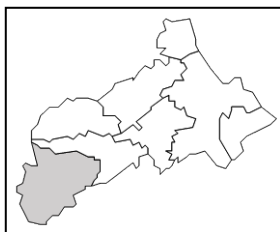


・五戸町は、野菜を中心とした複合経営の農業、商業、内陸型工業のほか、五戸地方における行政、医療や県南地方の農業研究に関する中心的役割を果たしてきた。また、豊かな自然環境の中に運動公園施設や図書館等の文化施設を整備するなど居住環境の整備も進めてきた。

・今後は、内陸型工業の集積を指向するとともに、みんなで創る活気ある町づくりに努め、さらに、八戸市や近隣町村との連携を強化して、五戸

地方における中核的役割を果たしていくことを目指している。

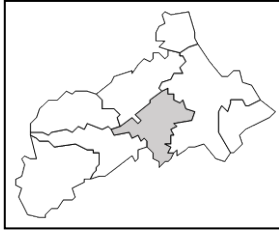
### (4) 田子町（ひとが輝き まちが輝く 活力と笑顔あふれるまち）



・田子町は、三八圏域の最南端に位置し、青森、秋田、岩手の三県の県境に接する町で、広大な牧草地と豊富な森林資源を有している。町の基幹産業は、農業と畜産を組み合わせた耕畜連携の地域農業を振興している。中でも、にんにくは「たっこにんにく」の地域商標でブランド力を高めてきた。また、豊富な有機質を活用した特別栽培米「ゆきこ」、夏秋野菜、田子牛（黒毛和牛）などの産地化とブランド化に努めている。

・今後は、北東北の二大観光地、十和田八幡平国立公園と三陸復興国立公園を結ぶ最短ルートの沿線にあるという地理的特性を生かし、「みろくの滝」等の自然資源を活かした観光交流の拡大を図るとともに、町営ケーブルテレビなどの地域情報網とコミュニティバスなどの地域ネットワークの構築、国際交流を活かした中高一貫教育の充実など、高齢者と子どもにやさしい地域づくりを目指している。

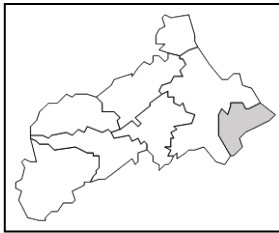
### (5) 南部町（フルーツの香り漂う感動のまち）



- ・南部町は、八戸市に隣接し、国道4号と104号が合流する交通の要衝に位置している。果樹を中心とした安全・安心な農作物の生産拠点であるほか、「農業観光四季のまつり」、「達者村」、農業体験修学旅行生受入れなどの施策を展開し、交流を推進している。

・今後は、基幹産業である農業をはじめ各種産業の振興を図っていくため、南部藩発祥の地、国史跡聖寿寺館跡、国指定重要文化財南部利康霊屋、南部手踊り発祥の地等の歴史的遺産と各種観光資源を複合したグリーン・ツーリズムの推進など、都市・地域間交流を積極的に推進するとともに、全国唯一の町営地方卸売市場が圏域内の一大流通拠点となることを目指している。

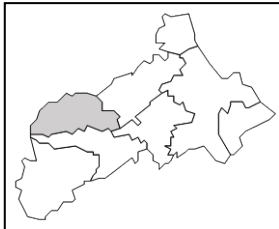
### (6) 階上町（ゆめ みらい 心ときめく ふるさとづくり）



- ・階上町は、八戸市の南部に位置し岩手県境に接する町であり、公共下水道事業等の住環境の整備が進められ、八戸市のベッドタウンとなっている。
- ・現在、「元祖いちご煮」と階上早生で作った「階上早生階上そば」を、地域ブランドとして確立・PRするとともに、三陸復興国立公園の一部である階上岳や階上海岸等の豊かな自然を活かした体験型観光の推進と、都市住民と農村の交流の場や圏域住民の憩いの場として豊かな自然を提供することにより、産業振興と地域活性化を目指している。

- ・また、町民と行政がパートナーシップを強め、住民の意思を反映し、かつ効率的な行財政運営を進めることができるよう、これまで取り組んできた「協働のまちづくり」をさらに推進していくことに努めている。

### (7) 新郷村（健康で明るく心豊かな長寿のむらを目指して）

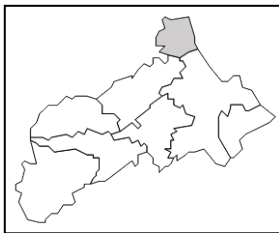


- ・新郷村は、米、野菜、畜産を主体とした農業をはじめ、素材生産はもとより環境保全等の公益機能を有する林業を基幹産業とし、農林畜産物生産の拠点的作用を果たしている。

- ・また、十和田・八幡平国立公園に接する迷ヶ平や間木ノ平地区生活環境保全林は、自然滞在型体験観光エリアであるとともに、その周辺にはキリストの墓や和風ピラミッド、水芭蕉群生地等があり、圏域内外からの観光客の保養の場としての役割を果たしている。

- ・今後は、森づくり、水づくり、土づくりから始まる「安全・安心な食づくり」に力点を置くとともに、有機資源センター新郷を核として、耕畜連携による資源循環型農業の村「有機の里づくり」と高齢者と子どもにやさしい村、定住促進の推進、自然エネルギーの活用、住民総参加型イベントによる健康増進等、健康で明るく心豊かな長寿のむらを目指している。

### (8) おいらせ町（奥入瀬川の恵みと笑顔あふれるまち）



- ・おいらせ町は、八戸市・三沢市・十和田市の中心に位置し、高速道路のインターチェンジや東北新幹線八戸駅、八戸港、三沢空港などの陸・海・空の交通網の結節点として地理的にも恵まれており、県内でも人口が増加している地域である。

- ・産業面では、水稻、畑作、畜産及び施設園芸を主体とした複合型農業や、臨海部の百石工業団地及びショッピングセンターを核とした商業集積等、商工業の振興による雇用の場の創出を促進している。

- ・今後は、健康長寿の推進と元気な地域社会の創造に向け、町民がライフステージごとに輝いて生活し、自己実現できる環境を整えるとともに、土地利用の適正化と生活環境の整備を促進し、居住地域としての機能の充実を目指している。

## 2 圏域の結びつき

圏域の結びつき（通勤・通学圏、医療圏、商圈）については以下のとおり。

- ・圏域の総人口は、下表のとおり約34万人となっており、そのうち八戸市の人口は、圏域全体の約7割を占めている。
- ・人口総数及び昼夜間人口比率の分布からわかるように、通勤・通学、買物、医療等、主要な生活行動における日常生活圏が、八戸市を中心に形成されている。
- ・日常生活圏のそれぞれの機能にかかる近隣町村住民の利用状況等を以降に示す。

図表 1-1 人口総数及び昼夜間人口比率

区分	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
人口総数(人)	237,615 【244,700】	11,299 【12,261】	18,712 【20,138】	6,175 【6,883】	19,853 【21,552】	14,699 【15,356】	2,851 【3,143】	24,211 【24,172】	335,415 【348,205】
昼夜間人口比率(%)	105.1 【105.3】	100.0 【100.3】	90.3 【90.6】	98.3 【97.6】	85.3 【85.3】	73.1 【70.0】	91.7 【93.0】	86.7 【87.9】	—

注) 【】内は、平成17年国勢調査の数値。

注) 平成27年国勢調査における関連統計が公表前のため、平成22年の集計結果を記載。

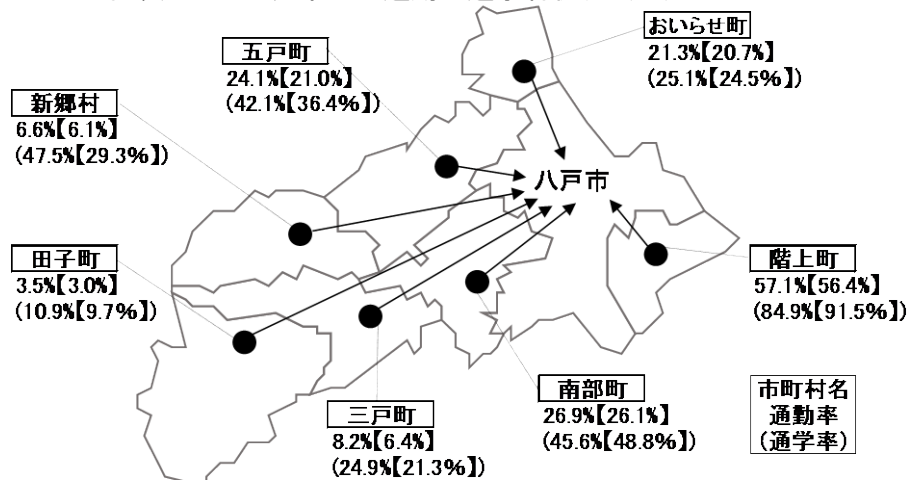
出典：平成22年国勢調査（総務省統計局）

### (1) 通勤・通学圏

圏域における八戸市への通勤・通学の状況については以下のとおり。

- ・八戸市への通勤状況は、階上町が57.1%と高い依存度を示しているほか、南部町・五戸町・おいらせ町の順で高くなっており、いずれも20%以上の依存度を示している。
- ・八戸市への通学状況は、階上町が84.9%と高い依存度を示しているほか、新郷村・南部町・五戸町・おいらせ町・三戸町の順で高くなっており、いずれも20%以上の依存度を示している。

図表 1-2 八戸市への通勤・通学者状況 (%)



注) 【】内は、平成17年調査

注) 平成27年国勢調査における関連統計は、公表前のため、平成22年の集計結果を記載。

出典：平成22年国勢調査（総務省統計局）

図表 1-3 八戸市内の高等学校・高等教育機関・主要企業

高等学校	県立高校(9校)、私立高校(6校)
高等教育機関	八戸工業大学、八戸学院大学、八戸学院短期大学、八戸工業高等専門学校
主要企業	大太平洋金属(株)、三菱製紙(株)、高周波鋳造(株)、八戸製錬(株)、東京鐵鋼(株)、アルバック東北(株)、多摩川精機(株)、エプソンアトミックス(株)、東北電力(株)八戸火力発電所、東北グレーンターミナル(株)、NTT 東日本サービス(株)、ヤフー(株)八戸センター ほか

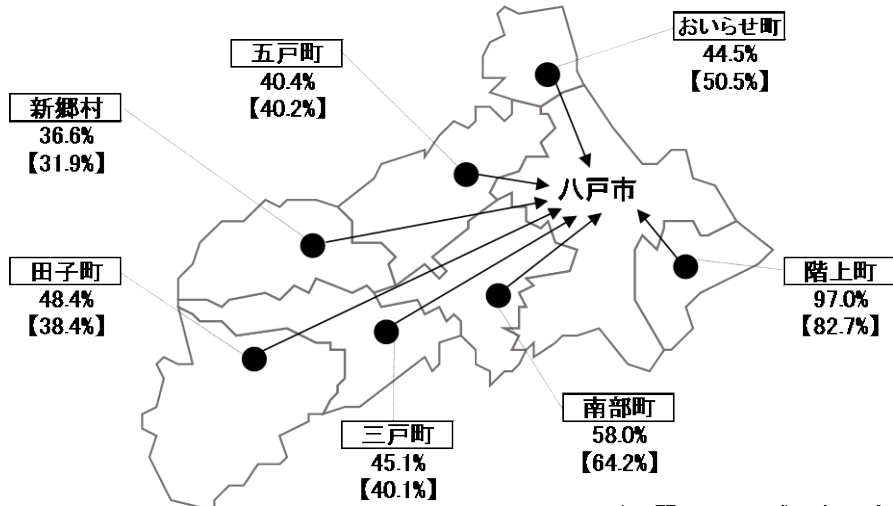


## (2) 医療圏

圏域における八戸市内病院への入院動向については以下のとおり。

- ・ 近隣町村から八戸市内の病院への入院動向（入院者比率）は、階上町が 97.0%、南部町が 58.0% と半数を超える依存度を示し、その他の町村も 30%を超えている。

図表 1-4 八戸市内病院への入院動向（%）



注) 【内は、平成17年調査

出典：青森県受療動向調査（平成 23 年）

図表 1-5 八戸市内の主要病院と各病院の利用者（患者）数

主要病院		種別	地域別	患者数(人)	構成比(%)
八戸市立市民病院	病床数 608	入院	八戸市内	130,916	65.7
			八戸市外	68,323	34.3
	診療科数 32	外来	八戸市内	181,622	70.4
			八戸市外	76,347	29.6
青森労災病院	病床数 472	入院	八戸市内	60,881	71.9
			八戸市外	23,743	28.1
	診療科数 22	外来	八戸市内	129,814	76.7
			八戸市外	39,492	23.3
八戸赤十字病院	病床数 434	入院	八戸市内	72,379	57.6
			八戸市外	53,285	42.4
	診療科数 20	外来	八戸市内	115,898	59.2
			八戸市外	79,827	40.8

注) 青森労災病院の病床数：平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日(474 床)、平成 27 年 7 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日 (472 床)

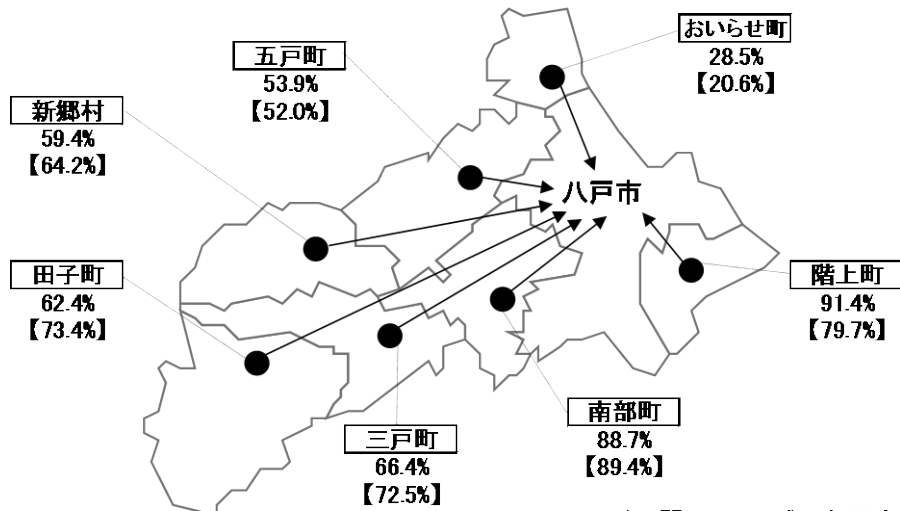
出典：平成 27 年度各病院調べ

### (3) 商圈

圏域における八戸市への消費者購買実態については以下のとおり。

- ・圏域における八戸市への消費者購買の動向（八戸市の買回品吸収率）は、おいらせ町を除く6町村からの吸収率が5割を超える水準となっている。
- ・中でも、階上町が91.4%、南部町が88.7%と、8割を超える高い水準を示している。

図表 1-6 八戸市への消費者購買実態 買回品吸収率 (%)



注) 【】内は、平成17年調査

出典：消費者購買動向による商圈調査報告書（平成23年）

図表 1-7 八戸市内の大規模小売店舗（※大規模小売店舗立地法に基づく届出店舗面積が10,000㎡以上の店舗）

大規模小売店舗	・ピアドゥ	(店舗面積:25,400㎡)	・さくら野百貨店	(店舗面積:15,227㎡)
	・ラピア	(店舗面積:22,510㎡)	・Cino(チーノ)	(店舗面積:14,005㎡)
	・中合三春屋店	(店舗面積:15,584㎡)	・シンフォニープラザ沼館	(店舗面積:14,214㎡)

(平成28年6月現在)

※ 買回品（かいまわりひん）とは、最寄り品が普通生活雑貨のことを指すのに対し、耐久消費財や趣味品などを指す用語。買回品は価格や品質の比較のため、消費者がいくつかの商店を「買い回る」ためこのように呼ばれる。買回品は百貨店や都市部にしかないような専門店、あるいは郊外の大型専門店でないと思えないものが多いため、一般的に日用品の商圈よりも広い。

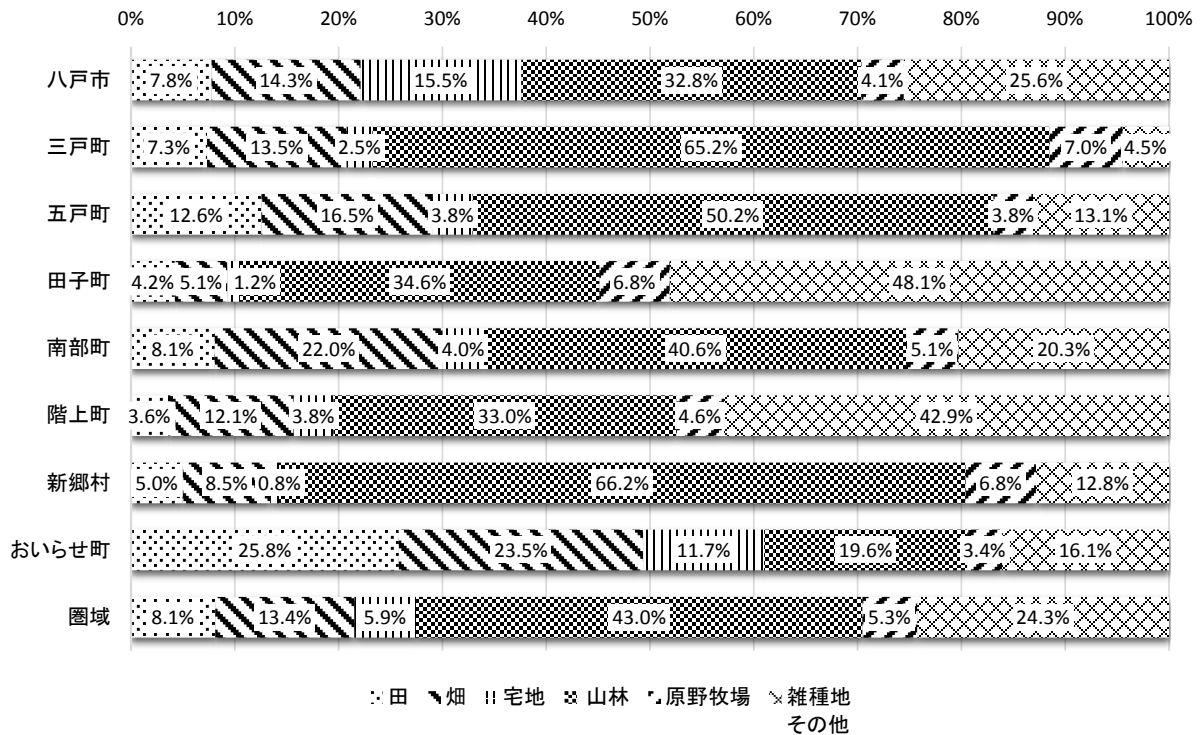


### 3 土地利用の状況

圏域における平成 27 年度の土地利用状況については以下のとおり。

・土地利用構成割合を市町村別に見ると、八戸市の宅地割合が 15.5%、おいらせ町の宅地割合が 11.7%と、それぞれ 10%を超えているのに対し、その他の町村では 4%以下となっている。

図表 1-8 土地利用構成割合



出典：平成 27 年度固定資産の価格等の概要調書（青森県）より作成

図表 1-9 市町村別 土地面積及び土地利用構成割合

区分	田	畑	宅地	山林	原野牧場	雑種地 その他	合計面積 (km <sup>2</sup> )
八戸市	23.75	43.83	47.26	100.21	12.40	78.10	305.54
	7.8%	14.3%	15.5%	32.8%	4.1%	25.6%	
三戸町	11.10	20.44	3.78	99.00	10.69	6.77	151.79
	7.3%	13.5%	2.5%	65.2%	7.0%	4.5%	
五戸町	22.32	29.35	6.76	89.19	6.78	23.26	177.67
	12.6%	16.5%	3.8%	50.2%	3.8%	13.1%	
田子町	10.24	12.24	2.94	83.79	16.39	116.38	241.98
	4.2%	5.1%	1.2%	34.6%	6.8%	48.1%	
南部町	12.35	33.65	6.09	62.23	7.76	31.03	153.12
	8.1%	22.0%	4.0%	40.6%	5.1%	20.3%	
階上町	3.36	11.37	3.61	31.06	4.32	40.30	94.01
	3.6%	12.1%	3.8%	33.0%	4.6%	42.9%	
新郷村	7.51	12.83	1.16	99.75	10.20	19.33	150.77
	5.0%	8.5%	0.8%	66.2%	6.8%	12.8%	
おいらせ町	18.56	16.95	8.39	14.07	2.42	11.57	71.96
	25.8%	23.5%	11.7%	19.6%	3.4%	16.1%	
圏域	109.19	180.64	80.00	579.30	70.96	326.75	1,346.84
	8.1%	13.4%	5.9%	43.0%	5.3%	24.3%	

注) 小数第 2 位以下を端数処理しているため、%の合計は必ずしも 100%とならない場合がある。

出典：平成 27 年度固定資産の価格等の概要調書（青森県）より作成

## 4 人口の動向

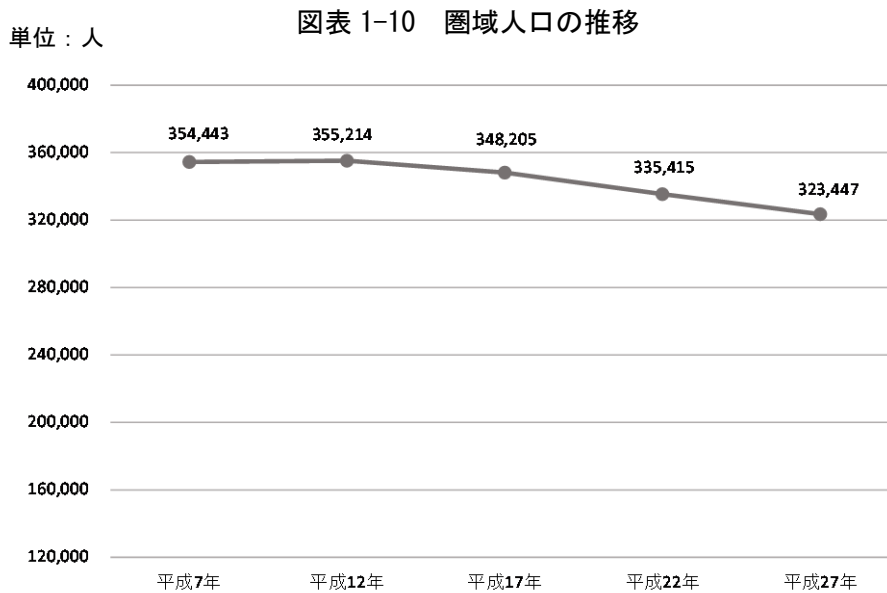
圏域における人口の動向（人口推移、人口動態）については以下のとおり。

### (1) 人口・世帯等の推移

#### ① 人口推移

圏域における平成7年から平成27年の国勢調査人口の推移については以下のとおり。

- ・人口を市町村別に見ると、平成7年から平成12年までの間は、階上町及びおいらせ町が増加し、その後階上町は減少に転じたが、おいらせ町はその後も微増・横ばい傾向となっている。
- ・圏域全体に占める八戸市の人口割合は7割余りとなっている。
- ・圏域全体では、平成22年から平成27年の間で約1.2万人の減少となっている。



出典：国勢調査（総務省統計局）

図表 1-11 圏域人口の推移 単位：人

年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	圏域内構成比 (平成27年)
八戸市	249,358	248,608 -0.3%	244,700 -1.6%	237,615 -2.9%	231,257 -2.7%	71.5%
三戸町	13,740	13,223 -3.8%	12,261 -7.3%	11,299 -7.8%	10,135 -10.3%	3.1%
五戸町	21,666	21,318 -1.6%	20,138 -5.5%	18,712 -7.1%	17,433 -6.8%	5.4%
田子町	7,681	7,288 -5.1%	6,883 -5.6%	6,175 -10.3%	5,554 -10.1%	1.7%
南部町	23,041	22,596 -1.9%	21,552 -4.6%	19,853 -7.9%	18,312 -7.8%	5.7%
階上町	14,428	15,618 8.2%	15,356 -1.7%	14,699 -4.3%	14,025 -4.6%	4.3%
新郷村	3,498	3,343 -4.4%	3,143 -6.0%	2,851 -9.3%	2,509 -12.0%	0.8%
おいらせ町	21,031	23,220 10.4%	24,172 4.1%	24,211 0.2%	24,222 0.0%	7.5%
圏域	354,443	355,214 0.2%	348,205 -2.0%	335,415 -3.7%	323,447 -3.6%	—

注) 下段は対前期増加率

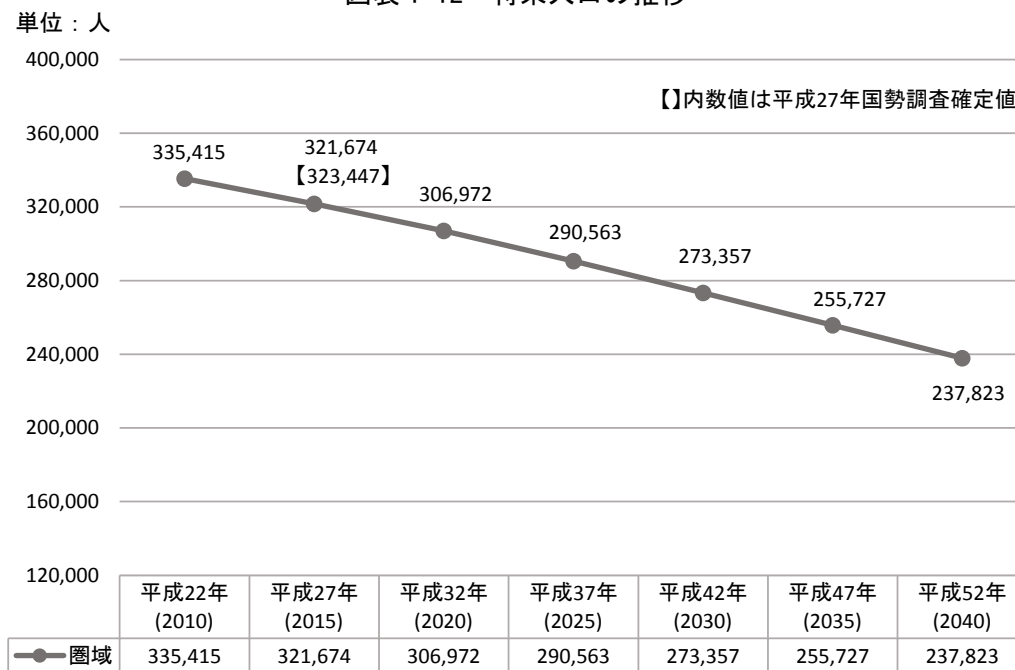
出典：国勢調査（総務省統計局）

## ② 将来人口

圏域における平成 52 年までの将来人口の推移については以下のとおり。

・国立社会保障・人口問題研究所によると平成 22 年以降減少傾向が続き、平成 52 年には 237,823 人（対 22 年比、29.1%減）になると推計されている。なお、平成 27 年の国勢調査確定値では圏域人口が 323,447 人となっており、推計値を 1,773 人上回っている。

図表 1-12 将来人口の推移



出典：日本の地域別将来推計人口（平成 25 年 3 月推計）（国立社会保障・人口問題研究所）、国勢調査（総務省統計局）より作成

図表 1-13 将来人口の推移

単位：人

年 市町村	平成 22 年 (2010)	平成 27 年 (2015)	平成 32 年 (2020)	平成 37 年 (2025)	平成 42 年 (2030)	平成 47 年 (2035)	平成 52 年 (2040)
八戸市	237,615	229,177 【231,257】	219,873	209,088	197,421	185,223	172,744
三戸町	11,299	10,396 【10,135】	9,556	8,705	7,892	7,122	6,401
五戸町	18,712	17,385 【17,433】	16,101	14,795	13,517	12,280	11,045
田子町	6,175	5,606 【5,554】	5,077	4,569	4,093	3,660	3,259
南部町	19,853	18,345 【18,312】	16,931	15,507	14,153	12,873	11,639
階上町	14,699	13,971 【14,025】	13,241	12,461	11,675	10,869	10,018
新郷村	2,851	2,588 【2,509】	2,337	2,091	1,871	1,668	1,478
おいらせ町	24,211	24,206 【24,222】	23,856	23,347	22,735	22,032	21,239
圏域	335,415	321,674 【323,447】	306,972	290,563	273,357	255,727	237,823

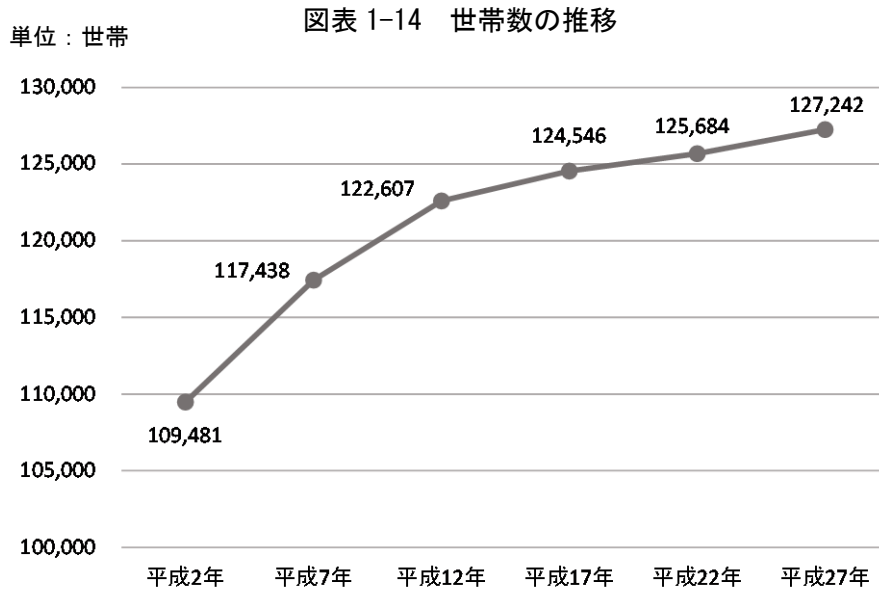
注）平成 27 年の【】内数値は国勢調査確定値

出典：日本の地域別将来推計人口（平成 25 年 3 月推計）（国立社会保障・人口問題研究所）、国勢調査（総務省統計局）

### ③ 世帯数

圏域における平成7年から平成27年の世帯数の推移については以下のとおり。

- ・世帯数を市町村別に見ると、八戸市とおいらせ町は一貫して増加傾向である一方、他の町村では減少傾向となっている。
- ・圏域全体では微増傾向となっている。



出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

図表 1-15 世帯数の推移

単位：世帯

年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	圏域内構成比 (平成27年)
八戸市	85,285	88,657 4.0%	90,308 1.9%	91,917 1.8%	93,750 2.0%	73.7%
三戸町	4,250	4,312 1.5%	4,145 -3.9%	3,961 -4.4%	3,756 -5.2%	3.0%
五戸町	6,189	6,268 1.3%	6,347 1.3%	6,177 -2.7%	6,123 -0.9%	4.8%
田子町	2,265	2,253 -0.5%	2,223 -1.3%	2,097 -5.7%	2,006 -4.3%	1.6%
南部町	6,683	6,851 2.5%	6,819 -0.5%	6,621 -2.9%	6,419 -3.1%	5.0%
階上町	5,577	5,951 6.7%	5,786 -2.8%	5,707 -1.4%	5,699 -0.1%	4.5%
新郷村	945	927 -1.9%	909 -1.9%	874 -3.9%	831 -4.9%	0.7%
おいらせ町	6,244	7,388 18.3%	8,009 8.4%	8,330 4.0%	8,658 3.9%	6.8%
圏域	117,438	122,607 4.4%	124,546 1.6%	125,684 0.9%	127,242 1.2%	—

注) 下段は対前期増加率

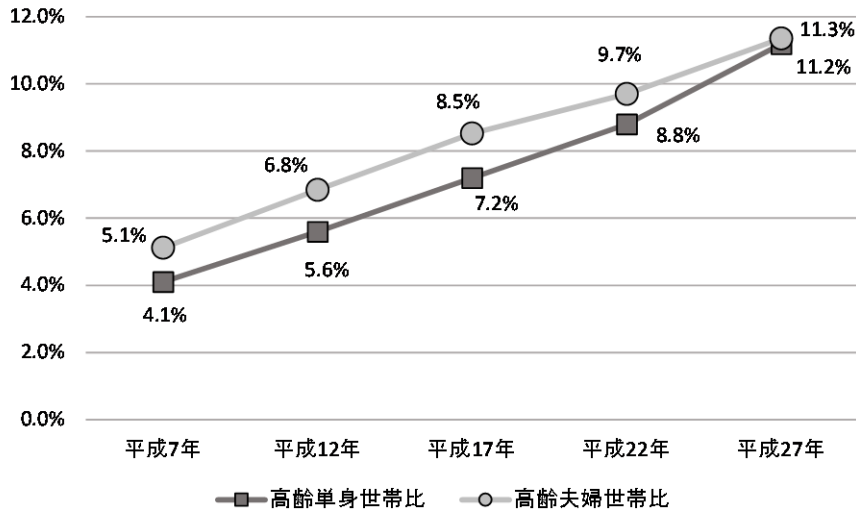
出典：国勢調査（総務省統計局）

#### ④ 高齢単身世帯比・高齢夫婦世帯比

圏域における平成7年から平成27年の高齢単身世帯比と高齢夫婦世帯比の推移については以下のとおり。

- ・全世帯に占める高齢単身世帯の割合及び高齢夫婦世帯の割合は、圏域及び全市町村において上昇傾向となっている。

図表 1-16 高齢単身世帯比と高齢夫婦世帯比の推移



出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

図表 1-17 高齢単身世帯比の推移

年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
市町村					
八戸市	3.8%	5.4%	7.0%	8.7%	11.1%
三戸町	7.1%	9.2%	11.5%	13.3%	14.7%
五戸町	5.2%	6.2%	7.7%	9.4%	12.0%
田子町	6.7%	9.4%	11.3%	12.3%	14.8%
南部町	5.8%	7.7%	9.3%	10.6%	13.2%
階上町	1.9%	2.7%	4.2%	6.0%	8.5%
新郷村	6.7%	7.4%	9.7%	11.2%	14.9%
おいらせ町	3.7%	4.6%	5.7%	6.9%	8.5%
圏域	4.1%	5.6%	7.2%	8.8%	11.2%

出典：国勢調査（総務省統計局）

図表 1-18 高齢夫婦世帯比の推移

年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
市町村					
八戸市	4.8%	6.7%	8.4%	9.5%	11.1%
三戸町	7.4%	9.1%	10.3%	11.7%	13.4%
五戸町	7.0%	8.7%	10.3%	11.5%	13.6%
田子町	7.7%	9.5%	11.5%	12.1%	13.8%
南部町	6.5%	8.8%	10.3%	11.6%	12.9%
階上町	3.2%	4.0%	5.5%	7.4%	10.7%
新郷村	7.4%	8.3%	10.8%	13.2%	13.7%
おいらせ町	4.5%	5.7%	7.0%	8.2%	9.5%
圏域	5.1%	6.8%	8.5%	9.7%	11.3%

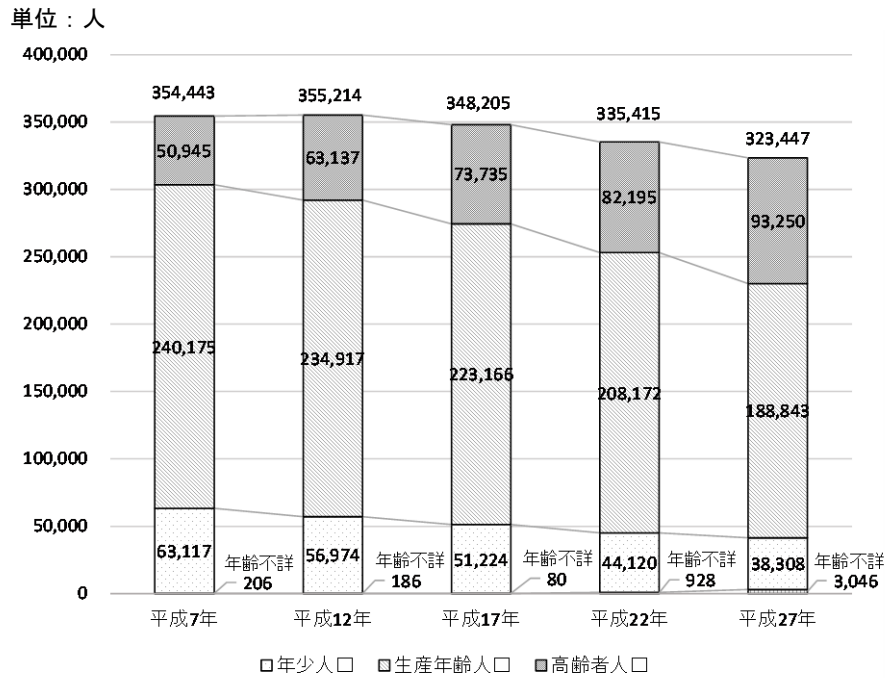
出典：国勢調査（総務省統計局）

## ⑤ 年齢別人口

圏域における平成7年から平成27年の年齢別人口の推移については以下のとおり。

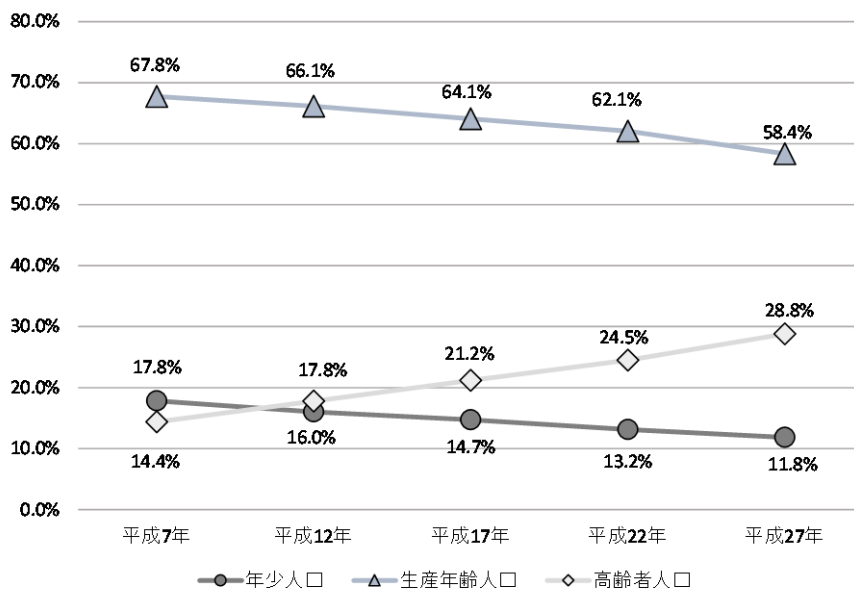
- ・年齢別人口については、全市町村で年少人口割合及び生産年齢人口割合が共に低下し、高齢者人口割合が高くなる傾向となっている。
- ・平成27年における高齢者人口割合は、圏域全体では28.8%と平成7年から14.4ポイント増加し、八戸市・階上町・おいらせ町以外の5町村については35%を超える水準となっている。

図表 1-19 年齢別（3区分）人口の推移（その1）



出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

図表 1-20 年齢別（3区分）人口の推移（その2）



注) 小数第2位以下を端数処理しているため、%の合計は必ずしも100%とならない場合がある。

出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

図表 1-21 年少人口（0～14 歳）割合の推移

年 市町村	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	平成 27-平成 7 (単位:ポイント)
八戸市	18.1%	16.2%	15.0%	13.4%	12.2%	-5.9
三戸町	15.5%	14.0%	12.6%	11.0%	9.8%	-5.7
五戸町	16.3%	14.6%	12.4%	10.7%	9.7%	-6.6
田子町	16.4%	14.7%	12.8%	10.9%	9.3%	-7.1
南部町	17.0%	15.2%	13.4%	11.9%	10.2%	-6.8
階上町	17.9%	16.3%	15.0%	12.5%	10.5%	-7.4
新郷村	15.0%	12.2%	10.7%	9.6%	8.2%	-6.8
おいらせ町	19.1%	18.1%	17.1%	15.7%	14.2%	-4.9
圏域	17.8%	16.0%	14.7%	13.2%	11.8%	-6.0

出典：国勢調査（総務省統計局）

図表 1-22 生産年齢人口（15～64 歳）割合の推移

年 市町村	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	平成 27-平成 7 (単位:ポイント)
八戸市	69.2%	67.7%	65.4%	63.1%	59.1%	-10.1
三戸町	62.8%	60.1%	57.5%	55.7%	52.5%	-10.3
五戸町	63.7%	61.4%	60.0%	58.9%	54.7%	-9.0
田子町	61.7%	58.3%	54.6%	54.0%	51.2%	-10.5
南部町	62.6%	60.3%	58.6%	57.1%	53.9%	-8.7
階上町	69.3%	68.7%	67.0%	65.4%	61.4%	-7.9
新郷村	58.8%	55.6%	52.7%	49.7%	46.9%	-11.9
おいらせ町	66.3%	65.7%	64.4%	63.2%	60.9%	-5.4
圏域	67.8%	66.1%	64.1%	62.1%	58.4%	-9.4

出典：国勢調査（総務省統計局）

図表 1-23 高齢者人口（65 歳以上）割合の推移

年 市町村	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	平成 27-平成 7 (単位:ポイント)
八戸市	12.7%	16.1%	19.6%	23.2%	27.5%	14.8
三戸町	21.7%	25.8%	29.9%	33.3%	37.3%	15.6
五戸町	19.9%	24.0%	27.6%	30.4%	35.5%	15.6
田子町	21.8%	27.1%	32.6%	35.0%	39.5%	17.7
南部町	20.5%	24.5%	28.0%	30.9%	35.8%	15.3
階上町	12.8%	15.1%	18.0%	21.7%	27.1%	14.3
新郷村	26.2%	32.2%	36.6%	40.7%	44.9%	18.7
おいらせ町	14.5%	16.3%	18.5%	20.9%	24.7%	10.2
圏域	14.4%	17.8%	21.2%	24.5%	28.8%	14.4

出典：国勢調査（総務省統計局）

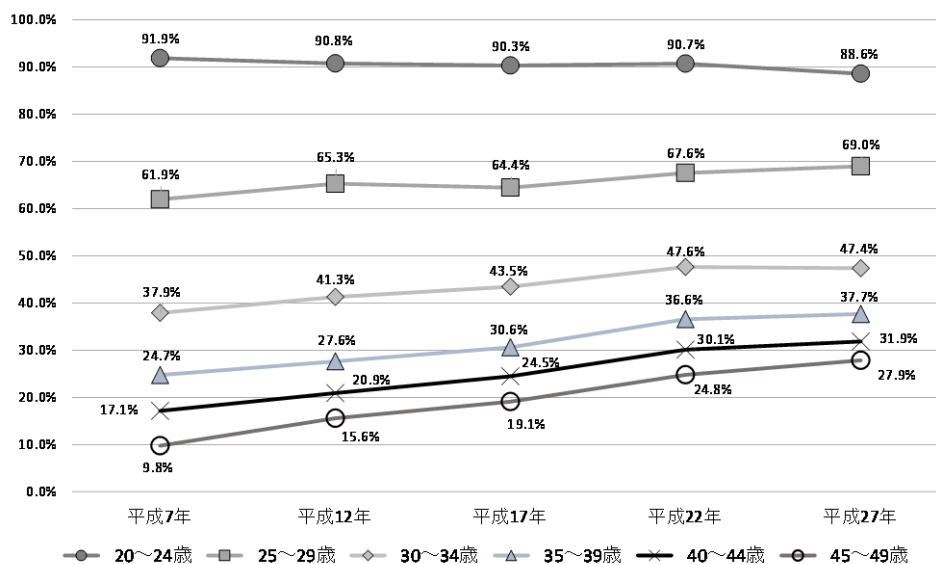


## ⑥ 未婚率

圏域における平成7年から平成27年の年齢階級別未婚率の推移については以下のとおり。

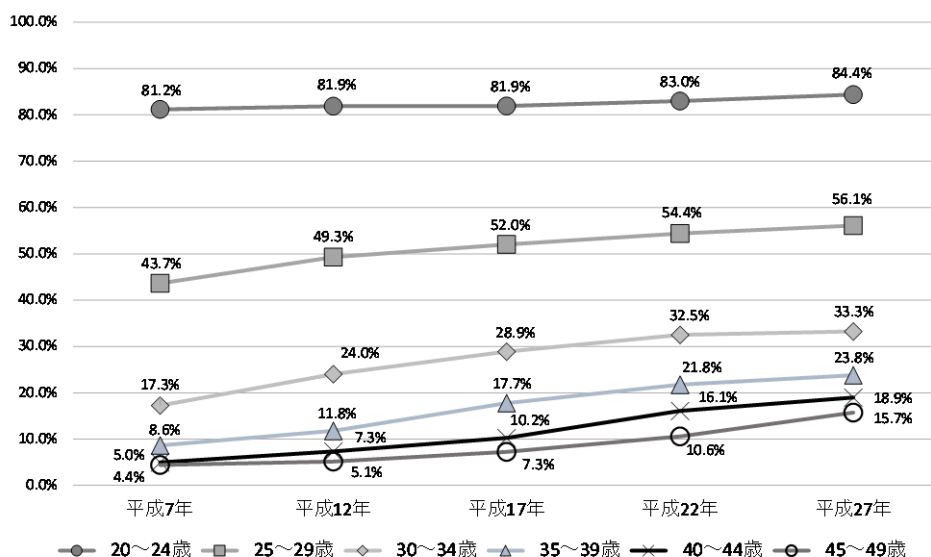
- 平成7年から平成27年までの圏域における未婚率については、男性では25歳以上、女性では20歳以上の各年齢階級で、年を経るごとに増加する傾向にある。
- 平成7年と平成27年の男性の未婚率を比べると、未婚率の増加幅が最も大きいのが「45～49歳」で18.1ポイント、次に「40～44歳」で14.8ポイント、「35～39歳」で13.0ポイントの順となっている。
- 平成7年と平成27年の女性の未婚率を比べると、未婚率の増加幅が最も大きいのは「30～34歳」で16.0ポイント、次に「35～39歳」で15.2ポイント、「40～44歳」で13.9ポイントの順となっている。
- 平成7年と平成27年の未婚率を比べると、10ポイント以上の増加となっているのは、男性の場合は「35～49歳」で、女性の場合は「25～49歳」である。

図表 1-24 男性の年齢階級別未婚率の推移（20～49歳）



出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

図表 1-25 女性の年齢階級別未婚率の推移（20～49歳）



出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

図表 1-26 男性の年齢階級別未婚率の推移

年 年齢	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	平成 27-平成 7 (単位:ポイント)
15～19 歳	99.6%	99.5%	99.6%	99.6%	99.0%	-0.6
20～24 歳	91.9%	90.8%	90.3%	90.7%	88.6%	-3.3
25～29 歳	61.9%	65.3%	64.4%	67.6%	69.0%	7.1
30～34 歳	37.9%	41.3%	43.5%	47.6%	47.4%	9.5
35～39 歳	24.7%	27.6%	30.6%	36.6%	37.7%	13.0
40～44 歳	17.1%	20.9%	24.5%	30.1%	31.9%	14.8
45～49 歳	9.8%	15.6%	19.1%	24.8%	27.9%	18.1
50 歳以上	2.3%	3.9%	6.3%	8.9%	11.2%	8.9

出典：国勢調査（総務省統計局）

図表 1-27 女性の年齢階級別未婚率の推移

年 年齢	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	平成 27-平成 7 (単位:ポイント)
15～19 歳	99.1%	98.9%	99.0%	99.3%	98.5%	-0.6
20～24 歳	81.2%	81.9%	81.9%	83.0%	84.4%	3.2
25～29 歳	43.7%	49.3%	52.0%	54.4%	56.1%	12.4
30～34 歳	17.3%	24.0%	28.9%	32.5%	33.3%	16.0
35～39 歳	8.6%	11.8%	17.7%	21.8%	23.8%	15.2
40～44 歳	5.0%	7.3%	10.2%	16.1%	18.9%	13.9
45～49 歳	4.4%	5.1%	7.3%	10.6%	15.7%	11.3
50 歳以上	3.0%	3.2%	3.5%	4.2%	5.0%	2.0

出典：国勢調査（総務省統計局）

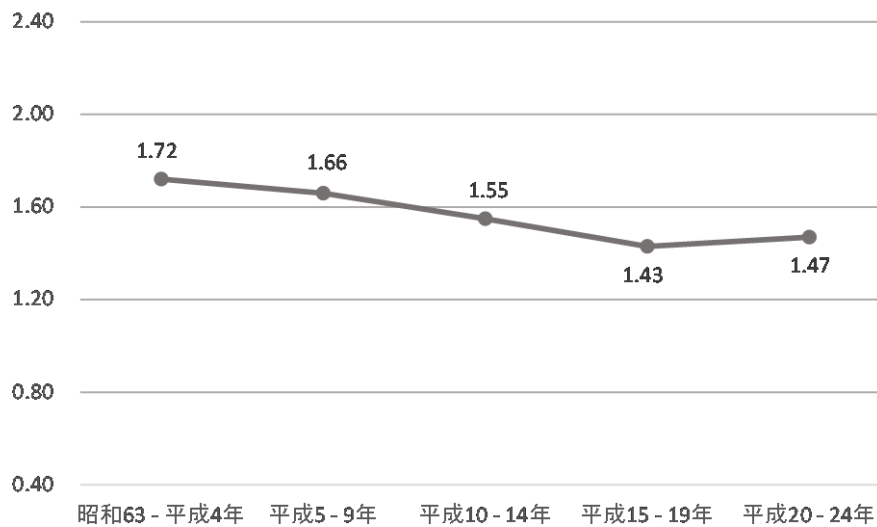
※ 未婚率とは、15 歳以上の人口に占める未婚者数（一度も結婚していない人の数）の割合。

## ⑦ 合計特殊出生率

圏域における合計特殊出生率の推移については以下のとおり。

- ・圏域の合計特殊出生率は昭和 63 年～平成 4 年平均から 0.25 ポイント低下し、平成 20 年～平成 24 年平均で 1.47 ポイントとなっており、全国 1.38 ポイント及び青森県 1.37 ポイントより高くなっている。
- ・平成 20 年～平成 24 年平均で最も合計特殊出生率が高いのは、おいらせ町で 1.61 ポイント、次いで三戸町と田子町で 1.48 ポイントである。最も低いのは五戸町で 1.32 ポイントである。

図表 1-28 合計特殊出生率の推移



出典：人口動態保健所・市町村別統計（厚生労働省）より作成

図表 1-29 合計特殊出生率の推移

年	昭和 63 ～平成 4 年	平成 5 ～9 年	平成 10 ～14 年	平成 15 ～19 年	平成 20 ～24 年
八戸市	1.70	1.65	1.54	1.43	1.47
三戸町	1.82	1.73	1.57	1.49	1.48
五戸町	1.69	1.61	1.48	1.31	1.32
田子町	1.91	1.70	1.63	1.60	1.48
南部町	1.72	1.69	1.55	1.31	1.47
階上町	1.80	1.69	1.50	1.36	1.34
新郷村	1.87	1.72	1.64	1.48	1.39
おいらせ町	1.74	1.70	1.63	1.53	1.61
圏域	1.72	1.66	1.55	1.43	1.47
青森県	1.63	1.58	1.48	1.34	1.37
全国	1.66	1.46	1.38	1.31	1.38

出典：人口動態保健所・市町村別統計（厚生労働省）

※ 合計特殊出生率とは、1人の女性が生涯に生むと見込まれる子どもの数。その年の15歳から49歳までの女性が産んだ子どもの数を元に算出する。人口を維持できる水準は2.07とされ、将来の人口が増えるか減るかを見る指標となる。

## (2) 人口動態

### ① 人口動態（自然動態・社会動態）

圏域における人口動態の推移については以下のとおり。

- ・自然動態（出生人口と死亡人口の差）は、全市町村で減少となっている。
- ・社会動態（転入人口と転出人口の差）は、おいらせ町で増加が続くとともに、田子町、南部町、階上町及び新郷村では減少幅が横ばいないし縮小する一方、八戸市、三戸町及び五戸町で減少幅が大きくなっている。また、八戸圏域全体では、減少幅が微増傾向となっている。
- ・人口動態（自然動態+社会動態）は、全市町村で減少となっている。

図表 1-30 自然動態の推移

単位：人

年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
市町村					
八戸市	-507	-614	-756	-693	-859
三戸町	-104	-116	-125	-140	-122
五戸町	-161	-201	-183	-165	-168
田子町	-79	-84	-82	-83	-100
南部町	-205	-189	-219	-216	-179
階上町	-65	-57	-93	-83	-69
新郷村	-41	-49	-43	-48	-34
おいらせ町	-47	-48	-20	-53	-88
圏域	-1,209	-1,358	-1,521	-1,481	-1,619

出典：青森県人口移動統計調査（青森県）

図表 1-31 社会動態の推移

単位：人

年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
市町村					
八戸市	-573	-359	-682	-571	-758
三戸町	-150	-75	-77	-111	-160
五戸町	-65	-67	-104	-74	-105
田子町	-54	-55	-23	-80	-77
南部町	-116	-143	-173	-173	-48
階上町	-26	-101	-85	-91	-40
新郷村	-16	-51	-6	-36	-48
おいらせ町	43	7	68	29	58
圏域	-957	-844	-1,082	-1,107	-1,178

出典：青森県人口移動統計調査（青森県）

図表 1-32 人口動態（自然動態+社会動態）の推移

単位：人

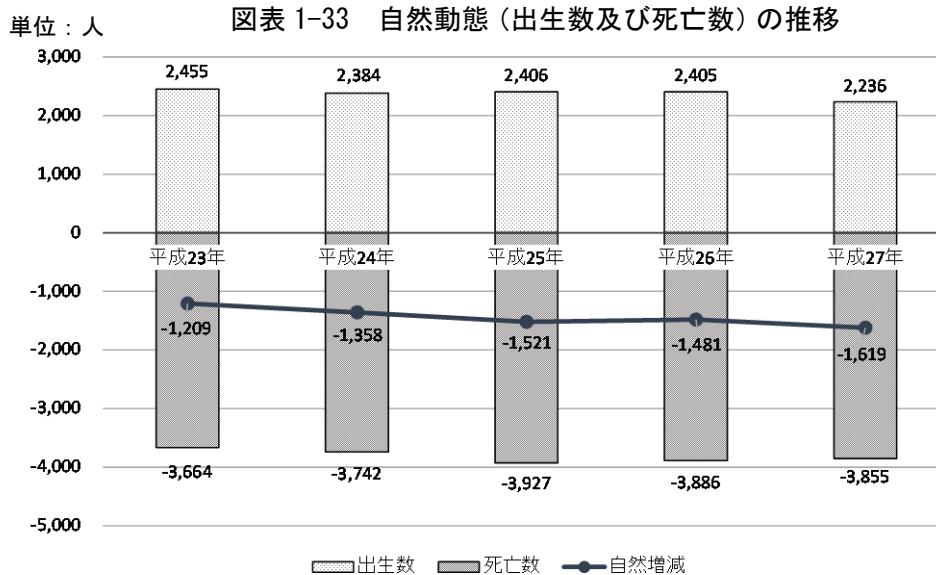
年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
市町村					
八戸市	-1,080	-973	-1,438	-1,264	-1,617
三戸町	-254	-191	-202	-251	-282
五戸町	-226	-268	-287	-239	-273
田子町	-133	-139	-105	-163	-177
南部町	-321	-332	-392	-389	-227
階上町	-91	-158	-178	-174	-109
新郷村	-57	-100	-49	-84	-82
おいらせ町	-4	-41	48	-24	-30
圏域	-2,166	-2,202	-2,603	-2,588	-2,797

出典：青森県人口移動統計調査（青森県）

## ② 自然動態の推移

圏域における自然動態（出生数及び死亡数）の推移については以下のとおり。

- ・圏域における自然動態は、平成26年に減少が和らぐも、平成27年には再び減少に転じ、1,619人減となっている。
- ・圏域における出生数は微減傾向にある。



出典：青森県人口移動統計調査（青森県）より作成

図表 1-34 自然動態（出生数及び死亡数）の推移

単位：人

年		平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
市町村	出生数					
	死亡数					
	自然増減					
八戸市	出生数	1,846	1,817	1,851	1,844	1,716
	死亡数	2,353	2,431	2,607	2,537	2,575
	自然増減	-507	-614	-756	-693	-859
三戸町	出生数	69	63	59	44	46
	死亡数	173	179	184	184	168
	自然増減	-104	-116	-201	-183	-165
五戸町	出生数	102	89	91	112	81
	死亡数	263	290	274	277	249
	自然増減	-161	-201	-183	-165	-168
田子町	出生数	30	22	22	26	23
	死亡数	109	106	104	109	123
	自然増減	-79	-84	-82	-83	-100
南部町	出生数	117	96	92	93	107
	死亡数	322	285	311	309	286
	自然増減	-205	-189	-219	-216	-179
階上町	出生数	81	86	76	88	71
	死亡数	146	143	169	171	140
	自然増減	-65	-57	-93	-83	-69
新郷村	出生数	11	9	10	9	8
	死亡数	52	58	53	57	42
	自然増減	-41	-48	-20	-53	-88
おいらせ町	出生数	199	202	205	189	184
	死亡数	246	250	225	242	272
	自然増減	-47	-48	-20	-53	-88
圏域	出生数	2,455	2,384	2,406	2,405	2,236
	死亡数	3,664	3,742	3,927	3,886	3,855
	自然増減	-1,209	-1,358	-1,521	-1,481	-1,619

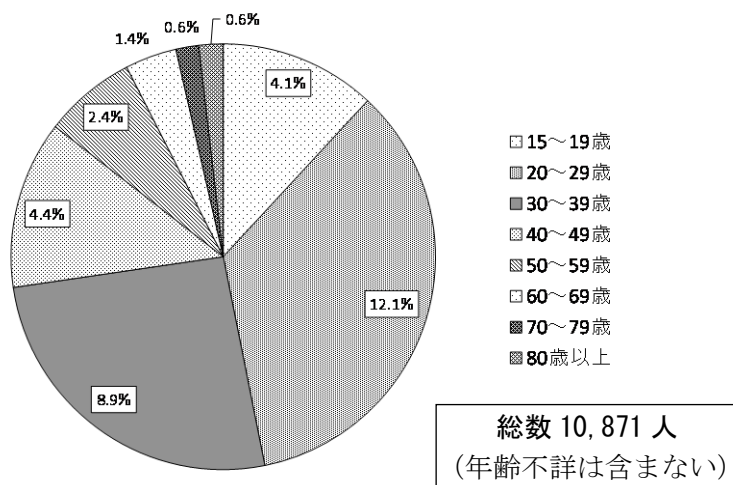
出典：青森県人口移動統計調査（青森県）

### ③ 若者の人口移動 【県外からの転入】

圏域における平成 22 年から平成 27 年の県外からの転入人口の割合については以下のとおり。

- ・平成 22 年から平成 27 年にかけての常住人口に占める県外からの転入人口の割合を年齢階級別にみると、圏域においては「20～29 歳」が 12.1% で最も高く、中でも階上町が 16.4%、八戸市が 13.0%、田子町が 12.3% となっている。
- ・「30～39 歳」「40～49 歳」の圏域への転入人口割合は、青森県の同年齢階級の転入人口割合（7.3%、4.1%）を上回っている。

図表 1-35 県外からの転入人口の割合（平成 22 年～平成 27 年）



出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

図表 1-36 県外からの転入人口の割合（転入人口÷常住人口）

市町村	15～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上
八戸市	4.4%	13.0%	9.7%	5.1%	2.9%	1.4%	0.6%	0.7%
三戸町	1.3%	7.2%	5.9%	2.2%	1.2%	1.1%	0.7%	0.4%
五戸町	1.9%	6.3%	4.8%	2.3%	0.8%	0.6%	0.4%	0.3%
田子町	0.5%	12.3%	5.7%	2.2%	1.3%	1.3%	0.1%	0.5%
南部町	0.6%	4.8%	4.9%	1.4%	0.7%	1.2%	0.5%	0.2%
階上町	11.2%	16.4%	8.0%	2.5%	1.6%	1.5%	0.7%	1.1%
新郷村	0.0%	5.7%	1.7%	3.3%	1.1%	1.2%	0.0%	0.2%
おいらせ町	1.5%	9.0%	8.2%	3.4%	1.6%	1.5%	0.7%	0.6%
圏域	4.1%	12.1%	8.9%	4.4%	2.4%	1.4%	0.6%	0.6%
青森県	4.5%	12.7%	7.3%	4.1%	2.4%	1.4%	0.6%	0.5%

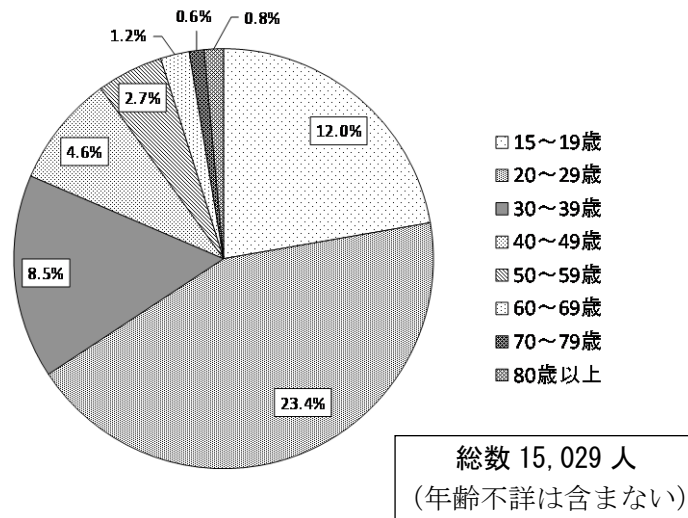
出典：国勢調査（総務省統計局）

## 【県外への転出】

圏域における平成 22 年から平成 27 年の県外への転出人口の割合については以下のとおり。

- 平成 22 年から平成 27 年にかけての常住人口に占める県外への転出人口の割合を年齢階級別にみると、圏域においては「20～29 歳」が最も高く 23.4%となっている。中でも三戸町が最も高く 29.0%、次いで南部町が 25.8%となっている。
- 圏域における若者の転出入人口の割合を比較すると、「15～19 歳」の転出割合が転入割合の約 3 倍、「20～29 歳」の転出割合が転入割合の約 2 倍となっている。一方、圏域における 30 歳以上階層の転出入割合についてはその差が小さい。

図表 1-37 県外への転出人口の割合（平成 22 年～27 年）



出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

図表 1-38 県外への転出人口の割合（転出人口÷常住人口）

市町村	15～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上
八戸市	12.0%	23.8%	9.6%	5.3%	3.2%	1.4%	0.7%	0.9%
三戸町	14.9%	29.0%	5.2%	3.6%	1.9%	0.9%	0.6%	1.3%
五戸町	11.2%	21.1%	3.7%	1.7%	1.0%	0.3%	0.3%	0.6%
田子町	17.6%	24.9%	5.5%	2.4%	1.5%	0.8%	0.1%	0.5%
南部町	13.3%	25.8%	4.0%	1.5%	1.3%	0.5%	0.3%	0.4%
階上町	9.6%	22.5%	5.8%	2.7%	1.9%	0.8%	0.7%	0.5%
新郷村	13.8%	19.8%	1.7%	0.9%	0.3%	0.6%	0.2%	0.2%
おいらせ町	11.5%	18.2%	6.6%	3.8%	2.1%	0.9%	0.7%	0.5%
圏域	12.0%	23.4%	8.5%	4.6%	2.7%	1.2%	0.6%	0.8%
青森県	11.4%	22.2%	7.9%	5.0%	2.9%	1.2%	0.6%	0.8%

出典：国勢調査（総務省統計局）

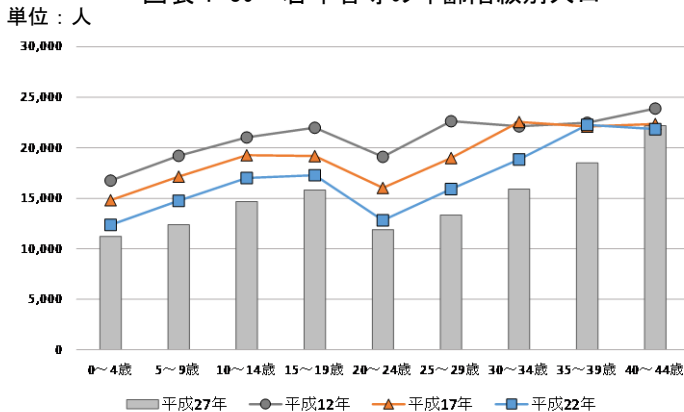


#### ④ 若年の人口変化

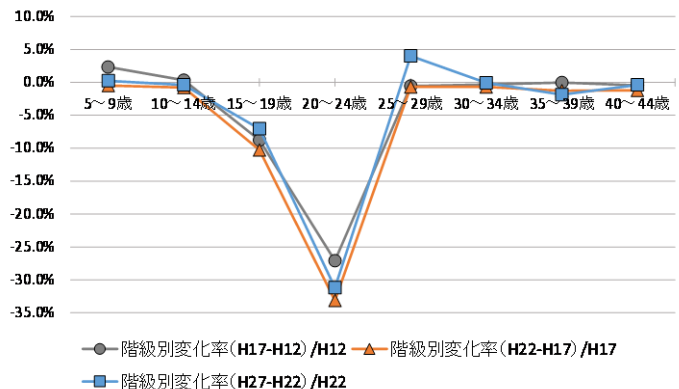
圏域における平成12年から平成27年の若年の人口変化については以下のとおり。

- ・圏域における平成12年から平成27年までの若年者等（15～44歳）の年齢階級別人口を比べてみると、「25～29歳」が9,288人の減少と最も大きく、次いで「20～24歳」（7,202人減）で、「5～9歳」、「10～14歳」、「30～34歳」、「15～19歳」の順（いずれも6,000人台の減）となっている。
- ・平成12～17年、17～22年、22～27年の若年者等の年齢階級別変化率についてみると、いずれの場合も「15～19歳」世代が5年で「20～24歳」に移行する間の変化率が最も大きく、それぞれ-27.1%、-33.1%、-31.2%となっており、青森県の同年齢階級の変化率（-20.7%、-26.1%、-25.0%）より大きくなっている。
- ・平成22年の「20～24歳」世代が平成27年に「25～29歳」に移行する間の変化率がマイナスからプラスの4.0%に転じるとともに、30～44歳までの変化率は0%付近を横ばいの傾向となっておりこの世代の定着傾向がうかがわれる。

図表 1-39 若年者等の年齢階級別人口



図表 1-40 若年者等の年齢階級別変化率



出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

図表 1-41 年齢階級別人口と変化率

単位：人

年 年齢階級	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成12～27年 の年齢階級別 人口の増減	年齢階級別 変化率 (平成12～17年)	年齢階級別 変化率 (平成17～22年)	年齢階級別 変化率 (平成22～27年)
0～4歳	16,759	14,817	12,360	11,233	-5,526	—	—	—
5～9歳	19,195	17,148	14,746	12,389	-6,806	2.3%	-0.5%	0.2%
10～14歳	21,020	19,259	17,014	14,686	-6,334	0.3%	-0.8%	-0.4%
15～19歳	21,979	19,175	17,282	15,813	-6,166	-8.8%	-10.3%	-7.1%
20～24歳	19,096	16,027	12,823	11,894	-7,202	-27.1%	-33.1%	-31.2%
25～29歳	22,626	18,987	15,919	13,338	-9,288	-0.6%	-0.7%	4.0%
30～34歳	22,118	22,550	18,856	15,910	-6,208	-0.3%	-0.7%	-0.1%
35～39歳	22,467	22,112	22,263	18,503	-3,964	0.0%	-1.3%	-1.9%
40～44歳	23,891	22,361	21,846	22,173	-1,718	-0.5%	-1.2%	-0.4%
45～49歳	28,061	23,363	21,800	21,541	-6,520	-2.2%	-2.5%	-1.4%
50～54歳	29,199	27,378	22,861	21,421	-7,778	-2.4%	-2.1%	-1.7%
55～59歳	23,129	28,412	26,711	22,293	-836	-2.7%	-2.4%	-2.5%
60～64歳	22,351	22,801	27,811	25,957	3,606	-1.4%	-2.1%	-2.8%
65～69歳	21,721	21,466	21,867	26,658	4,937	-4.0%	-4.1%	-4.1%
70～74歳	17,334	20,235	19,983	20,554	3,220	-6.8%	-6.9%	-6.0%
75～79歳	11,847	15,305	18,031	17,899	6,052	-11.7%	-10.9%	-10.4%
80～84歳	6,976	9,573	12,358	14,898	7,922	-19.2%	-19.3%	-17.4%
85歳以上	5,445	7,236	10,884	13,241	7,796	3.7%	13.7%	7.1%

注）「年齢階級別変化率（平成12～17年）」＝「（ある年齢階級・平成17年人口）－（5年前の年齢階級・平成12年人口）／（5年前の年齢階級・平成12年人口）」で、「年齢階級別変化率（平成17～22年）」及び「年齢階級別変化率（平成22～27年）」についても同様。

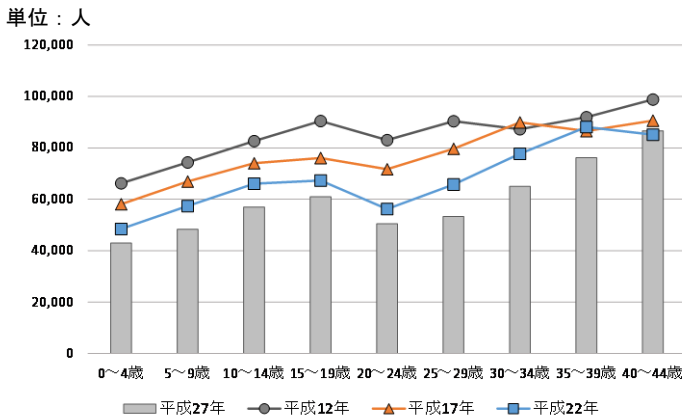
出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

※ 若年者については、「第9次勤労青少年福祉対策基本方針（平成23年4月、厚生労働省）」において、対象年齢を15～34歳としている。ただし、JICAの青年海外協力隊の対象年齢は20～39歳としていることや、育児をしながら働く近年の45歳未満の女性の社会進出ニーズに対応し、厚生労働省では雇用促進支援制度の対象年齢を「若年者等」として15～44歳に拡大しているなど、若年層は幅を持った扱いがされている。

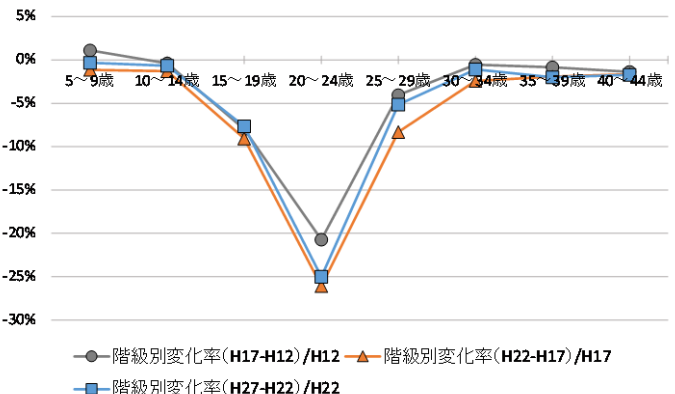
※ 「年齢階級別変化率」とは、例えば、ある年の0～4歳人口は5年後には5～9歳に達するが、転出入等による変化がなければ人口は同数で維持されるものの、実際には増減が生じることから、この5年間の変化率を「(平成17年5～9歳人口) - (平成12年0～4歳人口) / (平成12年0～4歳人口)」のように計算し%表示したもので、人口の変化速度を見ることができる。

## 参考 青森県における若年の人口変化

図表 1-42 青森県における若年者等の年齢階級別人口



図表 1-43 青森県における若年者等の年齢階級別変化率



出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

図表 1-44 青森県における年齢階級別人口と変化率

単位：人

年 年齢階級	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成12～27年 の年齢階級別 人口の増減	年齢階級別 変化率 (平成12～17年)	年齢階級別 変化率 (平成17～22年)	年齢階級別 変化率 (平成22～27年)
0～4歳	66,182	58,032	48,461	42,943	-23,239	—	—	—
5～9歳	74,333	66,901	57,358	48,296	-26,037	1.1%	-1.2%	-0.3%
10～14歳	82,626	74,026	66,023	56,969	-25,657	-0.4%	-1.3%	-0.7%
15～19歳	90,446	76,025	67,308	60,960	-29,486	-8.0%	-9.1%	-7.7%
20～24歳	83,011	71,705	56,205	50,486	-32,525	-20.7%	-26.1%	-25.0%
25～29歳	90,363	79,639	65,738	53,303	-37,060	-4.1%	-8.3%	-5.2%
30～34歳	87,273	89,863	77,699	65,011	-22,262	-0.6%	-2.4%	-1.1%
35～39歳	91,897	86,530	88,118	76,138	-15,759	-0.9%	-1.9%	-2.0%
40～44歳	98,801	90,621	85,099	86,583	-12,218	-1.4%	-1.7%	-1.7%
45～49歳	114,017	96,704	88,299	83,018	-30,999	-2.1%	-2.6%	-2.4%
50～54歳	119,930	110,894	94,027	86,140	-33,790	-2.7%	-2.8%	-2.4%
55～59歳	94,161	116,476	107,612	91,592	-2,569	-2.9%	-3.0%	-2.6%
60～64歳	94,762	92,399	113,482	104,636	9,874	-1.9%	-2.6%	-2.8%
65～69歳	96,613	90,975	88,421	108,925	12,312	-4.0%	-4.3%	-4.0%
70～74歳	78,886	89,676	84,694	82,671	3,785	-7.2%	-6.9%	-6.5%
75～79歳	54,005	69,229	79,301	75,431	21,426	-12.2%	-11.6%	-10.9%
80～84歳	32,547	43,308	55,704	65,066	32,519	-19.8%	-19.5%	-18.0%
85歳以上	25,048	33,374	49,790	58,847	33,799	2.5%	15.0%	5.6%

出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

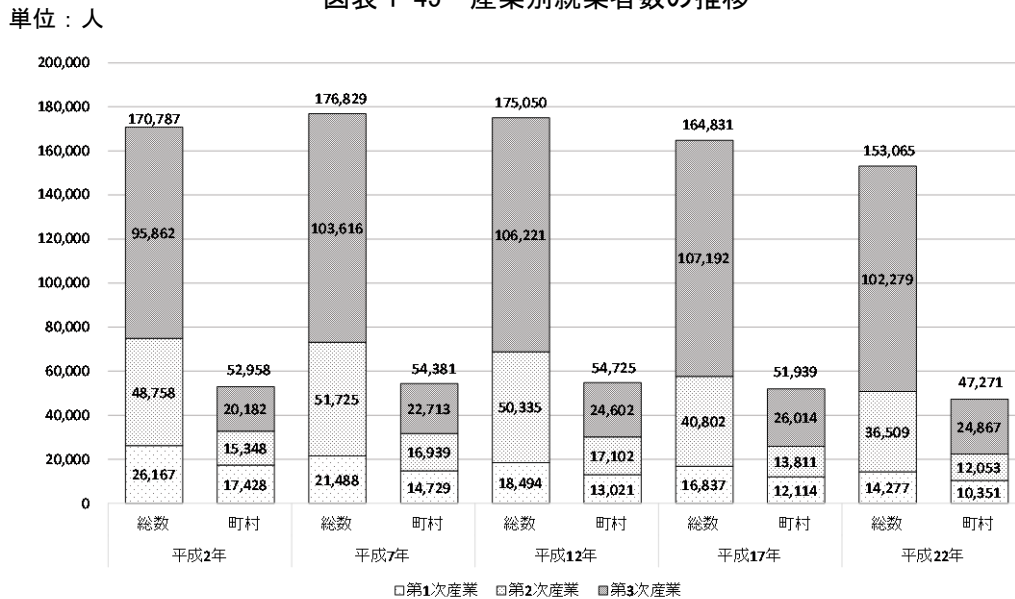
## 5 産業の動向

### (1) 産業別就業者数

圏域における平成2年から平成22年の産業別就業者数の推移については以下のとおり。

- ・八戸市・階上町・おいらせ町を除く町村は、第1次産業の割合が高い水準にあり、基幹産業となっている。
- ・第2次産業比は、いずれの市町村も概ね20～30%の就業割合となっている。
- ・第3次産業比は、全ての市町村で増加傾向であり、特に階上町・おいらせ町の増加率が高い傾向となっている。

図表 1-45 産業別就業者数の推移



出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

図表 1-46 第1次産業就業者数及び就業割合の推移

単位：人

年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成22－平成2 (単位:ポイント)
八戸市	8,739 7.4%	6,759 5.5%	5,473 4.5%	4,723 4.2%	3,926 3.6%	-3.8
三戸町	2,637 35.5%	2,376 32.7%	2,163 30.8%	1,984 32.3%	1,709 31.7%	-3.8
五戸町	3,869 32.4%	3,066 26.3%	2,742 24.1%	2,546 24.4%	2,117 22.7%	-9.7
田子町	1,996 45.0%	1,765 40.5%	1,629 39.3%	1,494 39.5%	1,254 38.4%	-6.6
南部町	4,295 35.6%	3,783 31.1%	3,226 27.7%	3,003 27.5%	2,605 26.7%	-8.9
階上町	1,276 23.8%	1,000 16.8%	827 12.3%	793 11.6%	647 9.8%	-14.0
新郷村	1,184 56.0%	967 47.4%	971 48.6%	893 48.4%	647 49.8%	-6.2
おいらせ町	2,171 22.6%	1,772 16.2%	1,463 12.4%	1,401 11.6%	1,208 10.2%	-12.4
圏域	26,167 15.3%	21,488 12.2%	18,494 10.5%	16,837 10.2%	14,277 9.1%	-6.2

注) 下段は総就業者に占める第1次産業就業者の割合

出典：国勢調査（総務省統計局）

図表 1-47 第 2 次産業就業者数及び就業割合の推移

単位：人

年 市町村	平成2年	平成7年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 22－平成2 (単位：ポイント)
八戸市	33,410	34,786	33,233	26,991	24,456	-5.8
	28.4%	28.4%	27.5%	23.8%	22.6%	
三戸町	1,694	1,795	1,769	1,315	1,047	-3.4
	22.8%	24.7%	25.2%	21.3%	19.4%	
五戸町	3,577	3,833	3,693	2,950	2,506	-3.0
	29.9%	32.8%	32.5%	28.2%	26.9%	
田子町	1,004	1,095	1,052	870	711	-0.8
	22.6%	25.1%	25.4%	23.0%	21.8%	
南部町	3,179	34,69	3,294	2,559	2,099	-4.8
	26.3%	28.5%	28.3%	23.5%	21.5%	
階上町	1,859	2,145	2,529	2,132	1,974	-4.8
	34.7%	36.1%	37.6%	31.2%	29.9%	
新郷村	384	433	390	319	281	-1.0
	18.2%	21.2%	19.5%	17.3%	17.2%	
おいらせ町	3,651	4,169	4,375	3,666	3,435	-9.0
	38.0%	38.1%	37.0%	30.3%	29.0%	
圏域	48,758	51,725	50,335	40,802	36,509	-5.1
	28.5%	29.2%	28.7%	24.7%	23.4%	

注) 下段は総就業者に占める第 2 次産業就業者の割合

出典：国勢調査（総務省統計局）

図表 1-48 第 3 次産業就業者数及び就業割合の推移

単位：人

年 市町村	平成2年	平成7年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 22－平成2 (単位：ポイント)
八戸市	75,680	80,903	81,619	81,178	77,412	7.2
	64.2%	66.1%	68.0%	71.6%	71.4%	
三戸町	3,088	3,104	3,082	2,862	2,620	7.0
	41.6%	42.7%	43.9%	46.4%	48.6%	
五戸町	4,508	4,771	4,940	4,953	4,672	12.5
	37.7%	40.9%	43.4%	47.4%	50.2%	
田子町	1,433	1,494	1,460	1,414	1,298	7.5
	32.3%	34.3%	35.3%	37.4%	39.8%	
南部町	4,602	4,914	5,127	5,326	4,979	12.9
	38.1%	40.4%	44.0%	48.8%	51.0%	
階上町	2,224	2,803	3,356	3,845	3,755	15.3
	41.5%	47.1%	50.1%	56.3%	56.8%	
新郷村	545	640	636	630	535	7.0
	25.8%	31.4%	31.9%	34.1%	32.8%	
おいらせ町	3,782	4,987	6,001	6,984	7,008	19.8
	39.4%	45.6%	50.7%	57.8%	59.2%	
圏域	95,862	103,616	106,221	107,192	102,279	9.4
	56.1%	58.6%	60.8%	64.8%	65.5%	

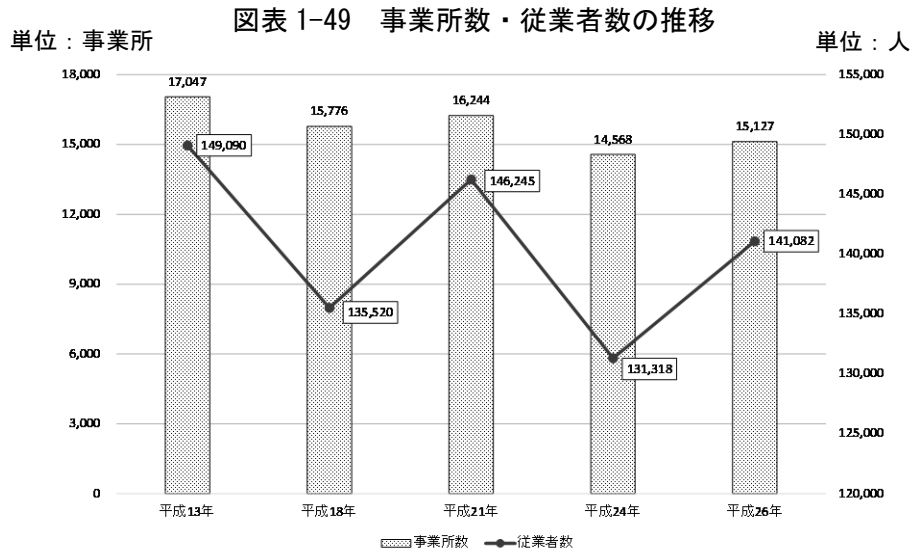
注) 下段は総就業者に占める第 3 次産業就業者の割合

出典：国勢調査（総務省統計局）

## (2) 事業所数・従業員数

圏域における平成13年から平成26年の事業所数・従業員数の推移については以下のとおり。

- ・事業所数・従業員数は、平成26年時点で、平成24年と比べ、八戸圏域全体で増加した。
- ・八戸市における事業所数・従業員数の八戸圏域内シェアは、平成26年時点でそれぞれ77.0%、79.6%となっており、圏域全体の約8割弱を占めており、平成24年と比べ、事業所数が3.1%、従業員数が7.4%増加した。
- ・一方、八戸圏域内シェアで八戸市に次ぐおいらせ町は、それぞれ6.1%となっており、平成24年と比べ事業所数が5.8%、従業員数が4.2%増加した。



出典：事業所・企業統計調査(平成13年～平成18年)、経済センサス(平成21年～平成26年)  
(総務省統計局) より作成

図表 1-50 事業所数の推移

年	単位：事業所					圏域内構成比 (平成26年)
	平成13年	平成18年	平成21年	平成24年	平成26年	
八戸市	12,832	11,836 -7.8%	12,326 4.1%	11,290 -8.4%	11,641 3.1%	77.0%
三戸町	615	527 -14.3%	525 -0.4%	417 -20.6%	442 6.0%	2.9%
五戸町	762	720 -5.5%	731 1.5%	608 -16.8%	633 4.1%	4.2%
田子町	337	316 -6.2%	306 -3.2%	266 -13.1%	279 4.9%	1.8%
南部町	934	867 -7.2%	799 -7.8%	624 -21.9%	689 10.4%	4.6%
階上町	462	424 -8.2%	452 6.6%	386 -14.6%	405 4.9%	2.7%
新郷村	136	131 -3.7%	135 3.1%	103 -23.7%	113 9.7%	0.7%
おいらせ町	969	955 -1.4%	970 1.6%	874 -9.9%	925 5.8%	6.1%
圏域	17,047	15,776 -7.5%	16,244 3.0%	14,568 -10.3%	15,127 3.8%	—

注) 下段は対前期増加率

注) 公務を除く

出典：事業所・企業統計調査(平成13年～平成18年)、経済センサス(平成21年～平成26年)  
(総務省統計局)

図表 1-51 従業者数の推移

単位：人

年 市町村	平成 13 年	平成 18 年	平成 21 年	平成 24 年	平成 26 年	圏域内構成比 (平成 26 年)
八戸市	115,695	104,729 -9.5%	115,453 10.2%	104,520 -9.5%	112,283 7.4%	79.6%
三戸町	4,570	4,159 -9.0%	4,125 -0.8%	3,259 -21.0%	3,555 9.1%	2.5%
五戸町	7,069	6,101 -13.7%	6,116 0.2%	5,199 -15.0%	5,603 7.8%	4.0%
田子町	2,361	2,273 -3.7%	2,262 -0.5%	1,967 -13.0%	2,063 4.9%	1.5%
南部町	6,295	5,392 -14.3%	4,918 -8.8%	4,254 -13.5%	4,781 12.4%	3.4%
階上町	3,460	3,286 -5.0%	3,676 11.9%	3,261 -11.3%	3,476 6.6%	2.5%
新郷村	945	769 -18.6%	702 -7.9%	655 -6.7%	771 17.7%	0.5%
おいらせ町	8,695	8,811 1.3%	8,993 2.1%	8,203 -8.8%	8,550 4.2%	6.1%
圏域	149,090	135,520 -9.1%	146,245 7.9%	131,318 -10.2%	141,082 7.4%	—

注) 下段は対前期増加率

注) 公務を除く

注) 男女別の不詳を含む

出典：事業所・企業統計調査(平成 13 年～平成 18 年)、経済センサス(平成 21 年～平成 26 年)  
(総務省統計局)

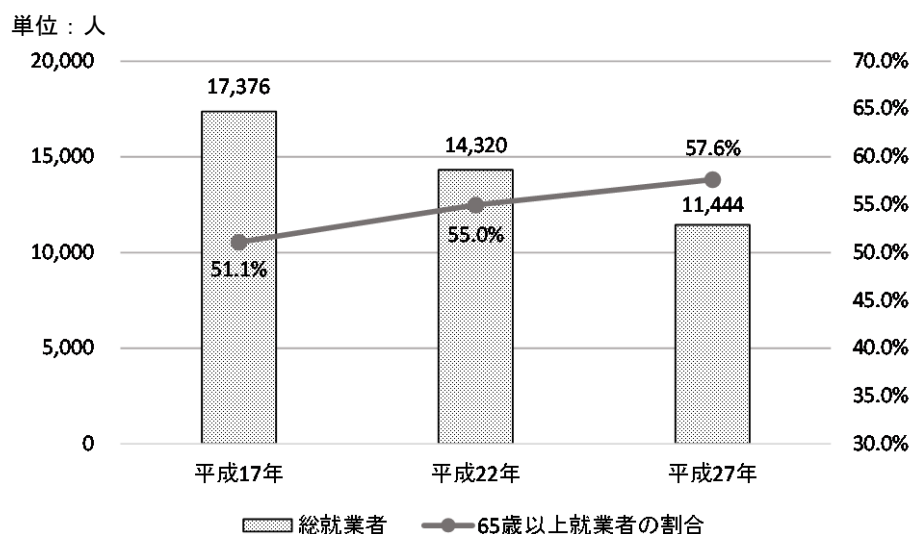
### (3) 農業

#### ① 農業就業者の高齢化の状況

圏域における平成 17 年から平成 27 年の農業就業者の高齢化の状況については以下のとおり。

- 平成 17 年から平成 27 年にかけて総就業者数は減少しており、65 歳以上の就業者の割合は全市町村において増加傾向にある。平成 27 年において、三戸町以外の市町村では 65 歳以上就業者の割合が 55%以上となっている。

図表 1-52 農業総就業者数と 65 歳以上の農業就業者割合



出典：農林業センサス農林業経営体調査結果（青森県）より作成

図表 1-53 販売農家における 65 歳以上の農業就業者数とその割合（平成 17 年～平成 27 年）

単位：人

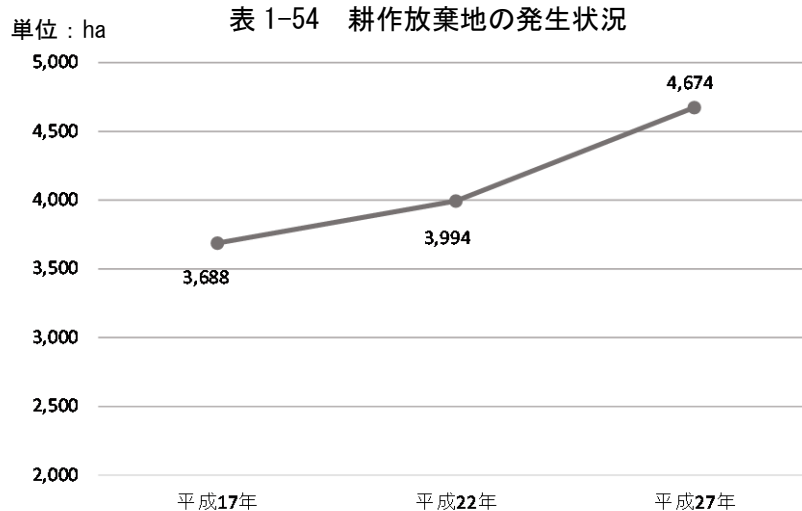
区分	総就業者			65 歳以上就業者			65 歳以上就業者の割合		
	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年
八戸市	4,205	3,308	2,557	2,221	1,925	1,623	52.8%	58.2%	63.5%
三戸町	2,017	1,779	1,436	879	796	646	43.6%	44.7%	45.0%
五戸町	3,123	2,562	2,105	1,680	1,524	1,309	53.8%	59.5%	62.2%
田子町	1,497	1,263	1,020	781	651	563	52.2%	51.5%	55.2%
南部町	3,313	2,804	2,297	1,627	1,472	1,272	49.1%	52.5%	55.4%
階上町	494	405	319	310	271	209	62.8%	66.9%	65.5%
新郷村	1,102	938	735	569	535	426	51.6%	57.0%	58.0%
おいらせ町	1,625	1,261	975	811	698	548	49.9%	55.4%	56.2%
圏域	17,376	14,320	11,444	8,878	7,872	6,596	51.1%	55.0%	57.6%

出典：農林業センサス農林業経営体調査結果（青森県）

## ② 耕作放棄地の状況

圏域における平成 17 年から平成 27 年の耕作放棄地の推移については以下のとおり。

- ・耕作放棄地の発生状況について、平成 17 年から平成 27 年の状況を見ると、圏域全体における耕作放棄地は 26.7%の増加となっている。
- ・市町村別には、田子町が 92.1%と最も増加率が高く、次いで五戸町で 47.0%、新郷村が 42.7%、南部町が 34.6%の順となっている。



出典：農林業センサス農林業経営体調査結果（確定値）（青森県）より作成

図表 1-55 耕作放棄地の発生状況

単位：ha

市町村	年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	増減率 (平成 27 年/17 年)
八戸市		1,199	1,305	1,465	22.2%
三戸町		176	248	211	19.9%
五戸町		562	637	826	47.0%
田子町		165	183	317	92.1%
南部町		486	567	654	34.6%
階上町		461	413	432	-6.3%
新郷村		157	151	224	42.7%
おいらせ町		482	490	545	13.1%
圏域		3,688	3,994	4,674	26.7%

出典：農林業センサス農林業経営体調査結果（確定値）（青森県）



### ③ 農業産出額

#### 【農業産出額－耕種】

圏域における農業産出額（耕種）については以下のとおり。

- ・平成 18 年までの圏域における農業産出額（耕種）は、年によって乱高下はあるものの平成 18 年時点では平成 14 年と比べ約 1 ポイントの減でほぼ横ばいとなっている。
- ・平成 18 年までの間、三戸町と田子町の農業産出額（耕種）は、微増傾向となっている。
- ・八戸市の平成 14 年から平成 26 年にかけての農業産出額（耕種）は、減少傾向となっている。

図表 1-56 農業産出額（耕種）の推移

単位：百万円

年 市町村	平成 14 年	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
八戸市	7,010	5,350 -23.7%	7,400 38.3%	6,280 -15.1%	6,440 2.5%	5,780	6,060 4.8%	5,850 -3.5%	5,030 -14.0%
三戸町	4,620	4,370 -5.4%	5,700 30.4%	4,730 -17.0%	4,840 2.3%	—	—	—	—
五戸町	6,490	5,480 -15.6%	7,310 33.4%	5,950 -18.6%	5,950 0.0%	—	—	—	—
田子町	2,830	2,580 -8.8%	3,320 28.7%	2,970 -10.5%	3,050 2.7%	—	—	—	—
南部町	7,200	4,860 -32.5%	9,460 94.7%	7,640 -19.2%	7,880 3.1%	—	—	—	—
階上町	1,280	1,010 -21.1%	1,120 10.9%	860 -23.2%	860 0.0%	—	—	—	—
新郷村	2,420	2,290 -5.4%	3,090 34.9%	2,530 -18.1%	2,430 -4.0%	—	—	—	—
おいらせ町	5,290	4,290 -18.9%	5,630 31.2%	4,430 -21.3%	5,390 21.7%	5,050	4,670 -7.5%	5,220 11.8%	4,490 -14.0%
圏域	37,140	30,230 -18.6%	43,030 42.3%	35,390 -17.8%	36,840 4.1%	—	—	—	—
青森県	257,000	177,720 -30.8%	226,410 27.4%	208,550 -7.9%	217,970 4.5%	202,800	199,800 -1.5%	201,900 1.1%	199,800 -1.0%

注) 下段は対前年増加率

注) 八戸市とおいらせ町は農林水産省「被災市町村別農業産出額」作成対象市町村に選ばれているため、平成 23～26 年の農業産出額データが存在するが、その他の町村についてはデータがない。

出典：生産農業所得統計（平成 14 年～平成 18 年）・被災市町村別農業産出額（平成 23 年～平成 26 年）（農林水産省）、あおもりポテンシャルビュー（青森県）

## 【農業産出額－畜産】

圏域における農業産出額（畜産）については以下のとおり。

- ・圏域において、平成14年から平成18年にかけての農業産出額（畜産）は微増傾向であり、平成18年時点で276億円となっている。
- ・八戸市とおいらせ町における平成23年の農業産出額（畜産）は、平成18年時点の金額を下回っているものの、平成26年までは増加傾向を示している。

図表 1-57 農業産出額（畜産）の推移

単位：百万円

年 市町村	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
八戸市	8,190	7,790 -4.9%	8,080 3.7%	9,200 13.9%	8,450 -8.2%	8,330	9,180 10.2%	9,470 3.2%	9,310 -1.7%
三戸町	3,120	3,020 -3.2%	3,210 6.3%	3,260 1.6%	3,300 1.2%	—	—	—	—
五戸町	3,090	3,190 3.2%	3,290 3.1%	3,630 10.3%	3,630 0.0%	—	—	—	—
田子町	2,840	2,840 0.0%	3,230 13.7%	3,320 2.8%	3,430 3.3%	—	—	—	—
南部町	2,050	2,230 8.8%	2,080 -6.7%	2,140 2.9%	2,190 2.3%	—	—	—	—
階上町	3,780	2,740 -27.5%	3,320 21.2%	2,910 -12.3%	2,800 -3.8%	—	—	—	—
新郷村	670	640 -4.5%	690 7.8%	710 2.9%	710 0.0%	—	—	—	—
おいらせ町	2,890	2,620 -9.3%	2,910 11.1%	2,710 -6.9%	3,090 14.0%	2,720	2,730 0.4%	3,160 15.8%	3,460 9.5%
圏域	26,630	25,070 -5.9%	26,810 6.9%	27,880 4.0%	27,600 -1.0%	—	—	—	—
青森県	66,600	62,390 -6.3%	68,630 10.0%	70,890 3.3%	70,380 -0.7%	77,600	76,000 -2.1%	81,500 7.2%	88,000 8.0%

注）下段は対前年増加率

注）八戸市とおいらせ町は農林水産省「被災市町村別農業産出額」作成対象市町村に選ばれているため、平成23～26年の農業産出額データが存在するが、その他の町村についてはデータがない。

出典：生産農業所得統計（平成14年～平成18年）・被災市町村別農業産出額（平成23年～平成26年）（農林水産省）、あおもりポテンシャルビュー（青森県）

### 【農業産出額－加工農産物】

圏域における農業産出額（加工農産物）については以下のとおり。

・農業産出額（加工農産物）があるのは、八戸市、三戸町及び南部町であり、圏域全体では平成14年から微減ないし横ばい傾向となっている。

図表 1-58 農業産出額（加工農産物）の推移

単位：百万円

年 市町村	平成 14 年	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
八戸市	10	10 0.0%	10 0.0%	10 0.0%	10 0.0%	10	10 0.0%	0 -100%	0
三戸町	10	10 0.0%	0 -100.0%	0	10	—	—	—	—
五戸町	0	0	0	0	0	—	—	—	—
田子町	0	0	0	0	0	—	—	—	—
南部町	80	50 -37.5%	70 40.0%	70 0.0%	70 0.0%	—	—	—	—
階上町	0	0	0	0	0	—	—	—	—
新郷村	0	0	0	0	0	—	—	—	—
おいらせ町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
圏域	100	70 -30.0%	80 14.3%	80 0.0%	90 12.5%	—	—	—	—
青森県	100	200 100.0%	90 -55.0%	90 0.0%	110 22.2%	100	100 0.0%	100 0.0%	100 0.0%

注) 下段は対前年増加率

注) 八戸市とおいらせ町は農林水産省「被災市町村別農業産出額」作成対象市町村に選ばれているため、平成23～26年の農業産出額データが存在するが、その他の町村についてはデータがない。

出典：生産農業所得統計（平成14年～平成18年）・被災市町村別農業産出額（平成23年～平成26年）（農林水産省）、あおりポテンシャルビュー（青森県）

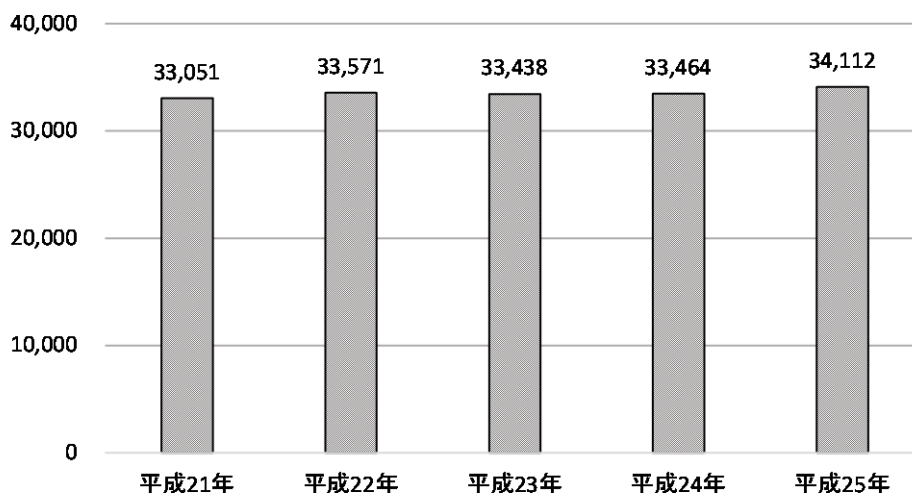
※参考【市町村内総生産（農業）】

圏域における平成 21 年から平成 25 年の農業総生産の推移については以下のとおり。

- ・圏域において、平成 25 年時点で農業生産額の全体に占める割合が最も高いのは八戸市で 24.5%、次いで五戸町の 16.7%、南部町の 15.6%の順となっている。
- ・圏域全体で見ると、農業生産額は微増傾向にある。

図表 1-59 圏域総生産（農業）の推移

単位：百万円



出典：市町村民経済計算（青森県）より作成

図表 1-60 市町村内総生産（農業）の推移

単位：百万円

年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	圏域内構成比 (平成 25 年)
八戸市	8,037	8,160 1.5%	8,164 0.0%	8,200 0.4%	8,363 2.0%	24.5%
三戸町	3,876	3,776 -2.6%	3,754 -0.6%	3,746 -0.2%	3,800 1.4%	11.1%
五戸町	5,567	5,630 1.1%	5,557 -1.3%	5,594 0.7%	5,690 1.7%	16.7%
田子町	2,998	2,966 -1.1%	3,001 1.2%	2,996 -0.2%	3,026 1.0%	8.9%
南部町	5,176	5,314 2.7%	5,227 -1.6%	5,177 -1.0%	5,332 3.0%	15.6%
階上町	2,063	2,134 3.4%	2,083 -2.4%	2,098 0.7%	2,170 3.4%	6.4%
新郷村	1,639	1,643 0.2%	1,627 -1.0%	1,617 -0.6%	1,622 0.3%	4.8%
おいらせ町	3,695	3,948 6.8%	4,025 2.0%	4,036 0.3%	4,109 1.8%	12.0%
圏域	33,051	33,571 1.6%	33,438 -0.4%	33,464 0.1%	34,112 1.9%	—

注) 下段は対前期増加率

出典：市町村民経済計算（青森県）

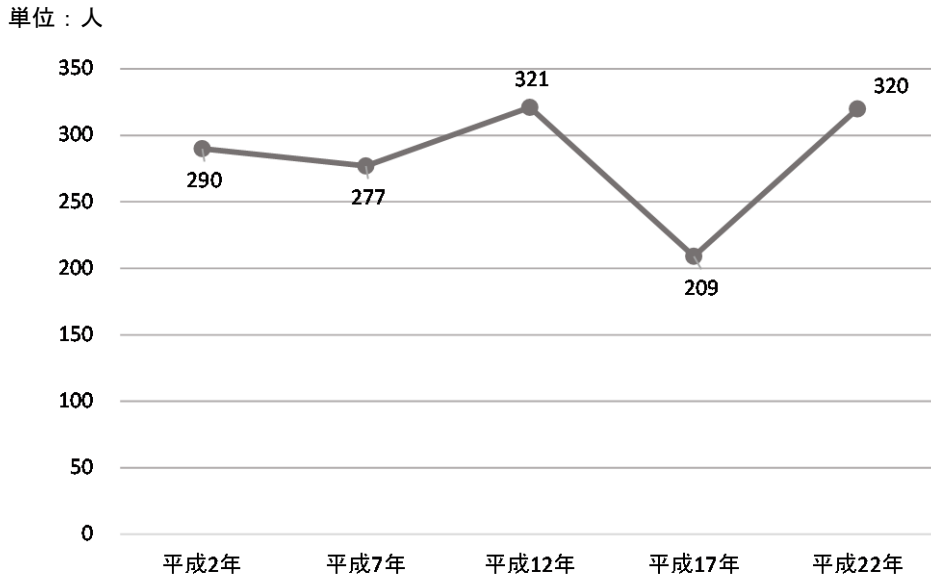
※ 市町村内総生産（農業）は、1 年間の農業産出額から投資額（加工品を含む農産物の生産に必要な農業や資機材、加工添加材料などの必要経費）を差し引いた付加価値の総額（GDP）。

#### (4) 林業

圏域における平成2年から平成22年の林業就業者数の推移については以下のとおり。

- ・平成22年の林業就業者数は、平成17年と比べ、全市町村で増加している。
- ・圏域における総就業者数は、平成22年時点で320人であり、平成2年比で10.3%増となっている。

図表 1-61 林業就業者数の推移



出典：国勢調査（総務省統計局）より作成

図表 1-62 林業就業者数の推移

単位：人

年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	圏域内構成比 (平成22年)
八戸市	26	30 15.4%	36 20.0%	22 -38.9%	53 140.9%	16.6%
三戸町	22	27 1.0%	37 37.0%	22 -40.5%	36 63.6%	11.3%
五戸町	15	23 53.3%	28 21.7%	30 7.1%	32 6.7%	10.0%
田子町	151	133 -11.9%	129 -3.0%	77 -40.3%	94 22.1%	29.4%
南部町	19	24 26.3%	37 54.2%	30 -18.9%	34 13.3%	10.6%
階上町	6	9 50.0%	8 -11.1%	7 -12.5%	34 385.7%	10.6%
新郷村	48	27 -43.8%	45 66.7%	20 -55.6%	34 70.0%	10.6%
おいらせ町	3	4 33.3%	1 -75.0%	1 0.0%	3 200.0%	0.9%
圏域	290	277 -4.5%	321 15.9%	209 -34.9%	320 53.1%	—

注) 下段は対前年増加率

出典：国勢調査（総務省統計局）

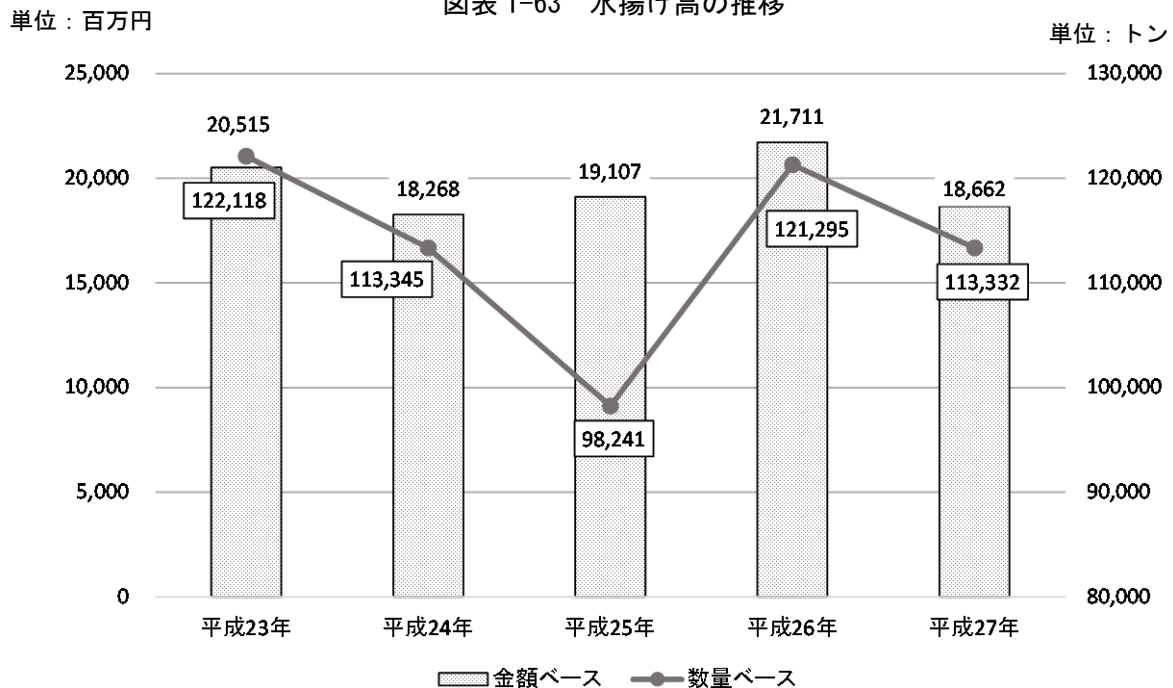
## (5) 水産業

### ① 水揚げ高

圏域における平成23年から平成27年の水揚げ高の推移については以下のとおり。

- ・平成27年の水揚げ高（数量ベース）は、八戸市が111,419トン、階上町が1,123トン、おいらせ町が789トンとなっており、八戸市のシェアが八戸圏域全体の98.3%を占めている。
- ・平成23年から27年までの5年間で見ると、いずれの市町においても、年によって増減の変動が大きい。
- ・平成27年の水揚げ高（金額ベース）は、八戸市が178億4百万円、階上町が5億1千8百万円、おいらせ町が3億4千万円となっており、八戸市のシェアが八戸圏域全体の95.4%を占めている。
- ・平成23年から27年までの5年間で見ると、いずれの市町においても、年によって増減の変動が大きい。

図表 1-63 水揚げ高の推移



出典：青森県海面漁業に関する調査（青森県）より作成

図表 1-64 水揚げ高（数量ベース）の推移

単位：トン

年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	圏域内構成比 (平成 27 年)
八戸市	120,544	111,764 -7.3%	96,278 -13.9%	119,419 24.0%	111,419 -6.7%	98.3%
階上町	999	899 -10.0%	1,259 40.1%	1,286 2.1%	1,123 -12.6%	1.0%
おいらせ町	575	681 18.4%	703 3.3%	590 -16.1%	789 33.8%	0.7%
圏域	122,118	113,345 -7.2%	98,241 -13.3%	121,295 23.5%	113,332 -6.6%	—

注) 下段は対前年増加率

出典：青森県海面漁業に関する調査（青森県）

図表 1-65 水揚げ高（金額ベース）の推移

単位：百万円

年 市町村	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	圏域内構成比 (平成 27 年)
八戸市	19,792	17,574 -11.2%	18,382 4.6%	20,953 14.0%	17,804 -15.0%	95.4%
階上町	517	427 -17.3%	496 16.1%	554 11.7%	518 -6.5%	2.8%
おいらせ町	206	266 29.0%	228 -14.2%	203 -11.0%	340 67.4%	1.8%
圏域	20,515	18,268 -11.0%	19,107 4.6%	21,711 13.6%	18,662 -14.0%	—

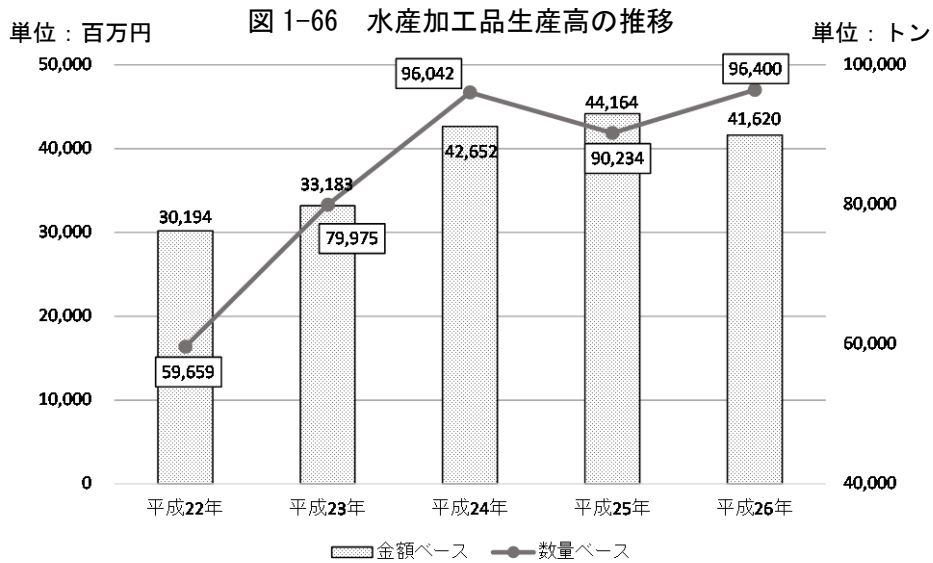
注) 下段は対前年増加率

出典：青森県海面漁業に関する調査（青森県）

## ② 水産加工品生産高

圏域における平成 22 年から平成 26 年の水産加工品生産高の推移については以下のとおり。

- 八戸市における平成 22 年から平成 26 年の水産加工品生産量（数量ベース）を見ると増加傾向にあり、平成 26 年は 9 万 6 千トンとなっている。
- 八戸市における水産加工品生産高（金額ベース）は平成 22 年から 25 年まで増加していたが、平成 26 年には 416 億 2 千万円と減少に転じている。



出典：八戸市水産事務所資料より作成

図表 1-67 水産加工品生産高（数量ベース）の推移

単位：トン

年 市町村	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
八戸市	59,659	79,975 34.1%	96,042 20.1%	90,234 -6.0%	96,400 6.8%

注) 下段は対前年増加率

出典：八戸市水産事務所資料

図表 1-68 水産加工品生産高（金額ベース）の推移

単位：百万円

年 市町村	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
八戸市	30,194	33,183 9.9%	42,652 28.5%	44,164 3.5%	41,620 -5.8%

注) 下段は対前年増加率

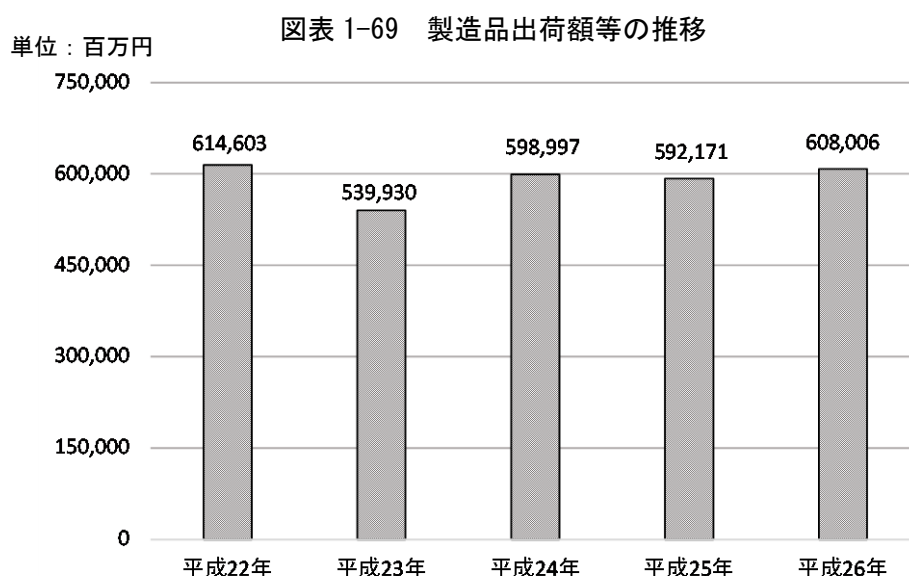
出典：八戸市水産事務所資料

## (6) 製造業

### ① 製造品出荷額等

圏域における平成 22 年から平成 26 年の製造品出荷額等の推移については以下のとおり。

- ・圏域全体における製造品出荷額等は平成 26 年時点で 6,080 億円余りとなっており、そのうち八戸市が 5,015 億円余りと八戸圏域全体の 82.5%を占めている。
- ・圏域内において、南部町が一貫して増加傾向にある。



出典：工業統計調査（経済産業省経済産業政策局）より作成

図表 1-70 製造品出荷額等の推移

単位：百万円

年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	圏域内構成比 (平成 26 年)
八戸市	519,040	445,617 -14.1%	511,984 14.9%	490,684 -4.2%	501,558 2.2%	82.5%
三戸町	15,633	13,472 -13.8%	5,347 -60.3%	16,856 215.3%	13,589 -19.4%	2.2%
五戸町	19,003	20,616 8.5%	18,396 -10.8%	18,073 -1.8%	18,967 4.9%	3.1%
田子町	9,225	8,883 -3.7%	8,907 0.3%	8,988 0.9%	9,922 10.4%	1.6%
南部町	7,272	8,484 16.7%	10,558 24.5%	12,508 18.5%	16,654 33.1%	2.7%
階上町	12,241	10,838 -11.5%	10,307 -4.9%	10,572 2.6%	11,217 6.1%	1.8%
新郷村	X	X	X	X	X	—
おいらせ町	32,187	32,019 -0.5%	33,497 4.6%	34,489 3.0%	36,100 4.7%	5.9%
圏域	614,603	539,930 -7.1%	598,997 6.4%	592,171 -1.9%	608,006 4.9%	—

注) 下段は対前年増加率

注) 新郷村においては、事業所の数が少なく、調査結果をそのまま掲載すると、個々の申告者の特定につながるおそれがあるため、掲載されていない(Xで表示)。

出典：工業統計調査（経済産業省経済産業政策局）

※ 製造品出荷額等とは、1年間（1～12月）における製造品出荷額、加工賃収入額、その他収入額及び製造工程から出たくず及び廃物の出荷額の合計であり、消費税等の内国消費税額を含んだ額である。



## ② 工業団地数・企業数

圏域における平成 28 年 4 月 1 日現在の工業団地数・企業数については以下のとおり。

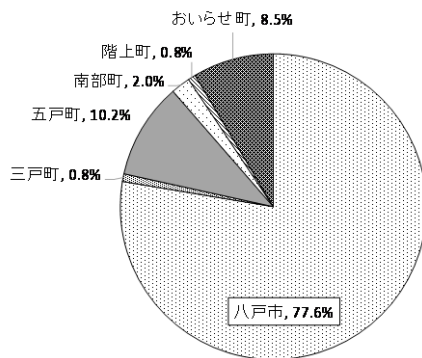
- ・工業団地数は、八戸市に 8 か所、五戸町に 3 か所、三戸町・南部町・階上町の各町に 2 か所、おいらせ町に 1 か所となっており、面積及び企業数は八戸市が圏域の大半を占めている。

図表 1-71 工業団地数・企業数

区分	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
工業団地数	8	2	3	0	2	2	0	1	18
面積 (ha)	391.6	11	41.3	0	13.2	7.2	0	23.2	487.5
企業数	191	2	25	0	5	2	0	21	246

出典：青森県工業団地一覧表（平成 28 年 4 月 1 日現在）

図表 1-72 工業団地内企業数の内訳



出典：青森県工業団地一覧表（平成 28 年 4 月 1 日現在）  
より作成

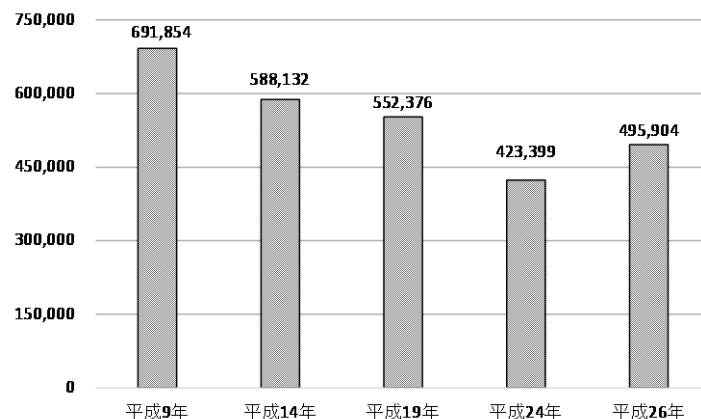
## (7) 商業

### ① 卸売販売額

圏域における平成 9 年から平成 26 年の卸売販売額の推移については以下のとおり。

- ・卸売販売額は、圏域内シェアで八戸市が 95.9%と高いシェアを占めている。
- ・八戸市・三戸町・南部町は、平成 9 年以降減少傾向が続いていたが、八戸市・三戸町は、平成 26 年に増加に転じた。
- ・また、平成 24 年～26 年の間では、五戸町・階上町において増加しており、平成 24 年以降、おいらせ町においては、増加傾向にある。

単位：百万円 図表 1-73 卸売販売額の推移



出典：商業統計調査(平成 9 年～平成 19 年、平成 26 年) (経済産業省経済産業政策局)、  
経済センサス(平成 24 年) (総務省統計局) より作成

図表 1-74 卸売販売額の推移

単位：百万円

年 市町村	平成9年	平成14年	平成19年	平成24年	平成26年	圏域内構成比 (平成26年)
八戸市	653,909	557,071 -14.8%	524,095 -5.9%	403,847 -22.9%	475,276 17.7%	95.9%
三戸町	10,527	9,097 -13.6%	6,955 -23.5%	3,073 -55.8%	3,108 1.1%	0.6%
五戸町	3,376	1,877 -44.4%	2,318 23.5%	1,971 -15.0%	2,409 22.0%	0.5%
田子町	197	739 275.1%	1,046 41.5%	X —	X —	—
南部町	9,803	6,795 -30.7%	5,551 -18.3%	5,111 -7.9%	4,464 -12.7%	0.9%
階上町	5,132	4,178 -18.6%	5,394 29.1%	2,311 -57.2%	2,644 14.4%	0.5%
新郷村	71	179 152.1%	192 7.3%	— —	— —	—
おいらせ町	8,839	8,196 -7.3%	6,825 -16.7%	7,086 3.8%	8,003 12.9%	1.6%
圏域	691,854	588,132 -15.0%	552,376 -6.1%	423,399 -23.3%	495,904 17.1%	—

注) 下段は対前期増加率

注) 田子町(平成24年)においては、事業所の数が少なく、調査結果をそのまま掲載すると、個々の申告者の特定につながるおそれがあるため、掲載していない(Xで表示)。

注) 新郷村(平成24年)においては、該当数字がないため、掲載していない。

出典：商業統計調査(平成9年～平成19年、平成26年)(経済産業省経済産業政策局)、  
経済センサス(平成24年)(総務省統計局)

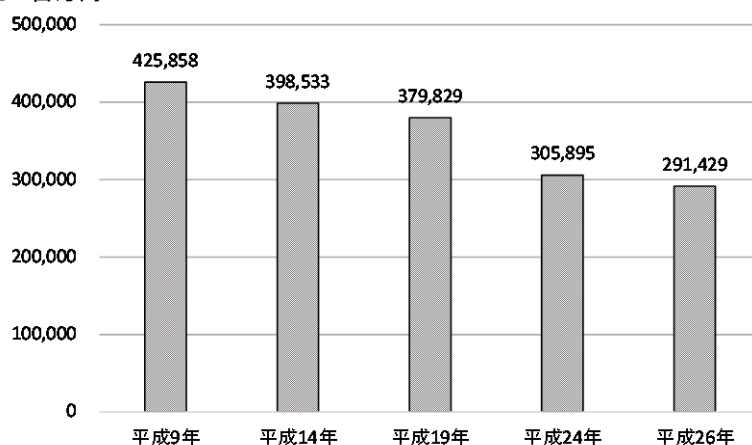
## ② 小売販売額

圏域における平成9年から平成26年の小売販売額の推移については以下のとおり。

- ・小売販売額は、八戸市が圏域内で79.2%と高いシェアを占めている。
- ・八戸市は、平成9年以降減少傾向が続いている。
- ・三戸町・五戸町・新郷村・おいらせ町は、平成26年に増加に転じた。

図表 1-75 小売販売額の推移

単位：百万円



出典：商業統計調査(平成9年～平成19年、平成26年)(経済産業省経済産業政策局)、  
経済センサス(平成24年)(総務省統計局)より作成

図表 1-76 小売販売額の推移

単位：百万円

年 市町村	平成 9 年	平成 14 年	平成 19 年	平成 24 年	平成 26 年	圏域内構成比 (平成 26 年)
八戸市	348,135	316,265 -9.2%	301,325 -4.7%	246,633 -18.2%	230,709 -6.5%	79.2%
三戸町	13,630	13,032 -4.4%	11,650 -10.6%	9,481 -18.6%	9,728 2.6%	3.3%
五戸町	11,992	9,853 -17.8%	10,743 -0.8%	8,573 -20.2%	12,178 42.0%	4.2%
田子町	6,921	5,710 -17.5%	4,540 -20.5%	X —	X —	—
南部町	13,568	14,052 3.6%	10,245 -27.1%	10,072 -1.7%	8,883 -11.8%	3.0%
階上町	5,032	5,533 10.0%	7,320 37.3%	6,373 -12.9%	4,796 -24.7%	1.6%
新郷村	1,501	1,125 -25.0%	1,492 32.6%	1,257 -15.8%	1,315 4.6%	0.5%
おいらせ町	25,079	32,963 31.4%	32,514 -1.4%	23,506 -27.7%	23,820 1.3%	8.2%
圏域	425,858	398,533 -6.4%	379,829 -4.7%	305,895 -19.5%	291,429 -4.7%	—

注) 下段は対前期増加率

注) 田子町(平成 24 年)においては、事業所の数が少なく、調査結果をそのまま掲載すると、個々の申告者の特定につながるおそれがあるため、掲載していない(Xで表示)。

出典：商業統計調査(平成 9 年～平成 19 年、平成 26 年)(経済産業省経済産業政策局)、  
経済センサス(平成 24 年)(総務省統計局)より作成

### ③ 大規模小売店舗数

圏域における平成 28 年 3 月 30 日現在の大規模小売店舗数については以下のとおり。

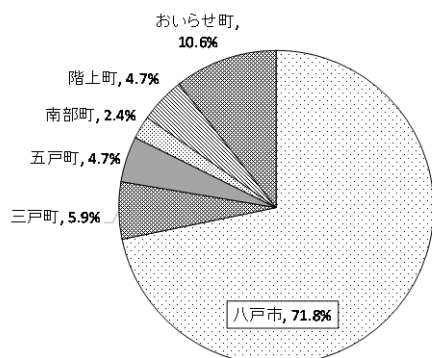
- ・大規模小売店舗数(大規模小売店立地法に基づく届出店舗面積が 1,000 m<sup>2</sup>以上の店舗)は、八戸市が 61 店舗となっており、町村部では、おいらせ町が 9 店舗と、他の町村と比較して多く立地している。
- ・圏域における大規模小売店舗数は 85 店舗となっている。

図表 1-77 大規模小売店舗数

区分	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
大規模小売店舗数	61	5	4	0	2	4	0	9	85

出典：青森県内の大規模小売店舗一覧(青森県)より作成(平成 28 年 3 月 30 日現在)

図表 1-78 大規模小売店舗数内訳



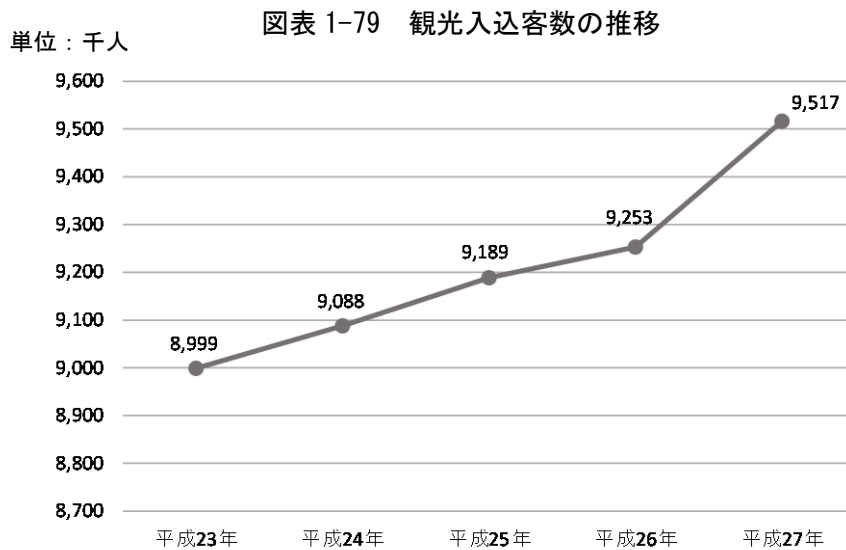
注) 小数第 2 位以下を端数処理しているため、%の合計は必ずしも 100%とならない場合がある。

出典：青森県内の大規模小売店舗一覧(青森県)より作成  
(平成 28 年 3 月 30 日現在)

## (8) 観光（観光入込客数）

圏域における平成 23 年から平成 27 年の観光入込客数の推移については以下のとおり。

- ・圏域における平成 23 年以降の観光入込客数は増加傾向にあり、平成 27 年は 951 万 7 千人と対前年増加率が平成 23 年以降最も大きい 2.8%の伸びとなっている。
- ・平成 23 年以降では、階上町は一貫して増加傾向で、八戸市・三戸町・田子町・南部町は過去に対前年増加率がマイナスになった年があったが全体的には増加傾向となっており、平成 27 年においては、五戸町・おいらせ町を除く市町村で、対前年増加率がプラスとなっている。
- ・五戸町は平成 23 年から 25 年までは横ばい傾向だったが、その後減少傾向となっており、新郷村・おいらせ町は、全体的にはほぼ横ばい傾向となっている。



出典：青森県観光入込客統計（青森県）より作成

図表 1-80 観光入込客数の推移

単位：千人

年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
八戸市	6,762	6,809 0.7%	6,761 -0.7%	6,876 1.7%	6,986 1.6%
三戸町	233	274 17.5%	325 18.8%	300 -7.8%	346 15.6%
五戸町	159	156 -1.8%	157 0.3%	148 -5.8%	131 -10.9%
田子町	37	36 -3.3%	33 -9.8%	34 5.5%	48 41.3%
南部町	702	705 0.4%	690 -2.1%	682 -1.1%	735 7.8%
階上町	325	357 9.6%	385 7.9%	385 0.1%	445 15.4%
新郷村	156	157 0.6%	161 2.5%	152 -5.5%	153 0.4%
おいらせ町	625	595 -4.8%	678 14.0%	676 -0.3%	671 -0.7%
圏域	8,999	9,088 1.0%	9,189 1.1%	9,253 0.7%	9,517 2.8%

注) 下段は対前年増加率

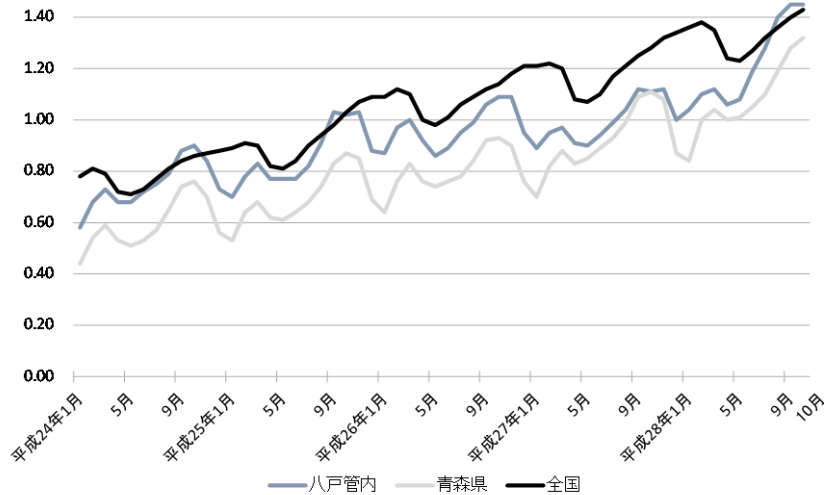
出典：青森県観光入込客統計（青森県）

## (9) 雇用（有効求人倍率）

圏域における有効求人倍率の推移については以下のとおり。

- ・八戸公共職業安定所管内の有効求人倍率は改善を続け、平成 28 年 10 月は 1.45 となっている。
- ・八戸公共職業安定所管内の平成 28 年 10 月有効求人倍率は青森県 (1.32) より高く、全国 (1.43) に比べても若干上回る水準となっている。

図表 1-81 有効求人倍率の推移



注) 有効求人倍率は、季節変動の影響が含まれた原数値

出典：八戸公共職業安定所資料、青森県労働局職業安定部、厚生労働省「一般職業紹介状況（職業安定業務統計）」より作成

## 6 都市機能の集積状況

### (1) 医療（自治体病院等）

#### ① 病院・診療所数

圏域における平成 28 年の病院・診療所数については以下のとおり。

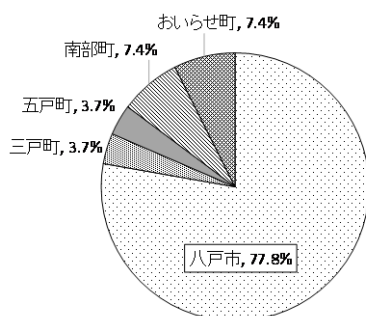
- ・病院は、八戸市に圏域の大半となる 21 施設があるほか、南部町・おいらせ町には各町 2 施設、三戸町・五戸町には各町 1 施設となっており、診療所は八戸市に集中立地している。

図表 1-82 病院・診療所数

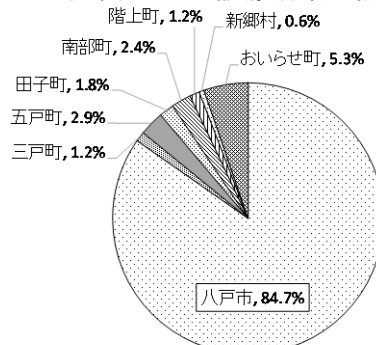
区分	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
病院数	21	1	1	0	2	0	0	2	27
診療所数	144	2	5	3	4	2	1	9	170

出典：地域医療情報システム（JMAP）（平成 28 年 10 月現在、日本医師会）

図表 1-83 病院数内訳



図表 1-84 診療所数内訳



注) 小数第 2 位以下を端数処理しているため、%の合計は必ずしも 100%と ならない場合がある。

出典：地域医療情報システム（JMAP）（平成 28 年 10 月現在、日本医師会）より作成

## ② 自治体病院・診療所の概要

圏域における自治体病院・診療所の概要については以下のとおり。

- ・自治体病院は、圏域の中核医療機関となる八戸市立市民病院があるほか、八戸市以外には、三戸町・五戸町・南部町・おいらせ町に立地している。
- ・自治体診療所は、八戸市・五戸町・田子町・新郷村に立地している。

図表 1-85 自治体病院・診療所の概要

分類	名称	診療科名
病院	八戸市立市民病院	消化器科・内科、消化器内視鏡科、化学療法科、循環器科・内科、呼吸器科・内科、腎臓内科、内分泌糖尿病科・内科、神経内科、小児科、外科、乳腺外科、小児外科、形成外科、呼吸器外科、脳神経外科、心臓血管外科、整形外科、リハビリテーション科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、耳鼻いんこう科、眼科、精神神経科、麻酔科、放射線科、歯科口腔外科、緩和医療科、病理診断科、救急科(救命救急センター)、総合診療科
	三戸中央病院	内科、婦人科、総合診療科、整形外科、小児科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科
	五戸総合病院	内科、外科、産婦人科、眼科、小児科、耳鼻いんこう科、整形外科、脳神経外科、皮膚科
	南部町医療センター	内科、外科、循環器内科、小児科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、アレルギー科、肛門外科、眼科、歯科
	おいらせ病院	内科、外科、整形外科、小児科、皮膚科
診療所	八戸市休日夜間急病診療所	内科、小児科、外科
	南郷診療所	内科、歯科
	川内診療所	内科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科
	倉石診療所	内科、小児科、胃腸科、皮膚科
	田子診療所	内科、小児科、外科、整形外科、泌尿器科
	新郷診療所	内科

出典：各市町村等ホームページをもとに作成（平成28年6月1日現在）

### ③ 指定病院の状況

圏域の自治体病院における指定病院の状況については以下のとおり。

- ・青森県南地域の中核病院である八戸市立市民病院は、救命救急センターを併設し、急性期や重篤な患者への医療サービスを24時間体制で提供しているほか、地域周産期母子医療センターでは、危険な状態の出産前の母親と胎児、出生直後の新生児の一貫した総合治療を24時間体制で行っている。また、災害拠点病院の指定も受けている。
- ・町村では三戸中央病院・五戸総合病院・南部町医療センター・おいらせ病院が救急告示病院の指定を受けており、三戸中央病院はへき地医療拠点病院の指定も受けている。

図表 1-86 指定病院の状況

区分	八戸市立市民病院	三戸中央病院	五戸総合病院	南部町医療センター	おいらせ病院
救命救急センター	●				
地域周産期母子医療センター	●				
病院機能評価認定病院	●				
地域医療支援病院	●				
地域がん診療連携拠点病院	●				
医師臨床研修指定病院	●				
第二種感染症指定医療機関	●				
救急告示病院	●	●	●	●	●
へき地医療拠点病院		●			
第二次救急医療機関	●				
第三次救急医療機関	●				
災害拠点病院	●				

出典：青森県ホームページをもとに作成（平成27年3月31日現在）

### ④ 医師充足率（自治体病院）

圏域の自治体病院における医師充足率については以下のとおり。

- ・圏域の自治体病院について、施設運営上必要な医師充足率を見ると、八戸市立市民病院で75.9%、最も低い三戸中央病院では54.5%となっている。

図表 1-87 医師充足率の状況

病院名	許可病床数	標榜診療科目数	医師数	医師充足率	
				医療法上	施設運営上
八戸市立市民病院	608	22	141.0	268.0	75.9
三戸中央病院	144	10	8.3	111.9	54.5
五戸総合病院	167	9	14.4	136.5	61.1
南部町医療センター	66	11	8.2	127.4	71.4
おいらせ病院	78	5	7.2	96.3	71.4

注）医師充足率については平成28年5月1日現在の数値。

出典：平成27年度市町村立病院経営便覧（青森県）（平成28年3月31日現在）

※ 医師充足率について

- ・医療法上の医師充足率：医療法の規定に基づく算定方法により必要とされる医師数に対する充足割合
- ・施設運営上の医師充足率：各病院の施設運営上必要とする医師数に対する充足割合

## (2) 福祉

圏域における福祉施設の立地状況については以下のとおり。

- ・福祉施設は、八戸市に集中立地している。

図表 1-88 福祉施設立地状況

単位：施設

区分		八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
児童 福祉関係	保育所等	74	4	5	2	3	4	1	13	106
	児童館	15	2	0	0	2	0	0	4	23
障害者 福祉関係	障害者支援施設	7	0	2	0	1	0	0	1	11
	地域活動支援センター	3	1	0	0	0	0	0	0	4
高齢者 福祉関係	養護老人ホーム	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	特別養護老人ホーム	11	1	4	1	3	1	0	3	24
	軽費老人ホーム (ケアハウス)	5	0	0	0	0	0	0	1	6
	地域包括支援センター	1	1	1	1	1	1	1	1	8
	生活支援ハウス (高齢者生活福祉センター)	2	0	0	1	0	0	0	0	3
	老人福祉センター	2	1	0	1	3	1	3	1	12
	老人憩の家	5	0	0	0	0	0	0	0	5

出典：青森県健康福祉関係施設名簿（平成 28 年 4 月 1 日現在）



### (3) 高等教育機関、研究機関・産業支援機関等

#### ① 高等教育機関（大学、短期大学、高等専門学校）と学生数

圏域における高等教育機関については以下のとおり。

・大学・短大・高等専門学校は、町村部への立地がなく、全て八戸市への立地となっている。

図表 1-89 大学、短期大学、高等専門学校と学生数

分類	名称	学部・学科名	学生数(人)計				
大学	私立	八戸工業大学	工学部	機械情報技術学科	206	1,126	
				電気電子システム学科	143		
				システム情報工学科	255		
				バイオ環境工学科	142		
				土木建築工学科	239		
			感性デザイン学部	感性デザイン学科	141		
			大学院	工学研究科 (博士前期課程)	機械・生物化学工学専攻		0
					電子電気・情報工学専攻		5
					社会基盤工学専攻		0
					工学研究科 (博士後期課程)		機械・生物化学工学専攻
電子電気・情報工学専攻	0						
社会基盤工学専攻	2						
私立	八戸学院大学	ビジネス学部	ビジネス学科	246	625		
		健康医療学部	人間健康学科	310			
			看護学科	69			
			幼児保育学科	203			
短期大学	私立	八戸学院短期大学	ライフデザイン学科	41	400		
			看護科	156			
			産業システム工学科	323			
高等専門学校	国立	八戸工業高等専門学校	-	機械工学科	123	904	
				電気情報工学科	128		
				物質工学科	132		
				建設環境工学科	127		
				産業システム工学専攻	70		
			専攻科	機械・電気システム工学専攻	1		
				物質工学専攻	0		
				建設環境工学専攻	0		
				合 計			3,055

出典：平成 28 年度学校一覧（平成 28 年 5 月現在、青森県教育委員会）

注）八戸学院短期大学は、平成 29 年 4 月より八戸学院大学短期大学部に変更予定。

注）八戸工業大学の感性デザイン学部は、平成 30 年 4 月より地域づくり学科（仮称）を設置し、感性デザイン学科を創生デザイン学科（仮称）に変更予定。

#### ② 専修学校

圏域における専修学校については以下のとおり。

・八戸圏域における専修学校は 9 校で、そのうち 8 校が八戸市に、1 校が五戸町に立地している。

図表 1-90 専修学校数と生徒数

区分	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
専修学校(校)	8	0	1	0	0	0	0	0	9
生徒数(人)	643	0	245	0	0	0	0	0	888

注）八戸市に立地する専修学校 8 校中、1 校は休校中

出典：平成 28 年度学校一覧（平成 28 年 5 月現在、青森県教育委員会）

### ③ 研究機関・産業支援機関等

圏域における研究機関・産業支援機関については以下のとおり。

図表 1-91 研究機関・産業支援機関

分類	機関・施設名称
八戸市	八戸市農業経営振興センター(八戸市)
民間・その他	株式会社 八戸インテリジェントプラザ(八戸市) 公益財団法人 八戸地域高度技術振興センター(八戸市) 一般財団法人 八戸地域地場産業振興センター(八戸市) 地方独立行政法人 青森県産業技術センター 八戸地域研究所(八戸市) 地方独立行政法人 青森県産業技術センター 食品総合研究所(八戸市) 地方独立行政法人 青森県産業技術センター りんご研究所(五戸町)

出典：青森県産業立地ガイド及び八戸市資料（いずれも平成 28 年 6 月現在）

### (4) 文化・スポーツ施設

#### ① 文化・スポーツ施設の立地状況

圏域における平成 28 年の文化・スポーツ施設の状況については以下のとおり。

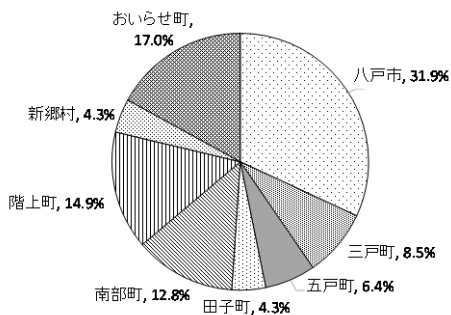
- ・文化施設は八戸市に 15 施設が立地しており、おいらせ町に 8 施設、階上町に 7 施設、南部町に 6 施設、三戸町に 4 施設、五戸町に 3 施設、田子町・新郷村に各町村 2 施設の順となっている。
- ・スポーツ施設は八戸市に 37 施設が立地しており、南部町に 14 施設、五戸町に 13 施設、おいらせ町に 11 施設、三戸町・田子町に各町 8 施設、階上町に 6 施設、新郷村に 5 施設の順となっている。

図表 1-92 文化・スポーツ施設の立地状況

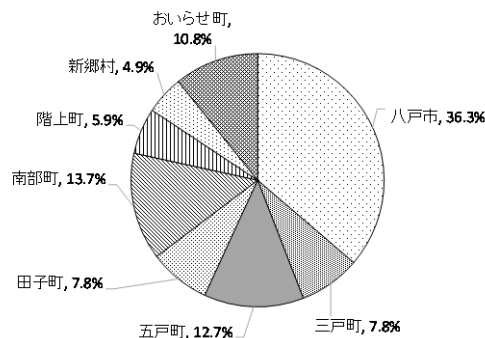
区分	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
文化施設	15	4	3	2	6	7	2	8	47
スポーツ施設	37	8	13	8	14	6	5	11	102

出典：各市町村ホームページをもとに作成（平成 28 年 10 月 2 日現在）

図表 1-93 文化施設数内訳



図表 1-94 スポーツ施設数内訳



注) 小数第 2 位以下を端数処理しているため、%の合計は必ずしも 100%とならない場合がある。

出典：各市町村ホームページをもとに作成（平成 28 年 6 月 1 日現在）

## ② 公立図書館・主な図書室の利用状況

圏域における平成 27 年の公立図書館・主な図書室の利用状況については以下のとおり。

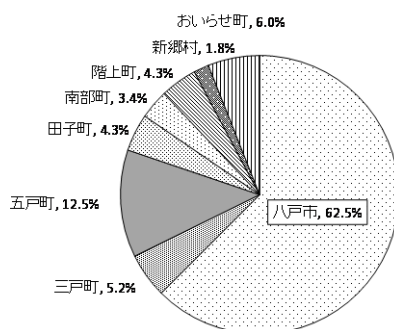
- ・公立図書館は八戸市に 3 か所、三戸町・五戸町・田子町・おいらせ町に各 1 か所ずつある。
- ・八戸市が蔵書数（62.5%）、貸出数（82.3%）ともに最も多く、次いで五戸町、おいらせ町、三戸町、田子町、階上町、南部町、新郷村の順となっている。

図表 1-95 公立図書館・主な図書室の利用状況

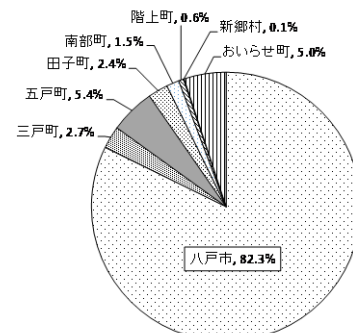
市町村名・施設名称		蔵書数	貸出数
八戸市	八戸市立図書館	448,774	663,665
	八戸市図書情報センター	5,886	52,479
	八戸市立南郷図書館	50,787	66,422
	合計	505,447	782,566
三戸町	三戸町立図書館	42,316	25,761
五戸町	五戸町図書館	100,948	51,342
田子町	田子町立図書館	35,167	22,782
南部町	名川中学校図書室	27,445	14,380
階上町	道仏公民館	10,367	1,526
	ハートフルプラザ・はしかみ	18,820	2,800
	石鉢ふれあい交流館	5,473	1,447
	合計	34,660	5,773
新郷村	新郷村教育委員会(山村開発センター内)	14,270	767
おいらせ町	おいらせ町立図書館	48,588	47,960
圏域		808,841	951,331

出典：平成 27 年青森県統計年鑑、平成 27 年度青森県の図書館、八戸市調べ

図表 1-96 公立図書館・主な図書室蔵書数内訳



図表 1-97 公立図書館・主な図書室貸出数内訳



出典：平成 27 年青森県統計年鑑、平成 27 年度青森県の図書館、八戸市調べより作成

## (5) 市民活動等

圏域における平成 29 年の市民活動等の状況については以下のとおり。

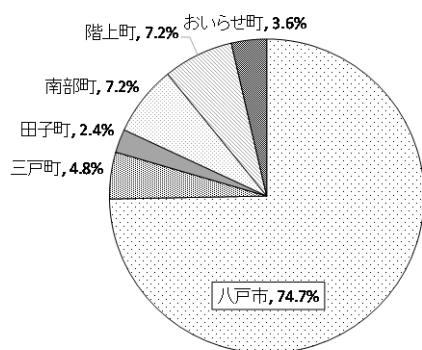
- ・ NPO 法人は、八戸市に 62 法人があるほか、南部町と階上町に各町 6 法人、三戸町に 4 法人、おいらせ町に 3 法人、田子町に 2 法人となっている。

図表 1-98 NPO 法人の設立状況

区分	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	圏域
NPO 法人数	62	4	0	2	6	6	0	3	83

出典：内閣府全国 NPO 法人情報検索システムをもとに作成（平成 29 年 2 月 1 日現在）

図表 1-99 NPO 法人数の内訳





注) 小数第 2 位以下を端数処理しているため、%の合計は必ずしも 100%とならない場合がある。



出典：内閣府全国 NPO 法人情報検索システムをもとに作成（平成 29 年 2 月 1 日現在）

## 7 地域資源の状況

圏域における地域資源の状況については以下のとおり。

市町村名	八戸市	三戸町	
分野			
自然景勝地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三陸復興国立公園（種差海岸・蕪島）</li> <li>・みちのく潮風トレイル</li> <li>・三陸ジオパーク</li> <li>・八戸市民の森「不習岳」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城山公園（県立自然公園）</li> </ul>	
歴史・民俗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・櫛引八幡宮（国宝 赤糸緘鎧兜大袖付、白糸緘褌取鎧兜大袖付）</li> <li>・清水寺観音堂</li> <li>・八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館（国宝 合掌土偶）</li> <li>・史跡根城跡</li> <li>・史跡是川石器時代遺跡</li> <li>・旧島守発電所保存公園</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一里塚ポケットパーク</li> <li>・旧河内屋橋本合名会社 更上閣（主屋等）</li> <li>・新むつ旅館（本館）</li> <li>・八戸酒造（店舗兼主屋等）</li> <li>・八戸えんぶり</li> <li>・八戸三社大祭</li> <li>・加賀美流騎馬打毬</li> <li>・鮫の神楽</li> <li>・法霊神楽</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城山公園（三戸城）</li> <li>・関根の松</li> <li>・奥州街道、駕籠立場（一里塚）</li> <li>・斗内千人塚</li> <li>・泉山の登拝行事</li> <li>・佐藤家建造物</li> <li>・斗内獅子舞</li> </ul>
スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長根公園（長根パイピングリンク等）</li> <li>・新井田公園（八戸市新井田インドアリンク）</li> <li>・東運動公園</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部山健康運動公園</li> <li>・八戸市多賀多目的運動場</li> <li>・八戸市屋内トレーニングセンター</li> <li>・カッコーの森エコーランド</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三戸町スポーツ文化福祉複合施設（アップルドーム）</li> <li>・町民体育館</li> <li>・サン・スポーツランド三戸</li> <li>・勤労者体育センター</li> <li>・松原運動公園</li> <li>・三戸パークゴルフ場</li> </ul>
芸術文化施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸市公会堂</li> <li>・八戸市美術館</li> <li>・八戸市博物館</li> <li>・安藤昌益資料館</li> <li>・南部会館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・羽仁もと子記念館</li> <li>・南郷文化ホール</li> <li>・ジャズの館</li> <li>・南郷歴史民俗資料館</li> <li>・八戸ブックセンター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史民俗資料館</li> <li>・アップルドーム「馬場のぼるの部屋」</li> </ul>
レクリエーション施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸公園（こどもの国、植物公園）</li> <li>・白浜海水浴場</li> <li>・蕪島海水浴場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産科学館マリエント</li> <li>・長者まつりんぐ広場</li> <li>・山の楽校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤労青少年ホーム</li> <li>・金洗沢公園</li> <li>・城山公園</li> </ul>
産直施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八菜館</li> <li>・道の駅なんごう</li> <li>・朝もやの館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅さんのへ</li> <li>・SAN・SUN産直ひろば</li> <li>・農産物加工センター</li> </ul>	
会所場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなか駅</li> <li>・八戸ポータルミュージアム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなか楽校</li> </ul>	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グレットタワーみなど</li> <li>・世増ダム（青葉湖）</li> <li>・八戸石灰鉱山（八戸キャニオン）</li> <li>・八食センター</li> <li>・ユートリー</li> <li>・中央卸売市場</li> <li>・市営魚菜小売市場</li> <li>・朝市文化（館鼻岸壁朝市等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横丁文化（みろく横丁等）</li> <li>・青森伝統工芸品（八戸焼、南部裂織、南部菱刺し、八幡馬、南部姫毬、えんぶり烏帽子、南部総桐箆筍）</li> <li>・八戸せんべい汁</li> <li>・八戸前沖さば</li> <li>・八戸ブイヤベース</li> <li>・南郷そば</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三戸望郷大橋</li> <li>・太子食品工業(株)</li> <li>・青森伝統工芸品（南部総桐箆筍）</li> <li>・つつけ（かっけ）</li> <li>・ひつつみ</li> <li>・三戸せんべい</li> <li>・くしもち</li> <li>・ジョミ（ガマズミ）</li> </ul>

市町村名	五戸町	田子町
分野		
自然景勝地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜沼公園</li> <li>・日本一のカシワの木</li> <li>・槍沢のしだれ桜</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みろくの滝</li> <li>・大黒森の山つつじ</li> <li>・四角岳</li> <li>・白萩平</li> </ul>
歴史・民俗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧圓子家住宅</li> <li>・石沢の駒踊り</li> <li>・江渡家住宅</li> <li>・五戸代官所</li> <li>・奥州街道</li> <li>・新山神社</li> <li>・中市城址</li> <li>・寶福寺</li> <li>・五戸町消防団第一分団屯所</li> <li>・明治天皇行在所</li> <li>・館町神楽舞</li> <li>・中市神楽舞</li> <li>・五戸えんぶり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奇峰学秀の仏像</li> <li>・若宮八幡宮（亀千代最期の地）</li> <li>・旧橋本家住宅</li> <li>・田子神楽</li> <li>・真清田神社</li> <li>・蛇王の松</li> </ul>
スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひばり野公園（陸上競技場〈天然芝サッカーコート〉、野球場、人工芝サッカー場、テニスコート）</li> <li>・五戸ドーム</li> <li>・倉石スポーツセンター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創遊村229スキーランド</li> <li>・農業者トレーニングセンター</li> <li>・町民プール</li> <li>・農山村広場</li> </ul>
芸術文化施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史みらいパーク（図書館、木村秀政ホール）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民俗資料館</li> <li>・タプコピアンプラザ（図書館、ホール）</li> </ul>
レクリエーション施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たんぼのゆっこ</li> <li>・五戸まきば温泉</li> <li>・小渡平公園</li> <li>・倉石温泉</li> <li>・ふれあい体験の郷</li> <li>・牧内森林公園</li> <li>・ひばり野ダリア園</li> <li>・正子のチューリップ園</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タプコブ創遊村</li> <li>・大雷鉢砂防愛ランド</li> <li>・みろくの滝親水公園</li> </ul>
産直施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい市ごのへ</li> <li>・夢の森ハイランド</li> <li>・JA八戸ごのへ直売所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガーリックセンター</li> <li>・JA八戸田子ストア</li> <li>・関所の茶屋</li> <li>・産直たっこや</li> </ul>
会所場		
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸酒類(株)五戸工場</li> <li>・(株)菊駒酒造</li> <li>・青森伝統工芸品（五戸ばおり、南部菱刺し、南部裂織）</li> <li>・倉石牛</li> <li>・馬肉料理</li> <li>・青森シャモロック</li> <li>・五戸町を応援するキャラクター「ばおるくんとみらいちゃん」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サンモールたっこ商店街</li> <li>・たっこにんにく</li> <li>・田子牛</li> <li>・ガーリックステーキごはん</li> </ul>

分野	市町村名 南部町	階上町
		
自然景勝地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名久井岳</li> <li>・法光寺の千本松</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三陸復興国立公園 (階上岳、階上海岸)</li> <li>・三陸ジオパーク</li> <li>・みちのく潮風トレイル</li> </ul>
歴史・民俗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部利康霊屋</li> <li>・南部利直霊屋</li> <li>・史跡聖寿寺館跡</li> <li>・白華山 法光寺 承陽塔(三重の塔)</li> <li>・福田上えんぶり組</li> <li>・南部手踊り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥屋部えんぶり</li> <li>・赤保内駒踊り</li> <li>・平内鶏舞</li> <li>・平内えんぶり</li> <li>・田代えんぶり</li> <li>・道仏神楽</li> <li>・寺下観音</li> </ul>
スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名川B&amp;G海洋センター</li> <li>・ふるさと運動公園</li> <li>・スパークながわ</li> <li>・モーターランドSP</li> <li>・ふくちアイスアリーナ</li> <li>・町民体育館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石鉢ふれあい交流館</li> <li>・町民プール</li> <li>・八戸カントリークラブ</li> <li>・中央体育館</li> <li>・町民体育館</li> <li>・あおぞらテニスコート</li> <li>・道仏交流センター</li> </ul>
芸術文化施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部芸能伝承館</li> <li>・名久井焼見学院窯陶芸の森美術館</li> <li>・楽楽ホール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民俗資料収集館</li> <li>・道仏交流センター</li> </ul>
レクリエーション施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくちふれあい体験農園</li> <li>・名川チェリリン村</li> <li>・長谷ぼたん園</li> <li>・ふるさとの森公園</li> <li>・バーデハウスふくち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと河川公園</li> <li>・階上岳つつじの森キャンプ場</li> <li>・ハートフルプラザはしかみ</li> <li>・わっせ交流センター</li> <li>・交流の森広場</li> </ul>
産直施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくちジャックドセンター</li> <li>・名川チェリーセンター</li> <li>・そばの里けやぐ</li> <li>・なんぶふるさと物産館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅はしかみ</li> <li>・フォレストピア階上</li> <li>・わっせ交流センター</li> </ul>
会所場		
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部町営地方卸売市場</li> <li>・ポートピアなんぶ</li> <li>・ゼネラル・レクラーク</li> <li>・食用菊(阿房宮)</li> <li>・南部達者米</li> <li>・南部太ねぎ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いちご煮</li> <li>・階上早生階上そば</li> <li>・早生そば加工品 (焼酎、シフォンケーキ等)</li> <li>・階上町シンボルキャラクター 「はしかみキッズ」</li> </ul>

<div style="text-align: center;">市町村名</div> <div style="text-align: center;">分野</div>	<div style="text-align: center;">新郷村</div> 	<div style="text-align: center;">おいらせ町</div> 
自然景勝地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水芭蕉群生地</li> <li>・迷ヶ平自然休養林</li> <li>・日本一ダケカンバ(樹木)</li> <li>・水と緑の森「平子沢」</li> <li>・戸来岳</li> <li>・十和利山</li> <li>・権現の滝</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿日本一の根岸の大いちょう</li> <li>・間木堤白鳥飛来地</li> <li>・いちょう公園（自然散策道）</li> </ul>
歴史・民俗	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金ヶ沢鶏舞</li> <li>・ナニヤドヤラ</li> <li>・キリストの里公園（キリストの墓）</li> <li>・大石神ピラミッド</li> <li>・三嶽神社（戸来、西越）</li> <li>・長泉寺（金ヶ沢）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・氣比神社</li> <li>・史跡阿光坊古墳群</li> <li>・聖観世音菩薩立像</li> <li>・百石えんぶり</li> <li>・日ヶ久保虎舞</li> <li>・本村鶏舞</li> <li>・本村獅子舞</li> <li>・百石まつり</li> <li>・下田まつり</li> </ul>
スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市農村交流センター美郷館</li> <li>・村営金ヶ沢スキー場</li> <li>・村営プール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いちょう公園</li> <li>・下田公園</li> <li>・町民交流センター</li> <li>・いちょう公園体育館</li> </ul>
芸術文化施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キリストの里伝承館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大山将棋記念館</li> <li>・白鳥の家</li> <li>・民具ふれあい館</li> <li>・おいらせ阿光坊古墳館</li> <li>・縄文の森イベント広場</li> </ul>
レクリエーション 施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野沢温泉「鷺の湯」</li> <li>・新郷温泉館「鷺の湯」</li> <li>・間木ノ平グリーンパーク</li> <li>・間木ノ平グリーンファーム</li> <li>・ウキウキランド</li> <li>・迷ヶ平キャンプ場</li> <li>・平子沢水と緑の森のキャンプ場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しもだサーモンパーク</li> <li>・下田公園キャンプ場</li> <li>・カワヨグリーン牧場</li> <li>・海浜公園</li> <li>・いちょう公園</li> </ul>
産直施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅しんごう</li> <li>・新郷村地場産品直売センター</li> <li>・キリストつぷ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光PRセンター「味祭館」</li> <li>・アグリノ里おいらせ</li> <li>・おはよう広場</li> <li>・おっほくん広場</li> </ul>
会所場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川代ものづくり学校</li> <li>・田んぼの楽校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・向山駅ミュージアム</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)泉農場新郷醸造所（長いも焼酎）</li> <li>・ミルク&amp;ハム工房</li> <li>・有機資源センター新郷</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本一の自由の女神像</li> <li>・桃川(株)(酒蔵)</li> <li>・イオンモール下田</li> <li>・明神山防災タワー (津波避難タワー)</li> <li>・日本一おいらせ鮭まつり</li> </ul>



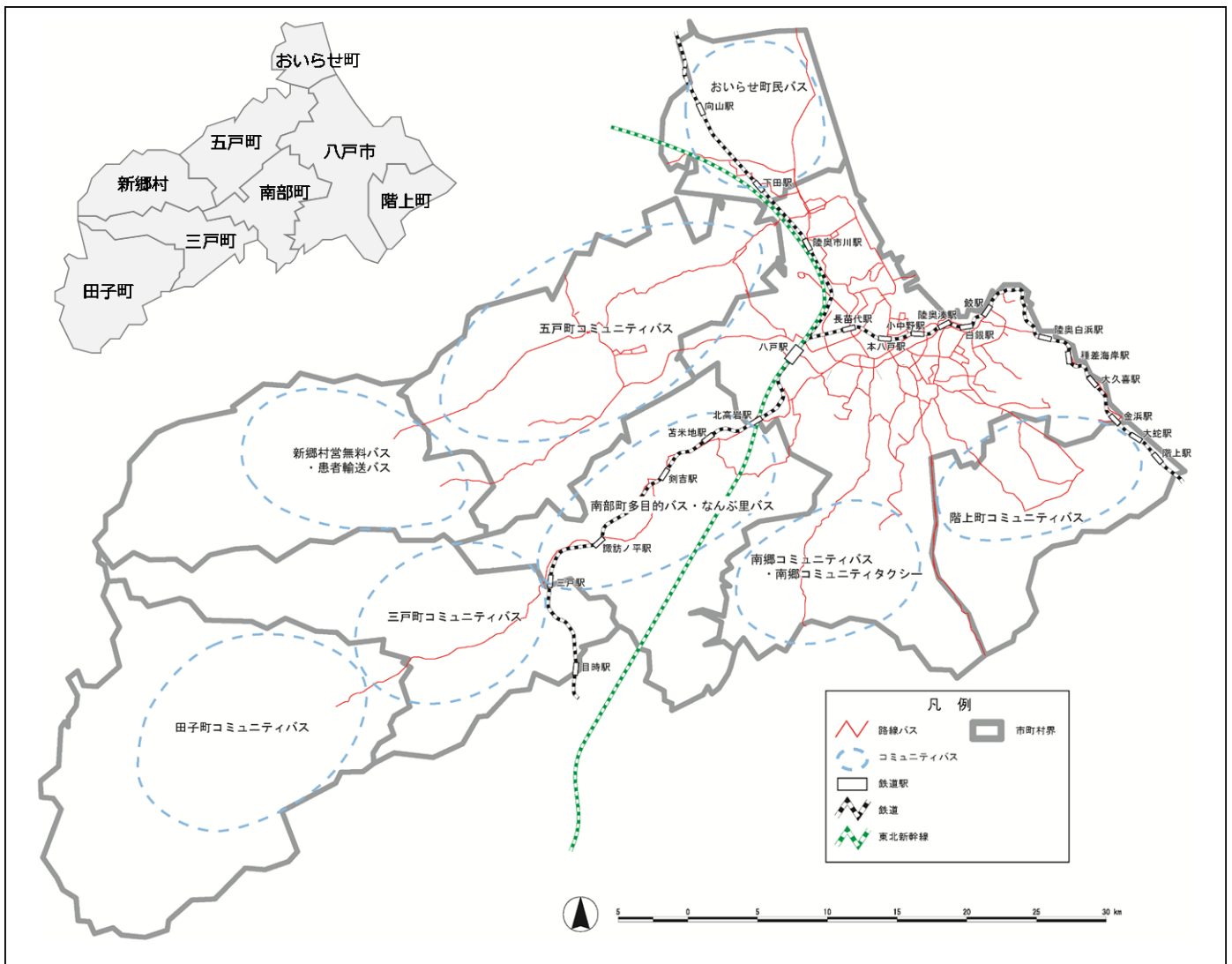
## 8 交通

圏域における交通状況については以下のとおり。

- ・圏域内を走る鉄道は、東北新幹線、JR八戸線、青い森鉄道線がある。
- ・圏域内を運行する路線バスは、八戸市営バス、南部バス、十和田観光電鉄バスがある。
- ・圏域のすべての市町村でコミュニティバスなどが、導入されている。
- ・圏域内に高速道路のインターチェンジは、八戸市（5か所）、階上町（2か所）、おいらせ町（2か所）に計9か所設置されている。
- ・八戸港－苫小牧港を1日4便往復で結ぶ旅客フェリーが運航している。

図表 1-100 圏域内の公共交通網

(平成 28 年 6 月現在)



## ① 鉄道

図表1-101 圏域内の鉄道（東日本旅客鉄道株式会社）の1日平均乗車人員 単位：人

運行会社・駅名	1日平均乗車人員		合計	
	定期外	定期		
東日本旅客鉄道株式会社	八戸(新幹線)	2,982	367	3,349
	八戸(八戸線)	3,169	1,322	4,491
	本八戸	542	646	1,188
	陸奥湊	95	53	149
	鮫	154	177	331

出典：東日本旅客鉄道株式会社(平成27年度)

図表1-102 圏域内の鉄道（青い森鉄道株式会社）の1日平均乗降人員 単位：人

運行会社・駅名	1日平均乗降人員		合計	
	定期外	定期		
青い森鉄道株式会社	向山	15	33	48
	下田	149	462	611
	陸奥市川	84	296	380
	八戸	1,640	1,258	2,898
	北高岩	17	25	42
	苫米地	42	155	197
	剣吉	88	397	485
	諏訪ノ平	20	56	76
	三戸	152	351	503
	目時	14	14	28

注) 目時駅、八戸駅には I G R いわて 銀河鉄道株式会社及び東日本旅客鉄道株式会社の乗降人員は含まれない。

注) 東日本旅客鉄道株式会社については、乗車人員（乗車のみ）で把握されている。青い森鉄道株式会社については、乗降人員（乗車、降車）で把握されている。

出典：青い森鉄道株式会社企画営業部営業課(平成27年度)

## ② 路線バス

図表1-103 路線バスの輸送人員 単位：人

運行会社	輸送人員
八戸市交通部	4,266,609
南部バス株式会社	2,047,329
十和田観光電鉄株式会社	257,635
合計	6,571,573

注) 高齢者等特別乗車証、高速バス、コミュニティバスの利用者を除く、上限運賃対象路線に係る数値

出典：八戸市調べ(平成27年度)

## ③ インターチェンジ

図表1-104 圏域内インターチェンジ

所在地	名称
八戸市	八戸北IC、八戸IC、南郷IC、八戸是川IC、八戸南IC、八戸西スマートIC(事業中)
階上町	種差海岸階上岳IC、階上IC
おいらせ町	三沢十和田下田IC、下田百石IC

出典：八戸市調べ(平成28年)

## ④ フェリー

図表1-105 フェリーの運行区間及び乗込・上陸人数 単位：人

運行区間	乗込・上陸人数		合計
	乗込	上陸	
八戸～苫小牧	85,941	81,319	167,260

出典：平成27年八戸港統計年報(青森県三八地域県民局地域整備部八戸港管理所)

## 第2章 八戸圏域定住自立圏の取組

### 1 八戸圏域定住自立圏形成からこれまでの主な経過

#### <平成 20 年度>

- 10月28日 総務省から先行実施団体（全国18圏域（中心市20市））に選定
- 3月19日 八戸市が中心市宣言

#### <平成 21 年度>

- 9月 構成市町村において、定住自立圏形成協定の締結について、各議会で議決
- 9月24日 八戸市長と関係7町村長とが、1対1で形成協定を締結（八戸圏域定住自立圏形成協定調印式）
- 10月15日 第1回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 11月18日 第2回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 12月22日 第3回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 2月16日 第4回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 2月22日 八戸圏域定住自立圏関係市町村長会議を開催  
八戸圏域定住自立圏共生ビジョンを策定

#### <平成 22 年度>

- 8月20日 第5回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 9月17日 八戸圏域定住自立圏共生ビジョンの一部変更
- 11月19日 第6回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 12月 構成市町村において、定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について、各議会で議決
- 12月22日 八戸市長と関係7町村長とが、形成協定の一部を変更する協定を締結
- 1月13日 第7回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 2月1日 八戸圏域定住自立圏共生ビジョンの一部変更

#### <平成 23 年度>

- 8月24日 第8回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 11月15日 八戸圏域定住自立圏関係市町村長会議を開催
- 12月 構成市町村において、定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について、各議会で議決
- 12月20日 八戸市長と関係7町村長とが、形成協定の一部を変更する協定を締結

- 1月27日 第9回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 2月17日 第10回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 3月15日 八戸圏域定住自立圏共生ビジョンの一部変更

#### <平成25年度>

- 12月25日 平成25年度第1回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 1月20日 平成25年度第2回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 2月24日 平成25年度第3回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 2月24日 八戸圏域定住自立圏関係市町村長会議を開催
- 3月 構成市町村において、定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について、各議会で議決
- 3月20日 八戸市長と関係7町村長とが、形成協定の一部を変更する協定を締結
- 3月20日 第2次八戸圏域定住自立圏共生ビジョンを策定

#### <平成26年度>

- 6月24日 平成26年度第1回八戸圏域定住自立圏関係市町村長会議を開催
- 11月11日 平成26年度第2回八戸圏域定住自立圏関係市町村長会議を開催
- 12月 定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について、議会で議決
- 12月16日 八戸市長と関係町村長とが、形成協定の一部を変更する協定を締結
- 1月7日 平成26年度第1回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 1月14日 パブリックコメントの実施
- 2月23日 平成26年度第2回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催
- 3月24日 第2次八戸圏域定住自立圏共生ビジョンの一部変更

#### <平成27年度>

- 6月1日 平成27年度第1回八戸圏域定住自立圏関係市町村長会議を開催
- 01月18日 平成27年度第2回八戸圏域定住自立圏関係市町村長会議を開催
- 03月23日 平成27年度第3回八戸圏域定住自立圏関係市町村長会議を開催

#### <平成28年度>

- 6月 構成市町村において、定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について、各議会で議決
- 6月20日 八戸市長と関係町村長とが、形成協定の一部を変更する協定を締結
- 7月14日 平成28年度第1回八戸圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催

## 2 生活機能の強化

### (1) 医療

#### 1) 地域医療体制の充実

##### ①医師派遣事業（八戸市 三戸町 五戸町 田子町）

###### 【事業内容】

- ・五戸総合病院、三戸中央病院、田子診療所を対象に、医師充足数の実態に応じて、八戸市立市民病院から医師の派遣を行う。

###### 【実績】

区 分	三戸町	五戸町	田子町
派遣先	三戸町国民健康保険 三戸中央病院	国民健康保険 五戸総合病院	田子町国民健康保険 田子診療所
協定締結時期	H21. 10. 1	H22. 10. 1	H23. 5. 1
概 要	整形外科医を毎週水曜日に派遣	内科医を常時派遣 (H24. 4. 1 協定変更 常勤→毎週火・水・金曜日に派遣)	内科医を毎週金曜日に派遣
21年度	H21. 10. 1～H22. 3. 31 計 25 回		
22年度	H22. 4. 1～H23. 3. 31 計 48 回	H22. 10. 1～H23. 3. 31 常時派遣	
23年度	H23. 4. 1～H24. 3. 31 計 50 回	H23. 4. 1～H24. 3. 31 常時派遣	H23. 12. 1～H24. 3. 31 計 13 回
24年度	H24. 4. 1～H25. 3. 31 計 50 回	H24. 4. 1～H25. 3. 31 計 141. 5 回	(休止中)
25年度	H25. 4. 1～H26. 3. 31 計 51 回	H25. 4. 1～H26. 3. 31 計 149 回	(休止中)
26年度	H26. 4. 1～H27. 3. 31 計 50 回	H26. 4. 1～H27. 3. 31 計 147 回	(休止中)
27年度	H27. 4. 1～H28. 3. 31 計 49 回	H27. 4. 1～H28. 3. 31 計 145 回	(休止中)

#### 2) 救急医療体制の充実

##### ①ドクターカー運行事業（全市町村）

###### 【事業内容】

- ・八戸市立市民病院でドクターカーを運行する。



(手前) 圏域が運行するドクターカー  
(奥) 青森県が運航するドクターヘリ

【実績】

単位：件

年 度	八 戸 市	三 戸 町	五 戸 町	田 子 町	南 部 町	階 上 町	新 郷 村	おいらせ町	そ の 他	合 計
21 年度	H22.3.29 ドクターカー運行開始式									
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
22 年度	468	7	11	3	11	41	1	22	29	593
23 年度	806	18	34	4	38	54	5	42	26	1,027
24 年度	843	8	28	4	38	55	3	53	53	1,085
25 年度	930	16	31	10	52	86	12	36	41	1,214
26 年度	1,101	18	43	13	56	81	6	72	62	1,452
27 年度	1,092	10	35	13	44	81	4	64	96	1,439
合計	5,246	77	182	47	239	398	31	289	307	6,816

3) 周産期医療体制の充実

①周産期医療体制周知事業（全市町村）

【事業内容】

- ・周産期における医療体制等の各種情報をホームページ等により提供する。
- ・八戸市立市民病院におけるハイリスク妊婦及びハイリスク新生児の円滑な受入に必要な情報を市町村間で共有し、情報提供を行う。

【実績】

年 度	内 容
22 年度～	八戸市のホームページ上で、「赤ちゃんがやってきた」として、特集ページを作成し、情報提供を実施。（圏域においては、八戸市ホームページへのリンクを作成）

(2) 福祉

1) 子育て支援の充実

①特別保育事業（地域子育て支援拠点事業・一時預かり事業・休日保育事業）（全市町村）

【事業内容】

- ・八戸市が実施している下記の事業について、関係町村の住民に対象を拡大した子育て支援策を実施する。
  - 1) 地域子育て支援拠点事業（子育て親子の交流、子育てに関する相談・援助、子育て関連情報の提供、子育てに関する講習等）
  - 2) 一時預かり事業（必要に応じた一時的な保育サービス）
  - 3) 休日保育事業（日曜・祝日に係る児童の保育サービス）

【実績】(8市町村合計)

単位：人

区分	地域子育て支援拠点事業	一時預かり事業	休日保育事業
概要	保育所等を会場に子育て支援の交流の場を提供する。	保育所等で必要に応じた一時的な保育サービスを提供する。	保育所等で日曜日・祝日などの休日に保育サービスを提供する。
21年度	22,259	12,409	3,356
22年度	35,281	13,005	3,731
23年度	40,748	12,550	3,869
24年度	40,540	12,077	4,411
25年度	42,682	13,552	4,221
26年度	34,855	11,797	3,907
27年度	33,768	9,055	3,143

②ファミリーサポートセンター事業 (全市町村)

【事業内容】

- ・地域において育児援助を受けたい人(依頼会員)、行いたい人(提供会員)を組織化し、会員同士の相互援助活動をマッチングする機能を担っている八戸市のファミリーサポートセンターの事業を、関係町村の住民に対象を広げることで、子育て支援の拡充を図る。

【実績】

(研修等)

年度	内容
22年度	H22.12.1 圏域で援助活動実施 ・各種研修会、講習会の実施(ステップアップ研修会・提供会員養成研修会・会員交流会) ・7町村への提供会員登録説明会実施
23年度	・各種研修会、講習会の実施(ステップアップ研修会・提供会員養成研修会・会員交流会、八戸市ファミサポ・児童館職員合同研修会、八戸市子育てサロン&ファミサポ合同研修会) ・6町へ提供会員登録説明会実施
24年度	・各種研修会、講習会の実施(ステップアップ研修会、提供会員養成研修会、会員交流会) ・三戸町、五戸町、おいらせ町への移動登録相談会実施
25年度～	・各種研修会、講習会の実施(ステップアップ研修会、提供会員養成研修会、会員交流会)

(登録件数)

単位：人

区 分	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	合計
22年度 計	577	0	1	1	3	4	0	6	592
依頼会員	324	0	0	0	0	2	0	3	329
提供会員	229	0	1	1	3	2	0	3	239
両方会員	24	0	0	0	0	0	0	0	24
23年度 計	572	5	1	1	6	4	0	8	597
依頼会員	332	0	0	0	2	2	0	5	341
提供会員	214	5	1	1	4	2	0	3	230
両方会員	26	0	0	0	0	0	0	0	26
24年度 計	586	8	2	1	4	7	0	11	619
依頼会員	340	3	1	0	2	5	0	7	358
提供会員	215	5	1	1	2	2	0	4	230
両方会員	31	0	0	0	0	0	0	0	31
25年度 計	610	7	7	0	5	10	0	10	649
依頼会員	369	3	4	0	3	6	0	6	391
提供会員	219	4	2	0	2	4	0	4	235
両方会員	22	0	1	0	0	0	0	0	23
26年度 計	637	9	7	1	7	8	0	14	683
依頼会員	388	3	4	0	5	4	0	10	414
提供会員	229	6	2	1	2	4	0	4	248
両方会員	20	0	1	0	0	0	0	0	21
27年度 計	660	10	8	1	7	8	0	20	714
依頼会員	395	4	4	0	5	3	0	14	425
提供会員	246	6	3	1	2	5	0	6	269
両方会員	19	0	1	0	0	0	0	0	20

(相互援助活用件数)

単位：件

年 度	活動形式	件 数
22年度	合計	761
	八戸市間	761
	八戸市・町村間	0
	町村間	0
23年度	合計	869
	八戸市間	859
	八戸市・町村間	8
	階上町（依頼）&八戸市（提供）	(8)
	町村間	2
階上町（依頼）&おいらせ町（提供）	(2)	



## (相互援助活用件数)

単位：件

年 度	活動形式	件 数
24 年度	合計	916
	八戸市間	878
	八戸市・町村間	36
	五戸町(依頼)&八戸市(提供)	(23)
	階上町(依頼)&八戸市(提供)	(13)
	町村間	2
	三戸町(依頼)&三戸町(提供)	(1)
おいらせ町(依頼)&おいらせ町(提供)	(1)	
25 年度	合計	876
	八戸市間	856
	八戸市・町村間	18
	おいらせ町(依頼)&八戸市(提供)	(12)
	階上町(依頼)&八戸市(提供)	(8)
	町村間	0
26 年度	合計	746
	八戸市間	667
	八戸市・町村間	24
	階上町(依頼)&八戸市(提供)	6
	おいらせ町(依頼)&八戸市(提供)	16
	南部町(依頼)&八戸市(提供)	1
	八戸市(依頼)&五戸町(提供)	1
	町村間	55
	五戸町(依頼)&五戸町(提供)	11
	おいらせ町(依頼)&おいらせ町(提供)	26
南部町(依頼)&南部町(提供)	18	
27 年度	合計	909
	八戸市間	855
	八戸市・町村間	4
	三戸町(依頼)&八戸市(提供)	(1)
	南部町(依頼)&八戸市(提供)	(1)
	階上町(依頼)&八戸市(提供)	(2)
	町村間	50
	おいらせ町(依頼)&おいらせ町(提供)	(46)
階上町(依頼)&階上町(提供)	(4)	

## ③子育てつどいの広場（全市町村）

## 【事業内容】

- ・八戸市が八戸ポータルミュージアム内の「子育てつどいの広場」の利用を関係町村の住民に拡大し、圏域の子育て世代の交流の場として活用する。
- ・子育てつどいの広場は、地域の子育て支援の拠点施設として、親子を対象とした常設型の交流の場とするとともに、子育てに関する相談・援助活動や子育て関連講座等を実施する。

## 【実績】

年 度	内 容
22 年度～	H23.2.11 八戸ポータルミュージアム 4 階に「こどもはっち」開設  【講習会等の実施】 <ul style="list-style-type: none"><li>・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進を目的としたイベントの実施</li><li>・子育てに関する相談、援助の実施</li><li>・地域の子育て関連情報の提供</li><li>・子育て及び子育て支援に関する講習会等の実施</li><li>・豊かな遊び空間の提供と遊びやものづくりに関する体験講座の実施</li><li>・地域の子育て力を高める取組の実施</li></ul>

(延べ入場者数)

単位：人

年 度	延べ入場者数
22 年度	9,658
23 年度	45,458
24 年度	46,320
25 年度	46,464
26 年度	49,753
27 年度	52,408
合 計	250,061

## ④子育てサロン事業（全市町村）

### 【事業内容】

- ・小学校入学前の子どもと親の交流を目的として、地区公民館・児童館等を拠点に八戸市内 21 箇所で開催されている子育てサロン事業について、対象を関係町村の住民に拡充し、圏域住民の子育て世代の交流を促進する。

【実績】(8 市町村合計)

年 度	利用児童延数(人)	回数(回)
22 年度	5,689	285
23 年度	5,988	264
24 年度	5,380	258
25 年度	6,609	220
26 年度	5,908	220
27 年度	6,059	219
合 計	35,633	1,466

## 2) 高齢者福祉の充実

### ①高齢者福祉合同研修会の開催（全市町村）

#### 【事業内容】

- ・圏域内市町村において、認知症や虐待などの各種困難事例に対応するため、専門の医師や研究者を招くなど、高齢者福祉に携わる行政職員、介護・福祉サービス事業に携わる関係者、介護・福祉に関心のある住民等を対象とした合同研修会を開催する。

## 【実績】

年 度	内 容
23 年度	<p>【高齢者虐待対応シンポジウム】(H23. 7. 28 八戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加人数 233 名 (八戸市 139 名、三戸町 15 名、五戸町 17 名、田子町 2 名、南部町 17 名、階上町 15 名、新郷村 5 名、おいらせ町 13 名、その他 10 名)</li> </ul> <p>【認知症フォーラム】(H23. 8. 20 八戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加人数 370 名 (八戸市 227 名、三戸町 17 名、五戸町 14 名、田子町 11 名、南部町 24 名、階上町 43 名、新郷村 2 名、おいらせ町 21 名、その他 11 名)</li> </ul> <p>【高齢者虐待対応ワークショップ】(H23. 11. 12 八戸市・H23. 11. 13 南部町)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加人数 98 名 (八戸市 49 名、三戸町 9 名、五戸町 9 名、田子町 2 名、南部町 22 名、階上町 1 名、新郷村 3 名、おいらせ町 3 名)</li> </ul>
24 年度	<p>【ケアプラン点検支援マニュアル実践研修】(H24. 8. 1 八戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加人数 139 名 (八戸市 87 名、三戸町 11 名、五戸町 8 名、田子町 4 名、南部町 9 名、階上町 6 名、新郷村 2 名、おいらせ町 12 名)</li> </ul>
25 年度	<p>【ケアプラン点検支援マニュアル実践研修】(H26. 1. 23・24 八戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加人数 201 名 (八戸市 125 名、三戸町 12 名、五戸町 10 名、田子町 3 名、南部町 11 名、階上町 13 名、新郷村 3 名、おいらせ町 24 名)</li> </ul>
26 年度	<p>【地域における認知症ケア研修～認知症ケアパスと認知症ケアの普及啓発について～】(H27. 1. 22 八戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加人数 143 名 (八戸市 71 名、三戸町 14 名、五戸町 12 名、田子町 3 名、南部町 17 名、階上町 8 名、新郷村 6 名、おいらせ町 12 名)</li> </ul>
27 年度	<p>【地域における認知症ケア研修～認知症初期集中支援チームの活用について～】(H27. 10. 29 八戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加人数 154 名 (八戸市 74 名、三戸町 15 名、五戸町 9 名、田子町 8 名、南部町 20 名、階上町 10 名、新郷村 2 名、おいらせ町 16 名)</li> </ul>

### 3) 障がい者福祉の充実

#### ①障がい者福祉合同研修会等の開催 (全市町村)

##### 【事業内容】

- ・圏域内市町村において、発達障がいや虐待などの各種個別事例に対応するため、専門の医師や研究者を招くなど、障がい者福祉に携わる行政職員、福祉サービス事業に携わる関係者、障がい者福祉に関心のある住民等を対象とした合同研修会等を開催する。

**【実績】**

年 度	内 容
24 年度	<p>【研修会】(H24. 11. 28 八戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加人数 32 人 (八戸市 12 人、三戸町 2 人、五戸町 4 人、田子町 5 人、南部町 3 人、新郷村 2 人、おいらせ町 4 人)</li> </ul> <p>【講演会】(H24. 12. 16 八戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加人数 152 人 (一般向け講演会のため、町村内訳は不明)</li> </ul>
25 年度	<p>【研修会】(H26. 1. 23 八戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加人数 22 人 (八戸市 7 人、三戸町 2 人、五戸町 3 人、田子町 2 人、南部町 3 人、階上町 1 人、新郷村 2 人、おいらせ町 2 人)</li> </ul> <p>【講演会】(H26. 3. 22 八戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加人数 191 人 (一般向け講演会のため、町村内訳は不明)</li> </ul>
26 年度	<p>【研修会】(H27. 2. 4 八戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加人数 23 人 (八戸市 7 人、三戸町 3 人、五戸町 3 人、田子町 2 人、南部町 1 人、階上町 2 人、新郷村 3 人、おいらせ町 2 人)</li> </ul> <p>【講演会】(H27. 3. 21 八戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加人数 213 人 (一般向け講演会のため、町村内訳は不明)</li> </ul>
27 年度	<p>【研修会】(H27. 10. 15 八戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加人数 20 人 (八戸市 12 人、三戸町 2 人、五戸町 2 人、田子町 1 人、南部町 1 人、新郷村 2 人)</li> </ul> <p>【講演会】(H27. 12. 13 八戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加人数 159 人 (一般向け講演会のため、町村内訳は不明)</li> </ul>

**②障害支援区分判定審査事務の共同実施 (全市町村)**

**【事業内容】**

- ・障害者総合支援法の規定に基づき、市町村が行う障害支援区分判定事務について、圏域内の事務を八戸市の審査会において実施する。

**【実績】**

年 度	内 容
24 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催回数 30 回</li> <li>審査件数 601 件 (八戸市 423 件、三戸町 26 件、五戸町 42 件、田子町 8 件、南部町 43 件、階上町 25 件、新郷村 3 件、おいらせ町 31 件)</li> </ul>
25 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催回数 30 回</li> <li>審査件数 538 件 (八戸市 390 件、三戸町 21 件、五戸町 29 件、田子町 5 件、南部町 49 件、階上町 17 件、新郷村 6 件、おいらせ町 21 件)</li> </ul>

年 度	内 容
26 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数 32 回</li> <li>・審査件数 688 件 (八戸市 468 件、三戸町 33 件、五戸町 40 件、田子町 6 件、南部町 42 件、階上町 31 件、新郷村 7 件、おいらせ町 61 件)</li> </ul>
27 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数 38 回</li> <li>・審査件数 686 件 (八戸市 501 件、三戸町 27 件、五戸町 35 件、田子町 21 件、南部町 39 件、階上町 26 件、新郷村 5 件、おいらせ町 32 件)</li> </ul>

### (3) 産業振興

#### 1) 農業振興に係る情報提供体制の構築

##### ①農業情報提供事業（全市町村）

###### 【事業内容】

- ・農業体験情報、援農情報、栽培技術情報及び農地情報について、農業への関心の程度や農業従事のレベルに応じた情報提供の仕組みを整備する。
- ・八戸市農業経営振興センターの体制を拡充し、新規就農希望者に研修機会を提供するとともに、関係町村の住民に栽培技術情報を提供する。

###### 【実績】

###### (八戸市農業講座の実施)

年 度	内 容
21 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催月日 H22. 1. 19～21、2. 2</li> <li>・開講講座 6 講座</li> <li>・受講者数 355 人</li> </ul>
22 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催月日 H23. 1. 25～27</li> <li>・開講講座 6 講座</li> <li>・受講者数 351 人</li> </ul>
23 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催月日 H24. 1. 24～26</li> <li>・開講講座 6 講座</li> <li>・受講者数 423 人</li> </ul>
24 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催月日 H25. 1. 21～22、24</li> <li>・開講講座 6 講座</li> <li>・受講者数 460 人</li> </ul>
25 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催月日 H26. 1. 21～23</li> <li>・開催講座 6 講座</li> <li>・受講者数 278 名</li> </ul>
26 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催月日 H27. 1. 19～21、23</li> <li>・開催講座 8 講座</li> <li>・受講者数 504 名</li> </ul>
27 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催月日 H28. 1. 18、19、21、22</li> <li>・開催講座 8 講座</li> <li>・受講者数 391 名</li> </ul>

(農業相談件数) (8市町村合計)

単位：件

年 度	件 数
22年度	260
23年度	142
24年度	178
25年度	264
26年度	172
27年度	121

(農業経営振興センターの体制の拡充)

年 度	内 容
23年度～	・農業交流研修センターの機能を拡大し、機構改革により、農業経営振興センターに改組し、機能を強化した

## 2) そば生産の振興

### ①南郷そば振興センター共同利用事業 (八戸市 階上町)

#### 【事業内容】

- ・拡充した八戸市南郷そば振興センターの施設を、八戸市及び階上町の区域内のそば生産者の利用に供する。

#### 【実績】

(センター施設の拡充)

年 度	内 容
22年度	H23.2 地質調査委託契約 H23.3 階上町と「公の施設の使用に関する協定書」締結
23年度	H23.6 第二作業棟建設工事着手 H23.6～8 乾燥設備及び選別設備の拡充 H23.9 第二作業棟完成 階上産そばの受入れ開始

(荷受・仕上量)

年 度	区 分	荷受量 (トン)	仕上量 (トン)
23年度	八戸市	52.5	38.6
	階上町	26.0	20.5
	合計	78.5	59.1
24年度	八戸市	108.1	92.6
	階上町	49.8	38.9
	合計	157.9	131.5
25年度	八戸市	65.8	48.7
	階上町	31.9	23.6
	合計	97.7	72.3
26年度	八戸市	108.5	83.4
	階上町	57.5	44.2
	合計	166.0	127.6

(荷受・仕上量)

年 度	区 分	荷受量 (トン)	仕上量 (トン)
27 年度	八 戸 市	48.5	31.4
	階上町	29.1	20.2
	合 計	77.6	51.6



八戸市南郷そば振興センター第二作業棟落成式の様子 (H23. 9. 30)

### 3) 畜産業の振興

#### ①畜産業及び関連産業振興事業 (全市町村)

##### 【事業内容】

- ・八戸地域畜産関連産業振興ビジョンを策定する。
- ・畜産ビジョン策定後は、当該ビジョンに基づき各種事業を実施する。

##### 【実績】

(八戸地域畜産関連産業振興ビジョンの策定)

策定経過

年 月 日	内 容
平成 26 年 5 月 16 日	八戸地域定住自立圏市町村畜産担当者会議
平成 26 年 8 月 11 日	第 1 回ワーキング会議
平成 26 年 8 月 27 日	平成 26 年度第 1 回八戸地域畜産関連産業振興ビジョン検討会議
平成 26 年 10 月 23 日	第 2 回ワーキング会議
平成 26 年 11 月 19 日	平成 26 年度第 2 回八戸地域畜産関連産業振興ビジョン検討会議
平成 27 年 2 月 13 日	第 3 回ワーキング会議
平成 27 年 2 月 23 日	平成 26 年度第 3 回八戸地域畜産関連産業振興ビジョン検討会議
平成 27 年 5 月 28 日	第 4 回ワーキング会議
平成 27 年 6 月 10 日	平成 27 年度第 1 回八戸地域畜産関連産業振興ビジョン検討会議
平成 27 年 7 月 2 日 ～ 8 月 3 日	パブリックコメントの実施
平成 27 年 8 月 18 日	平成 27 年度第 2 回八戸地域畜産関連産業振興ビジョン検討会議
平成 27 年 8 月 20 日	八戸地域畜産関連産業振興ビジョン策定

(イベント等の開催)

平成 27 年度開催イベント

イベント名	内 容
八戸地域畜産フードフェア 2015	・開催年月日 平成 27 年 9 月 12 日 ・場 所 八戸ポータルミュージアム はっち ・来場者数 約 2,000 人 ・内 容 地場産畜産物及び加工品の販売等
畜産振興消費者セミナー	・開催年月日 平成 28 年 1 月 17 日 ・場 所 八戸グランドホテル ・参加者数 80 人 ・内 容 講演(柴田博氏)
親子ちくさん探検バスツアー	・開催年月日 平成 28 年 3 月 26 日 ・場 所 東北グレートターミナル 他 ・参加者数 親子 13 組 計 29 人 ・内 容 飼料サイロ、畜産加工工場、GPセンターの見学

#### 4) 商工業の振興

##### ①他地域連携ビジネスマッチング促進事業 (全市町村)

###### 【事業内容】

・ものづくりに関する専門的・技術的知見を有するコーディネーターを配置し、圏域内の事業所の受発注促進と新事業活動を支援する体制を構築する。

###### 【実績】

年 度	内 容
26 年度	・コーディネーターの企業訪問件数：36 件 ・コーディネート件数：16 件 ・展示会出展支援件数：6 社
27 年度	・コーディネーターの企業訪問件数：72 件 ・コーディネート件数：10 件 ・展示会出展支援件数：6 社

#### 5) 中小企業従事者の福祉向上

##### ①勤労者福祉サービスセンター事業 (全市町村)

###### 【事業内容】

・市内の中小企業従事者を対象として福利厚生事業を実施している八戸市勤労者福祉サービスセンターの会員資格を圏域内の中小企業従事者に拡大する。

###### 【実績】

年 度	内 容
23 年度	・サービスセンター規約変更 ・登録者数 361 社 1,552 名 (南部町 1 社 1 名、階上町 3 社 4 名)
24 年度	・登録者数 365 社 1,554 名 (南部町 1 社 1 名、階上町 4 社 13 名、 おいらせ町 1 社 11 名)



年 度	内 容
25 年度	・登録者数 344 社 1,509 名 (南部町 1 社 1 名、階上町 3 社 10 名、 おいらせ町 3 社 12 名)
26 年度	・登録者数 342 社 1,430 名 (南部町 1 社 1 名、階上町 3 社 9 名、 おいらせ町 3 社 11 名)
27 年度	・登録者数 337 社 1,434 名 (南部町 2 社 2 名、階上町 3 社 8 名、 おいらせ町 2 社 10 名)

## 6) 観光の振興

### ①観光PR推進事業（全市町村）

#### 【事業内容】

- ・関係市町村の道の駅や産直施設などの公共施設等に圏域観光情報コーナーを設置して、相互に観光情報を発信する。
- ・首都圏などからのさらなる誘客を推進するため、関係市町村が共同して圏域の魅力ある観光資源を紹介する観光パンフレット（外国語版含む）を作成し、圏域内外にわたる観光PRを推進する。

#### 【実績】

年 度	内 容
22 年度～	・八戸圏域情報ステーション設置 18 か所 八戸市：はっち、道の駅なんごう、 はちのへ総合観光プラザ、 八食センター 三戸町：道の駅さんのへ、三戸町役場 五戸町：夢の森ハイランド、五戸町図書館 田子町：ガーリックセンター、産直たっこや 南部町：バーデハウスふくち、チェリウス 階上町：フォレストピア階上、道の駅はしかみ 新郷村：新郷温泉館、道の駅しんごう おいらせ町：イオンモール下田、アグリノ里おいらせ
23 年度	・観光PRの実施 札幌市 大通り公園 仙台市 宮城球場「クリネックススタジアム宮城」 ・外国人旅行者向け圏域観光パンフレット作成 (英語・韓国語・中国語・日本語)
24 年度～	・ステーション及びパンフレットによる観光PRの実施

圏域観光パンフレット



## (4) 教育

### 1) 社会教育の推進

#### ①生涯学習情報提供事業（全市町村）

##### 【事業内容】

- ・八戸市民大学講座等の各市町村が実施している各種講座などについて、圏域内の情報を収集・共有する体制を整備するとともに、広報紙やホームページなどの広報媒体を活用して地域住民への周知を強化する。

##### 【実績】

- ・八戸市民大学講座の開催情報を提供
- ・関係町村から、講座情報等のチラシを配布し、相互情報提供体制を整備

#### ○八戸市民大学講座 受講者等 単位：人

年 度	受講者数	修了者数
21 年度	7,618	212(うち圏域町村 2)
22 年度	8,766	191(うち圏域町村 3)
23 年度	5,874	169(うち圏域町村 2)
24 年度	9,498	195(うち圏域町村 4)
25 年度	8,449	178(うち圏域町村 6)
26 年度	7,511	153(うち圏域町村 3)
27 年度	6,526	132(うち圏域町村 4)

注) 修了者：全講義のうち、2/3 以上の出席した者

### 2) 学校教育の推進

#### ①広域的体験学習支援事業（全市町村）

##### 【事業内容】

- ・圏域内の公共施設における体験学習機能の充実や移動手段の確保等により、文化・スポーツ施設等の公共施設を活用した広域的な体験学習を支援する体制を整備する。

##### 【実績】 ※実施校数（うち関係町村）、参加児童数（うち関係町村）等

- ・実施校数 61 校（うち関係町村 22 校）全 76 校中 80%
- ・参加児童数 4802 人（うち関係町村 953 人）
- ・活用施設

八戸市博物館、八戸リサイクルプラザ、是川縄文館、八戸水産科学館マリエント、八戸市児童科学館、テクノアイスパーク新井田、八戸市中央卸売市場、八戸市美術館、八戸市パイピングスケートリンク、ふくちアイスアリーナ、山の楽校、南郷屋内温水プール、名川海洋センター、農林漁業体験学習館チェリウス、間木ノ平グリーンパーク、八戸北丘陵下田公園、南郷歴史民俗資料館、南部町名川ドライフラワーセンター、田名部記念アリーナ

## (5) 環境

### 1) 一般廃棄物の不法投棄防止

#### ①一般廃棄物不法投棄防止事業（全市町村）

##### 【事業内容】

- ・関係市町村が共同して、パトロールの実施、不法投棄防止看板の設置、広報活動の強化等、一般廃棄物の不法投棄防止のための各種対策を講じる。

**【実績】**

年 度	内 容
23 年度	・啓発用備品（看板、のぼり旗、車両用マグネットシート）
24 年度～	・ 8 市町村統一不法投棄パトロール実施

**3 結びつきやネットワークの強化****(1) 地域公共交通****1) 八戸圏域公共交通計画の策定及び推進****①八戸圏域公共交通計画の策定（全市町村）****【事業内容】**

- ・圏域市町村、県及び交通事業者から構成される八戸圏域公共交通計画策定会議（および同推進会議）において、有識者からの提言・助言を踏まえつつ、調査・検討を行い、八戸圏域公共交通計画を策定し、定期的な見直しを行う。
- ・計画の策定後は、計画に基づき各事業を実施する。

**【実績】**

年 度	内 容
21 年度	・ 八戸圏域公共交通計画策定会議設置（H21. 11. 5）
22 年度	・ 八戸圏域公共交通計画策定（H22. 11. 30） 課題解決のためのリーディング施策（H22～H25 年度） (1) 広域路線バス上限運賃化実証実験 (2) 上限運賃化実証実験に伴う財政支援の実施 (3) 乗継対策情報提供事業
25 年度	・ 第 2 次八戸圏域公共交通計画策定（H26. 3. 25） 課題解決のためのリーディングプロジェクト（H26～H30 年度） (1) 広域路線バス上限運賃政策の継続実施とモニタリング (2) 鉄道・バス乗継環境の改善事業 (3) 広域移動を支援する環境整備 (4) 圏域の一体的な公共交通マネジメントの展開

**②八戸圏域公共交通計画の推進（全市町村）****【事業内容】**

- ・圏域住民の生活交通手段や観光客等の地域内交通手段としての既存路線を維持・確保するとともに、利便性を向上するため、八戸圏域公共交通計画を推進する。
- ・八戸圏域公共交通計画に基づく各種事業の実施に伴い、必要となる事業を関係市町村において実施する。
- ・中心市である八戸市と各町村を結ぶ幹線的バス路線等の運行維持に対する支援を行うとともに、各市町村が独自に運行しているコミュニティバスなど幹線的路線バスを補完し地域住民の生活交通手段を確保するための事業を行う。

## 【実績】

年 度	内 容
22 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸圏域公共交通計画推進会議設置 (H22. 12. 21)</li> <li>・運賃体系の再構築スキーム等に関する企画・設計の実施</li> </ul>
23 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗降実態調査の実施</li> <li>・上限を 500 円とする広域路線バス上限運賃化実証実験開始 (実施期間：23 年 10 月～25 年 9 月)</li> <li>・実証実験周知広報事業 (チラシ・バス車体広告等) の実施</li> <li>・乗継対策情報提供事業 (乗継サイン整備等) の実施</li> </ul>
24 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗降実態調査の実施</li> <li>・公共交通を利用した圏域内の交流促進ポスター・ミニガイド作成</li> </ul>
25 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗降実態調査の実施</li> <li>・広域路線バス上限運賃政策の本格実施 (10 月～)</li> <li>・消費税 8%導入に係る対応策の検討</li> <li>・路線バスパックの企画商品化 (五戸町) と利用促進</li> </ul>
26 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗降実態調査の実施</li> <li>・上限運賃負担金による支援措置の実施</li> <li>・新運賃制度の検討</li> <li>・広域路線バスの維持・支援の仕組みづくりの検討</li> <li>・路線バスパックの企画商品化 (階上町) と利用促進</li> </ul>
27 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上限運賃負担金による支援措置の実施</li> <li>・新運賃制度の検討</li> <li>・広域路線バスの維持・支援の仕組みづくりの検討</li> <li>・路線バスパックの企画商品化 (三戸町) と利用促進</li> </ul>

## (運送収入・輸送人員)

年 度	運送収入(千円)	輸送人員(人)
21 年度	1,427,105	6,835,110
22 年度	1,328,323	6,182,215
23 年度	1,254,895	6,437,982
24 年度	1,250,580	6,767,347
25 年度	1,226,076	7,201,462
26 年度	1,167,906	6,946,518
27 年度	1,160,396	6,571,573

注) 八戸市営バス、南部バス(株)、十和田観光電鉄(株)の合計

注) 特別福祉乗車証、高速バス、コミュニティバスの利用者を除いた数値

注) H26～27 にかけて、一部事業者の輸送人員集計方法に変更があり、前年度との単純比較はできない。

## 路線バス上限運賃化実証実験を周知するチラシ



H23 乗継案内サイン（鉄道駅設置）



H23 乗継案内サイン（バス停設置）



H25 ごのへ馬肉料理バスパック



H26 はしかみ蕎麦と岳満喫バスパック



H27 三戸まちあるきバスパック



## (2) 地域内外の住民との交流・移住促進

### 1) 移住の促進

#### ①移住関連情報発信事業（全市町村）

##### 【事業内容】

- ・圏域内市町村への移住促進のための各種情報を取りまとめ、八戸市のホームページ上で提供する。
- ・八戸市東京事務所を通じて、圏域内の観光、雇用、住環境等に関する情報の発信を行う。
- ・移住交流推進機構（JOIN）のホームページやイベントを活用して、圏域の市町村の情報を発信する。

##### 【実績】

年 度	内 容
23年度～	・八戸圏域情報ステーション設置（八戸市東京事務所内）
26年度	・八戸圏域情報ステーション設置（八戸市東京事務所内）
27年度	・八戸圏域情報ステーション設置（八戸市東京事務所内） ・移住促進パンフレット「半都半邑の楽しさ」作成 ・「JOIN移住・交流&地域起こしフェア」への共同出展

#### ②移住相談窓口の設置（全市町村）

##### 【事業内容】

- ・移住ワンストップ相談窓口を八戸市に開設し、各種相談業務を行う。
- ・八戸市東京事務所を通じて、圏域出身者を含めたUJIターン希望者等を対象とした各種相談業務を行う。

##### 【実績】

年 度	内 容
23年度～	・八戸圏域情報ステーション設置（八戸市東京事務所内）

## 2) グリーン・ツーリズムの推進

### ①グリーン・ツーリズム推進事業

（八戸市 三戸町 田子町 南部町 階上町 五戸町(H26 加入)）

##### 【事業内容】

- ・圏域内の市町村が、観光農園等のPRや受入体制の整備などを推進するとともに、それぞれの取組を連携させる体制を強化する。
- ・八戸市東京事務所を窓口として首都圏へのグリーン・ツーリズム情報の発信を行うとともに、同事務所に受入窓口を設置する。

##### 【実績】

年 度	内 容
23年度～	・八戸圏域情報ステーション設置（八戸市東京事務所内）

### 3) 青年交流の促進

#### ①はちのへ青年倶楽部カダリストの運営（全市町村）

##### 【事業内容】

- ・圏域内の青年を対象に、圏域の歴史、文化、スポーツ、環境などをテーマとしたセミナー、体験活動等を実施するはちのへ青年倶楽部カダリストを設置・運営する。

##### 【実績】

年 度	内 容
22 年度	・はちのへ青年倶楽部カダリスト設置
23 年度	・顔合わせ会「はっちにあつまろう」(6月・参加人数 18 名) ・2011 八戸港カッターレース(8月・参加人数 12 名) ・五戸町ふるさとCM制作(8～9月・参加人数延べ 36 名) ・カダリストセミナー新郷が今熱い！(2月・参加人数 10 名) ・カダリスト車座トーク～八戸圏域の市町村長を囲んで～ (3月・参加人数 9 名)
24 年度	・カダリストサロン(4～9月 5回・参加人数延べ 65 名) ・2012 八戸港カッターレース(6月・参加人数 9 名) ・縄文かだるツアー(8月・参加人数 5 名) ・地域活性化プレゼンテーションイベント「Move 8 ～いま動くとき～」 (10月・参加人数約 50 名) ・「行くびゃあ!かだるびゃあ!カダリスト ～カダリストメンバー 交流会 in 新郷村～」 (11月・参加人数 14 名)
25 年度	・2013 八戸港カッターレース(8月・参加人数 8 名) ・地域活性化プレゼンテーションイベント「Move 8 ～地元を元気にする人 大集合～」 (2月)

(登録者数)

単位：人

年 度	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	合計
22 年度	30	1	4	2	2	3	1	2	45
23 年度	42	1	4	2	2	3	2	3	59
24 年度	47	1	4	3	4	3	2	4	68
25 年度	50	1	4	3	5	4	2	5	74

### (4) 安全・安心なまちづくり

#### 1) 安全・安心情報の配信

##### ①安全・安心情報発信事業（全市町村）

##### 【事業内容】

- ・関係市町村の住民ニーズに合わせた各種情報を各市町村が独自に発信する。
- ・ホームページ、チラシ配布等により加入促進啓蒙活動を行う。



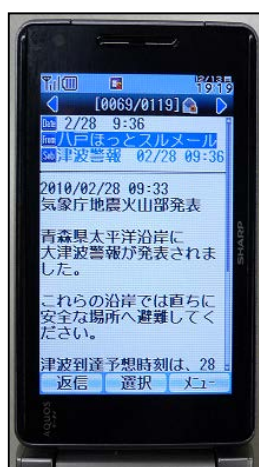
【実績】

年 度	内 容
22年度～	H22.12.17 定住自立圏安全・安心情報システム稼働開始
23年度	H24.1 消防本部移転に伴うシステム改修 H24.3.8 " システム切替
24年度	H24.10 気象情報XML化対応・エリアメール等連動に係るシステム改修 H25.3.25 " システム切替
25年度	H25.7 Jアラート連動・アプリ開発に係るシステム改修 H26.2.12 " システム切替

(登録者数)

単位：人

年 度	八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	合計
22年度	24,175	111	375	179	188	330	138	425	25,921
23年度	30,337	223	1,189	228	449	537	274	697	33,934
24年度	31,463	304	1,246	248	594	705	293	744	35,597
25年度	33,128	409	1,252	303	754	1,632	295	849	38,622
26年度	37,875	631	1,322	330	833	1,785	308	2,475	45,559
27年度	38,925	526	1,381	344	863	1,720	314	2,878	46,951



情報配信のイメージ

## 2) 福祉避難所の整備

### ①福祉避難所の設置及び圏域での相互利用（全市町村）

【事業内容】

- ・災害時において、高齢者や障がい者、妊産婦や乳幼児など、指定避難所において特別な配慮（身体的ケアやコミュニケーション支援等）が必要な人を受入れ対象としている福祉避難所について、民間福祉施設などを当該避難所に指定し、圏域での相互利用を行う。

【実績】

年 度	内 容
23年度	・八戸市が圏域事業者と「福祉避難所の確保に関する協定」を締結 ・57事業者78施設 (八戸市46事業者、五戸町3事業者、南部町3事業者、階上町2事業者、おいらせ町3事業者)



年 度	内 容
25・26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域各市町村が、それぞれの域内の事業者と、相互利用を可能とする「福祉避難所の確保に関する協定」を締結</li> <li>・97事業者 163施設 (八戸市 47事業者、三戸町 5事業者、五戸町 8事業者、田子町 2事業者、南部町 14事業者、階上町 13事業者、新郷村 1事業者、おいらせ町 7事業者)</li> </ul>
27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・97事業者 165施設 (八戸市 47事業者、三戸町 5事業者、五戸町 8事業者、田子町 2事業者、南部町 14事業者、階上町 13事業者、新郷村 1事業者、おいらせ町 7事業者)</li> </ul>

注) 福祉避難所は指定避難所とは違い、災害発生後に必要性が認められた場合に、協定を締結した民間福祉施設などで開設

## 4 圏域マネジメント能力の強化

### (1) 圏域内市町村職員の育成

#### ①職員合同研修の開催 (全市町村)

##### 【事業内容】

- ・現在八戸市が実施している各種職員研修プログラムについて、関係町村職員の参加の機会を提供する。
- ・また、新たに「八戸圏域市町村職員交流スクール」として、圏域内各市町村職員の政策形成能力の向上を目的とした合同研修を実施する。

##### 【実績】

単位：人

区 分	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	合計
21年度 計	0	2	5	4	6	0	3	20
行財政研修会	0	2	5	4	6	0	3	20
22年度 計	1	6	8	5	7	2	6	35
新採用職員後期研修	0	0	0	0	0	0	4	4
主事級第1部研修	0	2	0	0	6	0	0	8
主事級第2部研修	0	0	3	0	0	1	0	4
行財政研修会	0	3	4	4	0	0	1	12
市町村職員交流スクール	1	1	1	1	1	1	1	7
23年度 計	3	9	3	10	17	3	9	54
新採用職員後期研修	2	1	1	0	2	0	3	9
主事級第1部研修	0	3	0	2	3	0	0	8
主事級第2部研修	0	4	0	1	5	1	0	11
行財政研修会	0	0	1	6	6	1	5	19
市町村職員交流スクール	1	1	1	1	1	1	1	7

単位：人

区 分	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町	合計
24年度計	2	12	10	12	13	10	9	68
新採用職員後期研修	0	4	2	3	4	6	0	19
主事級第1部研修	0	3	3	3	3	1	0	13
主事級第2部研修	0	0	0	4	0	2	4	10
行財政研修会	1	4	4	1	5	0	4	19
市町村職員交流スクール	1	1	1	1	1	1	1	7
25年度計	4	10	10	22	17	10	2	75
新採用職員後期研修	0	4	2	5	4	0	0	15
主事級第1部研修	3	0	3	2	6	6	0	20
主事級第2部研修	0	0	0	7	2	0	0	9
行財政研修会	0	5	4	7	4	3	1	24
市町村職員交流スクール	1	1	1	1	1	1	1	7
26年度計	19	18	11	20	18	10	2	98
新採用職員後期研修	8	7	3	10	4	4	0	36
主事級第1部研修	6	5	4	5	5	4	0	29
主事級第2部研修	0	0	0	1	3	0	0	4
行財政研修会	4	5	3	3	5	1	0	21
市町村職員交流スクール	1	1	1	1	1	1	2	8
27年度計	15	16	6	17	17	8	9	88
新採用職員後期研修	7	4	3	5	6	2	3	30
主事級第1部研修	5	6	3	9	4	4	0	31
主事級第2部研修	2	1	0	0	3	0	2	8
行財政研修会	1	4	0	1	4	1	4	15
市町村職員交流スクール	0	1	0	2	0	1	0	4

注) 主事級第1部研修…2年目職員対象  
 注) 主事級第2部研修…5年以上経過した職員対象

※市町村職員交流スクール

- ・26年度…各市町村担当者との意見交換会として実施
- ・27年度…主査級職員研修と兼ねて実施

②学官連携地域シンクタンクの活用（全市町村）

【事業内容】

- ・八戸工業大学、八戸学院大学、八戸工業高等専門学校の3校と八戸市が連携して、地域の政策課題について調査研究するために設置する地域シンクタンクについて、関係町村職員に参加の機会を提供する。

**【実績】**

年 度	内 容
21年度	・第1弾プロジェクトチーム (H21.9～H22.9) テーマ「産業関連分析による地域経済活性化へのアプローチ」
22年度	・第2弾プロジェクトチーム (H22.4～H24.2) テーマ「低炭素地域社会の構築による持続可能な地域づくり」 (南部町1名参加) ・第3弾プロジェクトチーム (H22.10～H24.2) テーマ「学生まち活-八戸アートと地域活性化の研究-」
24年度	・第4弾プロジェクトチーム (H24.7～H25.11) テーマ「大震災を踏まえた防災・減災に関する調査研究」 (おいらせ町1名参加)
25年度	・第5弾プロジェクトチーム (H25.5～) テーマ「都市のイメージづくりと情報発信力の強化についての研究」 (おいらせ町1名参加)
26年度	・第6弾プロジェクトチーム (H26.6～) テーマ「八戸市のリノベーション戦略に係る調査研究」 (南部町1名参加)
27年度	・第7弾プロジェクトチーム (H27.6～) テーマ「八戸創生-ビッグデータを利活用した地域振興策の研究」 (階上町1名、おいらせ町1名参加)

**(2) NPO等の活動促進**

①NPO等に係る各種情報提供支援体制の構築 (全市町村)

**【事業内容】**

- ・圏域内のNPO等が市民活動関連情報を共有できる仕組みを整備する。
- ・八戸市市民活動サポートセンターが実施する各種市民活動支援事業への参加範囲を、各町村のNPO等及び住民へ拡大する。

**【実績】**

年 度	内 容
22年度～	八戸市市民活動サポートセンターから町村担当課へ情報発信開始 ほかに、市民活動サポートセンター情報誌 (市民活動サポートセンターリーフレット、市民活動ハンドブック、情報誌「WA～IGU」) を送付

単位：件

年 度	情報提供	相談	事業参加
22年度	62	3	7
23年度	57	0	1
24年度	39	0	0
25年度	32	0	3
26年度	20	0	5
27年度	44	0	0

## 5 その他

### (1) 普及啓発事業

#### 1) 定住自立圏の形成に関する講演会

##### 【事業内容】

- ・市町村間の相互理解を深め、定住自立圏構想の普及啓発を図るため、圏域内市町村において、国、大学や先進自治体などから講師を招き、定住自立圏に関する講演会を開催する。

##### 【実績】

年 度	内 容
21 年度	【第 1 回】(H21. 9. 9 八戸市 参加人数約 130 名)
	【第 2 回】(H21. 11. 26 南部町 参加人数約 120 名)
	【第 3 回】(H22. 2. 19 八戸市 参加人数約 110 名)
22 年度	【第 4 回】(H22. 5. 20 五戸町 参加人数約 130 名)
	【第 5 回】(H22. 7. 16 階上町 参加人数約 140 名)
	【第 6 回】(H23. 2. 14 おいらせ町 参加人数約 170 名)
23 年度	【第 7 回】(H23. 8. 24 三戸町 参加人数約 160 名)
	【第 8 回】(H24. 2. 15 八戸市 参加人数約 140 名)
24 年度	【第 9 回】(H24. 5. 18 田子町 参加人数約 140 名)
	【第 10 回】(H24. 10. 1 新郷村 参加人数約 170 名)
25 年度	【第 11 回】(H25. 5. 20 八戸市 参加人数約 140 名)
	【第 12 回】(H25. 8. 26 南部町 参加人数約 130 名)
	【第 13 回】(H25. 10. 11 五戸町 参加人数約 160 名)
26 年度	【第 14 回】(H26. 7. 17 階上町 参加人数約 180 名)
	【第 15 回】(H26. 10. 10 三戸町 参加人数約 150 名)
	【第 16 回】(H26. 12. 18 おいらせ町 参加人数約 120 名)
27 年度	【第 17 回】(H27. 10. 16 田子町 参加人数約 130 名)

#### 2) 定住自立圏構想推進シンポジウム in 八戸（総務省）

##### 【事業内容】

- ・定住自立圏に対する議論を深め、各圏域の取組に展開していくことを目的に、地方公共団体における定住自立圏の取組事例の紹介やパネルディスカッションを開催する。

##### 【実績】

年 度	内 容
24 年度	(H25. 2. 18 八戸市) ・参加人数 216 人 ・テーマ 「人材の育成と交流による地域力の創造」 ・概要 (1) 事例報告 ・「八戸圏域定住自立圏の取組」 報告者 小林眞 八戸市長 ・「定住自立圏推進調査事業報告」 報告者 山本耕一郎 アーティスト 熊倉純子 東京藝術大学教授 大澤苑美 八戸市まちづくり文化推進室芸術環境創造専門員 (2) パネルディスカッション「地域づくりを担う人材の育成と交流」 コーディネーター 小西砂千夫 関西学院大学教授 パネラー 牧慎太郎 総務省地域自立応援課長 加藤種男 アサヒグループ芸術文化財団顧問 小林眞 八戸市長 (3) 特別講演 椎川忍 地域力創造アドバイザー・元総務省自治財政局長

## (2) 調査事業等

### 1) 定住自立圏形成に向けた創造的人材の定住・交流促進事例調査（総務省）

#### 【事業内容】

- ・創造的人材の定住・交流が図られている特徴的な事例を調査し、創造的人材が行ってみたい・住んでみたいと思う要素について分析を行うことによって、今後、定住自立圏域で同旨の取組を促進していく上での課題や求められる施策等について整理を行った。

#### 【実績】

年 度	内 容
23 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創造的人材の定住・交流によって地域力の向上が図られている代表的な 10 市の事例の一つとして、八戸市において現地調査が実施され、報告書で事例紹介された。</li> <li>◎地方圏における創造的な取組の事例紹介（八戸市）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・南郷サマージャズフェスティバル</li> <li>・八戸ポータルミュージアム「はっち」オープニング事業（「八戸レビュー」、「八戸のうわさ」、「酔っ払いに愛を」等）</li> <li>・南郷アートプロジェクト</li> </ul> </li> <li>・報告書では、今後定住自立圏構想の推進にあたり、地域における創富力の高度化に向け、文化芸術分野も含めた幅広い創造的人材の定住・交流を促進する観点から積極的な施策展開が求められると結論され、その際念頭に置くべき要素として、次の必要性が提言された。               <ul style="list-style-type: none"> <li>◎創造的人材を惹きつける地域の要素                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな自然を体感でき、地域独自の文化資源はあるか</li> <li>・幅広い人的ネットワークを持ったキーパーソンはいるか</li> <li>・良いモノの価値を理解し、活動的な地域住民の層は厚いか</li> <li>・地域コミュニティは閉鎖的でなく寛容で多様性に富むか</li> <li>・街ににぎわいがあり、心地よく滞在できる環境はあるか</li> <li>・行政、企業、大学等は創造的な活動の支援に積極的か</li> <li>・交通・通信の利便性、安心安全な環境、郷土愛 等</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

#### 【参考】その他選定団体（9 団体）

団体名	代表的な事例
富良野市	富良野演劇工場、富良野塾
仙北市	たざわ湖芸術村
十日町市等	越後妻有 大地の芸術祭の里
金沢市	イート金沢
洲本市	淡路島アートフェスティバル
鳥取市	鳥の劇場
高松市等	瀬戸内国際芸術祭
別府市	現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」
霧島市	霧島国際音楽祭

注) その他、40 団体について、文献調査を実施

## 2) 「定住自立圏」地域創富力高度化調査事業（総務省）

### 【事業内容】

- ・地域に根ざした雇用創出効果のある産業振興の取組であって、先進的・独創的な取組を行おうとする地方公共団体を募集し、その中から他の定住自立圏のモデルとなるような取組を委託調査事業として採択し、先進事例を構築する。

### 【実績】

年 度	内 容
23 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選定 12 団体の一つとして、八戸市では以下の調査事業を実施した。</li> </ul> <p><b>[目的]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青森県南部における観光誘客の促進と地域経済の活性化を目指し、南部の歴史・文化全体のブランド化・旅行商品化の可能性を調査・検討する。</li> </ul> <p><b>[事業実施内容]</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①当圏域の伝統芸能を披露する「南部芸能の祭典」と食文化を紹介する「北のコナモンフェスティバル」について、集客面での相乗効果を図るため、同時開催し、南部文化の魅力を広く紹介する。</li> <li>②当圏域を周遊する国内向け・外国人向けのモニターツアーをそれぞれ実施し、旅行商品化の可能性を検証する。</li> </ol> <p><b>[事業総括]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地中心部での食と芸能に関するイベントの同時開催は、その相乗効果により高い集客力を発揮。</li> <li>・モニターツアーの結果等からも、南部芸能及び食文化の地域ブランド化及び旅行商品化に向けた可能性が高いことを確認。</li> <li>・南部の風土・文化を多様に組合せ、中心街等で集中的にイベントを開催する方向で今後も継続して展開。</li> <li>・旅行商品の造成にあたっては、地元ガイド・スタッフ等のおもてなしスキルの強化、人材育成等のソフト面についても同時に強化していくことが課題。</li> </ul>

### 【参考】その他選定団体（11 団体）

団体名	事業概要
小樽市	食資源と自然・歴史を活用した観光等交流人口拡大を通じた圏域の活性化
室蘭市	希少食材の付加価値化によるブランド確立等や地域内循環経済のモデルの確立
弘前市	桃をテーマとした地域ブランド化と農商工連携・6次産業化等の促進
湯沢市	自然乾燥米の生産量増加と普及促進による地域農業活性化
飯田市	市田柿のブランド化、南信州茶等の再興等を通じた南信州ブランドの確立
美濃加茂市	イノシシを活用した特産品開発等を通じた誘客促進と圏域の活性化
山口市	産学官連携による乾物の商品開発等を通じたブランド確立・雇用創出
今治市	ご当地ファッションの情報発信等を通じた繊維・アパレル産業の活性化
天草市	農水産業・観光産業における販路拡大等による天草ブランドの確立
都城市	新商品開発や販路開拓等の情報提供等を通じた、農林水産業の振興
薩摩川内市	体験型交流プログラムを活用した誘客推進および域内経済の活性化

### 3) 「定住自立圏」推進調査事業（総務省）

#### 【事業内容】

- ・定住自立圏構想に関する懇談会において重点取組分野とされた産業振興・文化芸術・地域医療の3分野について、地方公共団体からの提案を受け、その中から他の定住自立圏のモデルとなるような取組を委託調査事業として採択し、先進事例を構築する。

【事業名】アーティスト定住実験プロジェクト「引っ越してきたアーティスト！」

#### 【実績】

年 度	内 容
24年度	<p>・選定15団体の一つとして、八戸市では以下の調査事業を実施した。</p> <p><b>[目的]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸市南郷区を舞台に、創造的人材（アーティスト）と地域住民等による実験的アートプロジェクトの実施を通じ、アーティストの地方定住により、地域にどのような効果を生み出しているか等について検証する。</li> </ul> <p><b>[事業実施内容]</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①アーティスト（山本耕一郎氏）の移住に当たり、住まいとなる空き家の改修を地域住民等と協働で実施し、交流関係を構築。同氏宅を地域住民等と共有する創造活動の拠点と位置づける。</li> <li>②山本氏と2小学校児童とのワークショップを通じ、地域住民の記念日を集めたカレンダーを作成。参加両校に交流関係を構築し、地域への愛着を醸成。</li> <li>③総務省主催「定住自立圏構想推進シンポジウム in 八戸」での事例報告。</li> <li>④山本氏宅において、一年間の活動記録を一般公開。来場者と家族的な雰囲気の中で交流を深めた。</li> </ol> <p><b>[事業総括]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当地域は、伝統芸能等の文化レベルが高く、創造的人材の活動環境が整っているが、幸福度の高いまちとしていくためには、地域の魅力に誇りを持つ等、住民の意識改革が必要。</li> <li>・アート面については、従来型の美術館のあり方にとどまらず、より積極的な仕掛けを期待する。近隣市町村と連携し、ともに成熟していく発想が、県全体の元気と未来を築くきっかけになる。</li> </ul>

#### 【参考】その他選定団体（14団体）

団体名	事業名
旭川市	上川中部圏ドクターカー運行体制調査事業
鶴岡市	映像資源を活用した地域連携・活性化事業 ～ユネスコ創造都市形成と連結した取組み～
秩父市	観光客の満足度を高めるための情報提供システム及び観光ルートの開発
飯田市	アーティスト滞在による新しい人形芸術創造事業
いなべ市	元気づくりシステム促進事業
長浜市	音楽でつながる地域クレッシェンド事業
西脇市	北はりま定住自立圏「地域医療を支える」基盤整備調査事業
山口市	ヤマグチ・イズ・ビューティフル ～食でまちをアートする～
下関市	くじらのまち日本一事業
高松市	街角に音楽を推進事業（ブラジル音楽フェスティバル）
高知市	高知中央広域定住自立圏まんが文化による地域振興推進調査事業
天草市	地域完結型保健・医療・福祉の連携システム構築事業
延岡市	メディカル産業と健康長寿の花開く宮崎県北定住自立圏
都城市	農林水産業生産現場のリモートセンシングシステムの構築

#### 4) 若手企業人地域交流プログラム (総務省)

##### 【事業内容】

- ・大都市圏の企業に勤務する若手企業人が、一定期間（1～3年間）地方の自治体に派遣され、地域独自の魅力や価値の向上につながる業務に携わることにより、地方の元気づくりを推進するとともに、地方と大都市圏の交流の架け橋となる人材を育成する。

##### ◎制度概要

派遣対象者：三大都市圏に本社機能が所在し、全国的に事業を展開している民間企業の新入社  
概ね3～5年の社員

受入市町村：定住自立圏に取り組む市町村（近隣市町村を含む）等

※原則として異業種2名1組で派遣

※三大都市圏内の民間企業・官公庁から人材の派遣を受けている市町村は、1名のみ受入であっても対象とする

派遣期間：1～3年程度

財政支援措置：若手企業人を受け入れる自治体の財政負担に対して、地方財政措置（1名あたり特別交付税350万円）を講じる

##### 【実績】

年度	内容
24～25年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国6団体の一つとして八戸市が選定され（平成24年度時点）、次のとおり若手企業人の派遣を受け入れた。</li> <li>派遣元企業：日本電気株式会社 株式会社リクルートライフスタイル</li> <li>配属先：まちづくり文化スポーツ観光部 まちづくり文化推進室および観光課</li> <li>派遣期間：2年間</li> </ul>

##### 【参考】その他選定団体

###### 24年度派遣先（6団体）

受入市町村	派遣元企業
秩父市	西武鉄道、近畿日本ツーリスト
飯田市	日立製作所、ローソン
いなべ市	近畿日本ツーリスト、官公庁
延岡市	リクルート、野村證券
鹿屋市	ぐるなび、あいおいニッセイ同和損保

###### 25年度派遣先（6団体）

受入市町村	派遣元企業
旭川市	あいおいニッセイ同和損保、富士通
石巻市	よしもとクリエイティブエージェンシー、富士通
彦根市	JTB、日本電気
豊岡市	日立製作所、楽天トラベル
洲本市	近畿日本ツーリスト、官公庁
高松市	リクルート、官公庁



## 5) 機能連携広域経営推進調査事業（総務省）

### 【事業内容】

- ・市町村域を越えた圏域において、地元企業、大学、金融機関、NPO など産学金官民の幅広い関係者が連携し、産業振興や雇用確保に資する拠点等を構築することにより、人・モノ・金等の流れを生み出し圏域の活性化を図るとともに、他の地域が取り組むにあたって参考となり得る先進的かつ汎用性のある事例を構築する。

### 【事業名】 八戸ワイン産業創出プロジェクト

### 【実績】

年 度	内 容
26 年度	<p>・選定 4 団体の一つとして、八戸市では以下の調査事業を実施した。</p> <p><b>【目的】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内需要の減少により、地域の農業経営を支えてきた葉たばこの生産縮減に対応していくため、気候及び土壌適応性の高いワイン用ぶどうの栽培とそれを活用したワインの醸造を圏域内で新規展開させ、圏域ブランドとして 6 次産業化を図ることにより、地域経済の活性化と雇用創出を目指す。</li> </ul> <p><b>【事業実施内容】</b></p> <p>①ぶどう栽培に関する調査研究 圏域内の農業経営体（根岸観光農園等 11 経営体）と連携して、10 種、1,250 本のワイン用ぶどうを植栽し、栽培調査を実施。</p> <p>②ワイン醸造・産業創出に関する取組 圏域農業経営体を対象としたワイン醸造講習会等を年 3 回実施し、今後の醸造に向けた課題の抽出・解決策を検討。</p> <p>③ワイン文化創出に関する取組 2013 年世界最優秀ソムリエ等の出演によるワイン交流イベント「八戸ワイン産業創出フォーラム」を開催。</p> <p>④八戸ワイン産業創出計画の策定 上記①～③の取組を踏まえ、ワイン産業創出に向けた計画を策定。</p> <p><b>【事業総括】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 26 年度に八戸市南郷新規作物研究会議において南郷地区における新規作物の一つとしてワイン用ぶどうを選定し、「八戸ワイン産業創出プロジェクト」を開始。</li> <li>・南郷地区に適したワイン用ぶどうの品種を選定するための栽培調査を平成 26 年度から開始し、27 年度までに、18 品種、計 2,200 本の苗木を植え付け。また、26 年度に引き続き、ワイン生産に資するセミナーを開催するとともに、ワイン文化の定着及び発信を目的とするセミナーを開催。</li> <li>・ワイン産業は、ぶどうの生産からワインの醸造、そして、運搬及び販売等と裾野が広く、さらには、地域の努力によって多くの付加価値の創出が期待できることから、地域経済の活性化や雇用の創出に資するものであり、引き続きプロジェクトを推進。</li> </ul>

### 【参考】 その他選定団体

団体名	事業名
帯広市	十勝地域機械製品開発ツール整備普及事業
いなべ市	グリーンツーリズムの推進に向けた地域の拠点づくり
唐津市	唐津コスメティック天然原料開発プロジェクト

## 6) 新たな広域連携促進事業（総務省）

### 【事業内容】

- ・人口減少・少子高齢社会においても、基礎自治体が人々の暮らしを支える対人サービスを持続可能な形で提供していくため、「連携中枢都市圏」の形成等の地方公共団体間の新たな広域連携の促進を図る。

### 【実績】

年 度	内 容
27 年度	<p>・選定 12 団体の一つとして、八戸市では以下の調査事業を実施した。</p> <p><b>[目的]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年 1 月に予定している当市の中核市移行後、定住自立圏から連携中枢都市圏への平成 28 年度中の速やかな移行を目指して、新たな連携施策の検討と八戸圏域の経済動態も含めた基礎調査を実施するとともに、行政、議会、関係団体、住民を対象とした事業報告・講演会を開催することにより、連携中枢都市圏に対する認識を圏域全体で深める。</li> </ul> <p><b>[事業実施内容]</b></p> <p>①分野別施策検討会の開催            広域観光、農業振興、移住・交流、結婚支援の 4 つの分野において、圏域 8 市町村の有識者、関係課職員を交えた検討会を開催した。</p> <p>②連携中枢都市圏講演会の開催            圏域 8 市町村の首長、議員、職員、関係団体、住民を対象として、連携中枢都市圏をテーマにした講演会を開催した。</p> <p>③八戸圏域経済現況調査の実施            圏域の現況を把握することを目的に、統計データを整理するとともに、圏域の経済成長に向けた課題等を分析した。            調査報告については、圏域 7 町村に送付するなど、情報の共有を図った。</p> <p><b>[事業総括]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分野別施策検討会において、八戸圏域で、連携中枢都市圏を形成した場合に展開が想定される連携施策として、5 施策が提案された。</li> <li>・広域観光の分野別施策検討会においては、早期の広域観光計画策定と、日本版DMOの活用について提案がなされ、同年度に公募のあった国の地方創生加速化交付金において圏域 8 市町村の連携事業として「八戸圏域DMOプロジェクト調査・検討事業」を提案・採択された。</li> <li>・平成 28 年 3 月 23 日に開催された平成 27 年度第 3 回八戸圏域定住自立圏関係市町村長会議において、八戸市の中核市移行を見据え、平成 28 年度より、連携中枢都市圏形成に向けた手続きを進めることについて合意した。</li> </ul>

### 【参考】選定団体（「連携中枢都市圏形成を目指す圏域における取組」を抜粋）

八戸市、山形市、郡山市、新潟市、金沢市、岐阜市、静岡市、岡山市、松山市、久留米市、長崎市、大分市

### (3) 八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議員連盟

#### 【概要】

目的 八戸圏域連携中枢都市圏の形成に向けて、連携中枢都市圏構想に対する理解を深めるとともに、意見交換等を通じ、圏域の振興・発展に資するために設立する。

構成 八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町の市町村議会議員の有志で構成する。(圏域市町村議会議員全 127 名)

会 長 坂 本 美 洋 氏 (八戸市議会議員)

副 会 長 大 館 恒 夫 氏 (八戸市議会議員)

田名部 和 義 氏 (八戸市議会議員)

澤 口 勝 氏 (三戸郡町村議会議長会会長 (田子町議会議員))

馬 場 正 治 氏 (おいらせ町議会議員)

理 事 吉 田 淳 一 氏 (八戸市議会議員)

澤 田 恵 氏 (三戸町議会議員)

和 田 寛 司 氏 (五戸町議会議員)

馬 場 又 彦 氏 (南部町議会議員)

山 田 恵 治 氏 (階上町議会議員)

福 山 恵 一 郎 氏 (新郷村議会議員)

参 与 小 屋 敷 孝 氏 (八戸地域広域市町村圏事務組合議長)

豊 田 美 好 氏 (八戸圏域水道企業団議長)

※議員数、役員は、平成 28 年 12 月 1 日現在

- 事業 (1) 連携中枢都市圏構想に関する情報の収集及び分析  
 (2) 連携中枢都市圏構想に関する勉強会及び研修会の開催  
 (3) その他、八戸圏域連携中枢都市圏の形成に資する事業

設立 平成 21 年 9 月 9 日

※平成 28 年 10 月 21 日開催の総会で「八戸圏域定住自立圏形成促進議員連盟」から「八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議員連盟」へ名称変更

#### 【実績】

年 度	内 容	
21 年度	9 月 9 日	設立総会開催 (八戸市) 議題：規約の制定について、役員を選任について
	同日	第 1 回定住自立圏の形成に関する講演会 参加 (八戸市)
	11 月 26 日	第 2 回定住自立圏の形成に関する講演会 参加 (南部町)
	2 月 19 日	第 3 回定住自立圏の形成に関する講演会 参加 (八戸市)
22 年度	5 月 20 日	総会開催 (五戸町) 議題：本県へのドクターヘリ 2 機目の配備に係る決議について
	同日	第 4 回定住自立圏の形成に関する講演会 参加 (五戸町)
	6 月 4 日	青森県要望 (青森県議会有志議員団と連名) 内容：ドクターヘリの県立中央病院と八戸市立市民病院との共同運航及び本県への 2 機目の導入促進
	7 月 16 日	第 5 回定住自立圏の形成に関する講演会 参加 (階上町)
	2 月 14 日	第 6 回定住自立圏の形成に関する講演会 参加 (おいらせ町)

年 度	内 容	
23 年度	8 月 24 日	総会開催（三戸町） 議題：役員の変更について
	同日	第 7 回定住自立圏の形成に関する講演会 参加（三戸町）
	2 月 15 日	第 8 回定住自立圏の形成に関する講演会 参加（八戸市）
24 年度	5 月 18 日	第 9 回定住自立圏の形成に関する講演会 参加（田子町）
	10 月 1 日	第 10 回定住自立圏の形成に関する講演会 参加（新郷村）
	2 月 18 日	総会開催（八戸市） 議題：衆議院議員選挙の区割り再編について（五戸町・平内町の青森 2 区編入案について）
	同日	定住自立圏構想推進シンポジウム in 八戸 参加（八戸市）
	2 月 22 日	総務省要望 内容：衆院選区割り見直しにおける青森 2 区への五戸町編入反対について
25 年度	5 月 20 日	視察会開催（八戸市） 内容：八戸市第三魚市場（ハサップ対応型荷捌き施設 A 棟）視察、地球深部探査船「ちきゅう」調査事業に係る調査
	同日	第 11 回定住自立圏の形成に関する講演会 参加（八戸市）
	8 月 20 日	視察会開催（南部町） 内容：白華山法光寺 視察、南部町医療健康センター建設事業に係る調査
	同日	第 12 回定住自立圏の形成に関する講演会 参加（南部町）
	10 月 11 日	視察会開催（五戸町） 内容：ひばり野公園サッカー場、J A 八戸ながいも洗浄選別施設 視察
	同日	第 13 回定住自立圏の形成に関する講演会 参加（五戸町）
26 年度	6 月 28 日	中核市講演会（八戸市）
	7 月 17 日	視察会開催（階上町） 内容：わっせ交流センター、町営放牧場視察
	同日	第 14 回定住自立圏の形成に関する講演会、交流会（階上町）
	10 月 10 日	視察会開催（三戸町） 内容：小中一貫三戸学園視察
	同日	総会開催（三戸町） 議題：規約の一部改正について
	同日	第 15 回定住自立圏の形成に関する講演会、交流会（三戸町）
	12 月 18 日	視察会開催（おいらせ町） 内容：大山将棋記念館、みなくる館視察
	同日	第 16 回定住自立圏の形成に関する講演会、交流会（おいらせ町）
	1 月 22 日	総務省要望 内容：新たな広域連携モデル構築事業の要件緩和について

年 度	内 容	
26 年度	2 月 16 日	連携中枢都市圏講演会（八戸市）
27 年度	8 月 22 日	総会開催（八戸市） 議題：(1)これまでの活動経過について (2)役員(案)について (3)平成 27 年度事業計画(案)について
	同日	中核市市民シンポジウム（八戸市）
	10 月 16 日	視察会開催（田子町） 内容：田子町にんにく専用 CA 冷蔵庫視察 県境産業廃棄物不法投棄現場視察
	同日	第 17 回定住自立圏の形成に関する講演会、交流会（田子町）
	11 月 21 日	総務省要望 内容：連携中枢都市圏に対する財政措置の拡充について
	12 月 12 日	連携中枢都市圏講演会（八戸市）
28 年度	9 月 03 日	中核市移行記念シンポジウム（八戸市）
	10 月 21 日	視察会開催（新郷村） 内容：間木ノ平グリーンファーム「ミルク&ハム工房」視察 新郷温泉館木質ボイラー施設視察
	同日	総会開催（新郷村） 議題：当該議員連盟の名称変更及び規約の一部改正について
	同日	第 18 回定住自立圏の形成に関する講演会、交流会（新郷村）

## 第3章 圏域の中長期的将来像

### 1 圏域の課題

- ・我が国の人口は、過去に類を見ない勢いで急激に減少し、平成24年1月に国立社会保障・人口問題研究所が公表した「日本の将来人口」（出生中位・死亡中位推計）によれば、平成38年には1億2000万人を下回り、平成60年には1億人を下回ると推計されている。また、高齢化率も26%（平成26年）から、平成36年には30%を超え、平成72年には約40%へと大幅に上昇すると見込まれている。
- ・八戸圏域においても状況は同様であり、国勢調査によると平成17年以降人口が減少に転じ、平成17年から平成22年までの5ヵ年間で約13,000人の減、平成22年から平成27年まででは、約12,000人の減となっており、減少の速度は幾分緩やかになったとはいえ、今後も急激な人口減少の進展が見込まれている。
- ・平成22年から平成27年までの5ヵ年間の減少数、約12,000人の内訳をみると、自然動態による減少が約6割、社会動態による減少が約4割となっている。
- ・また、平成17年以降、圏域人口は減少に転じているが、その一方で世帯数が増加しており、核家族化や高齢化の進展の影響によるものと考えられる高齢単身世帯及び高齢夫婦世帯が平成27年では全世帯（約12.7万世帯）の約2割を占め、今後も進展が想定される。
- ・圏域の活力、各種サービス、多様な地域資源を維持していくためにも、それぞれの課題の解決に向けた施策の展開が必要となっている。

#### （1）産業の集積・活性化、雇用の創出に関する課題

- ・圏域の経済成長等を図るため、連携中枢都市圏ビジョンの策定や、その進捗管理を行う産学金官民一体となった推進体制が必要となっている。
- ・圏域の強みである製造業においては、近年、製造品出荷額等が横ばい傾向で推移しており、次代を睨んだ新規産業の創出と地域産業の高度化・活性化が必要となっている。
- ・八戸圏域は、豊かな農林畜水産資源を有し、それらの加工業も盛んである。また、高等教育機関が充実し、港・道路・鉄道などの産業インフラが整備されるとともに、高度な技術を有する企業が数多く立地している。これらの地域資源を活用した地域経済の裾野拡大のため、国内外への販路拡大や企業誘致の推進、各種制度の周知やマッチングに向けた情報提供事業が必要となっている。
- ・観光入込客数は、圏域全体において増加傾向にあり、観光関連産業は地域経済の一翼を担っている。観光客をさらに惹きつける圏域としていくため、圏域の観光資源を包括的に提案できる仕組みづくりとその推進が必要となっている。

#### 《対応する連携施策》

- ・産学金官民一体となった圏域の経済成長等の推進体制の整備
- ・産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成
- ・地域資源を活用した地域経済の裾野拡大
- ・戦略的な観光施策の展開

## (2) 高次の都市機能の充実・強化に関する課題

- ・圏域内の重篤患者に対する三次救急医療やハイリスクの妊娠・出産に対する母子周産期医療など、高度な医療サービスの提供が求められている。
- ・文化芸術による創造的な活動やスポーツにおける中心拠点の整備、高齢者や学生など自家用車を利用できない住民の足となる広域的公共交通網のさらなる利便性の向上などが求められている。
- ・八戸工業大学、八戸学院大学、八戸工業高等専門学校などの高等教育機関が設置されており、地域課題の解決に向け、高等教育機関と連携した地域の人材育成が求められている。

### 《対応する連携施策》

- ・高度な医療サービスの提供
- ・高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築
- ・高等教育機関等と連携した地域の人材育成

## (3) 暮らしの安心・魅力に関する課題

- ・医師派遣による地域医療の確保、ドクターカーの運行による救命率の向上のほか、八戸市立市民病院の周産期医療体制の整備も進んできているが、引き続き圏域として安心して医療サービスを受けられる体制の維持と整備が必要となっている。
- ・子育て世代への支援のほか、高齢者、障がい者に関する合同研修会などの実施により、福祉サービスを提供する行政職員、事業に携わる関係者の資質の向上が図られているが、引き続き福祉サービスの向上が求められている。
- ・消費者トラブルの未然防止を図るため、消費者教育・啓発事業に関する圏域の協力体制を強化するとともに、圏域の消費生活相談を行っている八戸市消費生活センターを継続的に運営していく必要がある。
- ・働く環境の充実のため、勤労者福祉サービスセンターによる福利厚生事業を実施しており、継続的に取り組んでいくことが求められている。
- ・東日本大震災の経験を踏まえて、災害時に、避難所において特別な配慮を必要とする人のため、福祉避難所の圏域内での相互利用体制を整備しており、今後も継続的な取組が必要となっている。
- ・八戸市民大学講座などの各種講座に関して情報共有する体制を整備しているが、生涯学習の機会の充実を図るため、継続して取り組んでいくことが必要となっている。
- ・圏域内の学校教育の充実を図るため、圏域の小学校による、圏域内の文化・スポーツなどの公共施設を活用した児童対象の体験学習を継続的に支援する取組が必要となっている。
- ・生徒の育成や、地域課題の解決に取り組むことによる地域への愛着の醸成・地元定着の促進を図るため、高等学校による地域活動の促進が必要となっている。
- ・地域密着型のプロスポーツチームの活躍により、地域のスポーツに対する関心がさらに高まっており、住民がスポーツを気軽に楽しめる環境が求められている。
- ・環境分野では、圏域市町村が共同して不法投棄防止に向けた合同パトロールを実施しており、一定の効果をあげているが、継続的に取り組むことが必要となっ

いる。

- ・安全・安心情報システムを整備し、気象情報や災害情報などの各種情報を提供しているが、災害や犯罪に対して、初期段階での対応を可能とするため、継続的な取組が必要である。

#### 《対応する連携施策》

- ・医療体制の充実
- ・子育て支援の充実
- ・高齢者福祉の充実
- ・障がい者福祉の充実
- ・中小企業従事者の福祉向上
- ・消費者支援の充実
- ・社会教育の充実
- ・学校教育の充実
- ・高等学校の地域活動促進
- ・スポーツ活動の機会の充実
- ・不法投棄の防止
- ・安全・安心なまちづくりの推進

#### (4) 圏域内外の住民との交流促進と結婚支援に関する課題

- ・圏域への新しい人の流れをつくるため、東京圏等からの移住や人材還流を促進するとともに、平成12年から22年にかけて上昇傾向にある未婚率に歯止めをかけるため、結婚を希望する者への支援が必要となっている。

#### 《対応する連携施策》

- ・地域内外の住民との交流・移住促進

#### (5) 地域づくりを支える多様な担い手の育成に関する課題

- ・町村は職員数が限られ、研修機会の確保が課題となっているため、八戸市で実施する職員研修の機会を提供しているが、参加者も増加してきており、継続して取り組むことが必要となっている。
- ・ライフスタイルの変化・多様化するニーズなど、ビジネス、社会環境の変化に迅速かつ柔軟に対応するため、多様な価値観・発想・経験を持った人材、特に女性の活用が求められている。
- ・住民主体のまちづくりを進める上では、住民やNPO等の市民活動団体の役割が重要であることから、八戸市市民活動サポートセンターを活用して圏域の市民活動に対して支援を行っており、継続して実施することが必要となっている。

#### 《対応する連携施策》

- ・圏域内市町村職員の育成
- ・女性の活躍促進
- ・NPO等の活動促進



## 2 目指す将来像

- ・八戸圏域は、平成 21 年 9 月に、定住自立圏形成協定を締結し、地方圏における「定住の受け皿」として、「人・産業が元気で活力・魅力を創造・発信する北東北の中核都市圏」を目指し、ドクターカーの運行や路線バスの上限運賃化の取組、広域的体験学習支援事業など、24 施策 31 事業を展開してきた。
- ・人口減少・少子高齢社会の本格的な進展が見込まれる中、今後も、八戸圏域が、一定の人口を有し、活力ある社会経済が維持された拠点として、更なる発展を遂げていくためには、多種多様な産業集積や都市の広域的な拠点性といった強みや、これまで定住自立圏として培ってきた各種生活関連機能サービスの向上に向けた取組を一層強化・充実させていくとともに、地域に存する有形・無形の地域資源を最大限に活かしながら、まちづくりを進めていくことが重要である。
- ・八戸圏域には、
  - 「農林畜産業、水産業、工業、商業等の多様な産業の集積」、
  - 「陸・海・空の交通インフラ」、
  - 「高度医療の提供や構築された公共交通網、文化・スポーツ施設等の都市機能」、
  - 「充実した高等教育機関等による多様な人材育成機能」、
  - 「豊かな自然と地域に根ざした伝統文化」など、ここにしかないオリジナリティ溢れる地域の《個性》を有しており、圏域として更なる成長・発展の可能性に満ちている。
- ・この地域に暮らす住民が、将来へ夢や希望を持ち、潤いのある生活を安心して営むことができる地域社会を実現していくためには、これら様々な地域資源に光をあて、その潜在力を引き出し、地域に新しい価値を創り出していくことが必要である。
- ・地域の個性・特性を活かしたまちづくりの取組の総和が、圏域の魅力と自立性を高め、圏域全体の一体的発展へ導くものとする。
- ・このことから、八戸圏域の目指す将来像を次のとおりとし、この将来像の実現に向け、圏域の連携を推進する。

### 八戸圏域の目指す将来像

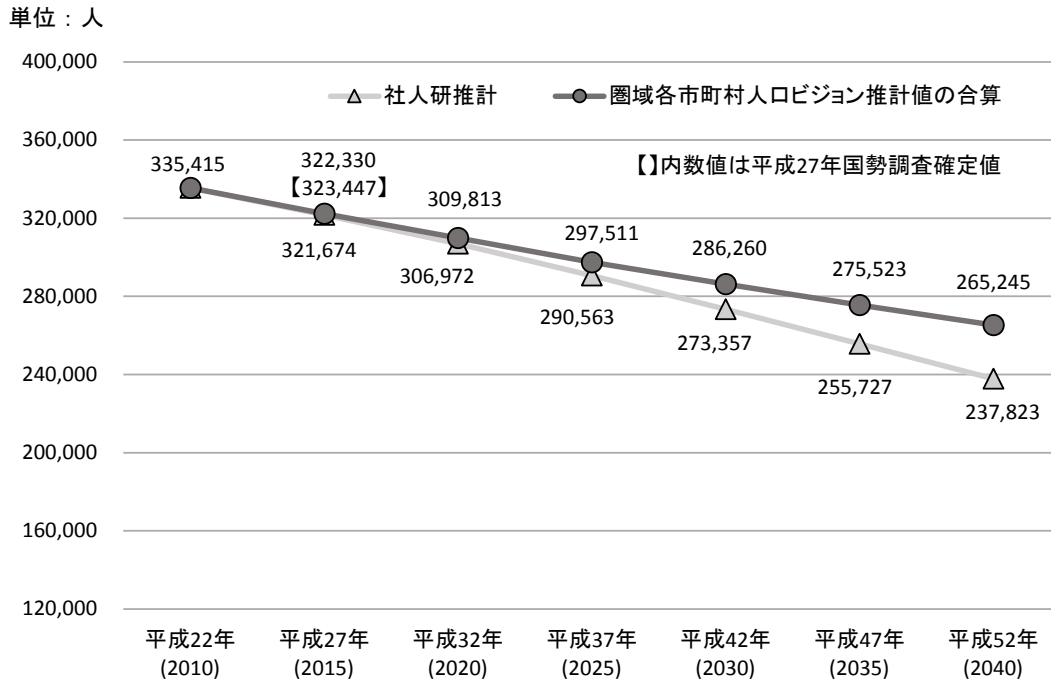
地域の個性が輝き 自立した 八戸圏域

### 3 人口の将来展望

国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口によれば、現状のまま人口減少が続く場合、圏域の人口は、平成 22 (2010) 年の 335,415 人から平成 52 (2040) 年には約 23 万 8 千人弱に減少すると推計される。

8 市町村においては、平成 27 年度に、それぞれの人口ビジョンにおいて、人口減少克服に関する仮定を設けた将来人口の推計を行っており、この仮定を実現した場合、圏域の人口は、平成 52 (2040) 年において約 26 万 5 千人になると推計される。

図表 3-1 圏域における人口の将来展望



出典：八戸圏域各市町村人口ビジョン、国勢調査（総務省統計局）、日本の地域別将来推計人口（平成 25 年 3 月推計）（国立社会保障・人口問題研究所）より作成

図表 3-2 圏域における人口の将来展望

単位：人

年	平成 22 年 (2010)	平成 27 年 (2015)	平成 32 年 (2020)	平成 37 年 (2025)	平成 42 年 (2030)	平成 47 年 (2035)	平成 52 年 (2040)
八戸市	237,615	229,177 【231,257】	221,796	214,062	206,863	199,870	193,128
三戸町	11,299	10,396 【10,135】	9,630	8,873	8,194	7,589	7,053
五戸町	18,712	17,385 【17,433】	16,345	15,348	14,455	13,595	12,745
田子町	6,175	5,606 【5,554】	5,160	4,723	4,329	3,992	3,700
南部町	19,853	18,345 【18,312】	16,859	15,566	14,469	13,531	12,720
階上町	14,699	13,971 【14,025】	13,506	12,935	12,388	11,878	11,379
新郷村	2,851	2,588 【2,509】	2,377	2,149	1,940	1,751	1,578
おいらせ町	24,211	24,206 【24,222】	24,140	23,855	23,622	23,317	22,942
圏域	335,415	321,674 【323,447】	309,813	297,511	286,260	275,523	265,245

注) 平成 27 年の【】内数値は国勢調査確定値

出典：八戸圏域各市町村人口ビジョン、国勢調査（総務省統計局）

**八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン  
《圏域の概況・中長期的将来像編》**

平成 29 年 3 月 22 日

■発行：八戸市

〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目 1 番 1 号

TEL. 0178-43-2111 FAX. 0178-47-1485

ホームページアドレス <http://www.city.hachinohe.aomori.jp/>

■編集：八戸市 総合政策部 政策推進課